

除却工事 特記仕様書

- 1. 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）による。
2. 特記事項
1) 項目は番号に○印がついたものを適用する。
2) 特記事項は、○印がついたものを適用する。
○印がつかない場合は、※印がついたものを適用する。
○印と※印がついた場合は、共に適用する。
3) 特記事項に記載の( )内番号は、共通仕様書の当該項目、当該図または当該表を示す。

② 仮設工事

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include: ①騒音・粉じん等の対策, ②足場等, ③散水養生, ④監督職員事務所等, ⑤現場表示板.

③ 解体施工

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include: ①事前措置, ②基礎及び杭, ③構内舗装、樹木等, ④地下埋設物及び埋設配管, ⑤埋戻し、盛土及び整地, 9 地盤改良.

④ 石綿含有建材の除去及び処理

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include: ①施工計画調査, ②PCB含有有機物類, ③PCB含有シーリング材, 4 廃油, 5 廃酸・廃アルカリ, 6 ダイオキシン類, ①共通, ②石綿粉じん濃度測定, 3 石綿含有吹付け材の除去.

④ 建設廃棄物の処理

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include: ①産業廃棄物の運搬の委託をしない場合の処理, ②再資源化等, 3 産業廃棄物広域認定制度, ④最終処分, ⑤処理に注意を要する建設廃棄物.

⑤ 特別管理産業廃棄物の処理

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include: ①施工計画調査, ②PCB含有有機物類, ③PCB含有シーリング材, 4 廃油, 5 廃酸・廃アルカリ, 6 ダイオキシン類, ①共通, ②石綿粉じん濃度測定, 3 石綿含有吹付け材の除去.

④ 石綿含有保温材等の除去

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include: 4 石綿含有保温材等の除去, 5 除去した石綿含有吹付け材等の梱包及び飛散防止, ⑥石綿含有成形板等の除去.

④ 石綿含有吹付け材等の除去

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include: 7 石綿含有仕上塗材の除去, ⑥除去した石綿含有吹付け材等の保管、運搬、処分等.

④ 石綿含有吹付け材等の除去

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include: 7 石綿含有吹付け材等の保管、運搬、処分等.

④ 石綿含有吹付け材等の除去

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include: 7 石綿含有吹付け材等の保管、運搬、処分等.

④ 石綿含有吹付け材等の除去

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include: 7 石綿含有吹付け材等の保管、運搬、処分等.

④ 石綿含有吹付け材等の除去

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include: 7 石綿含有吹付け材等の保管、運搬、処分等.

④ 石綿含有吹付け材等の除去

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include: 7 石綿含有吹付け材等の保管、運搬、処分等.

④ 石綿含有吹付け材等の除去

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include: 7 石綿含有吹付け材等の保管、運搬、処分等.

④ 石綿含有吹付け材等の除去

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include: 7 石綿含有吹付け材等の保管、運搬、処分等.

④ 石綿含有吹付け材等の除去

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include: 7 石綿含有吹付け材等の保管、運搬、処分等.

Main specification table with columns: Chapter, Item, and Particular Items. Includes sections for General Provisions, Safety, Environment, and Construction.

Table for Particular Items (特記事項) with columns: Item No., Description, and Remarks.

Logo and name of the design firm: 株式会社 緑企画設計 (Green Enterprise Design Co., Ltd.)

Logo and name of the contractor: 明石市都市局住宅・建築室営繕課 (Miyoshi City Housing and Building Maintenance Office)

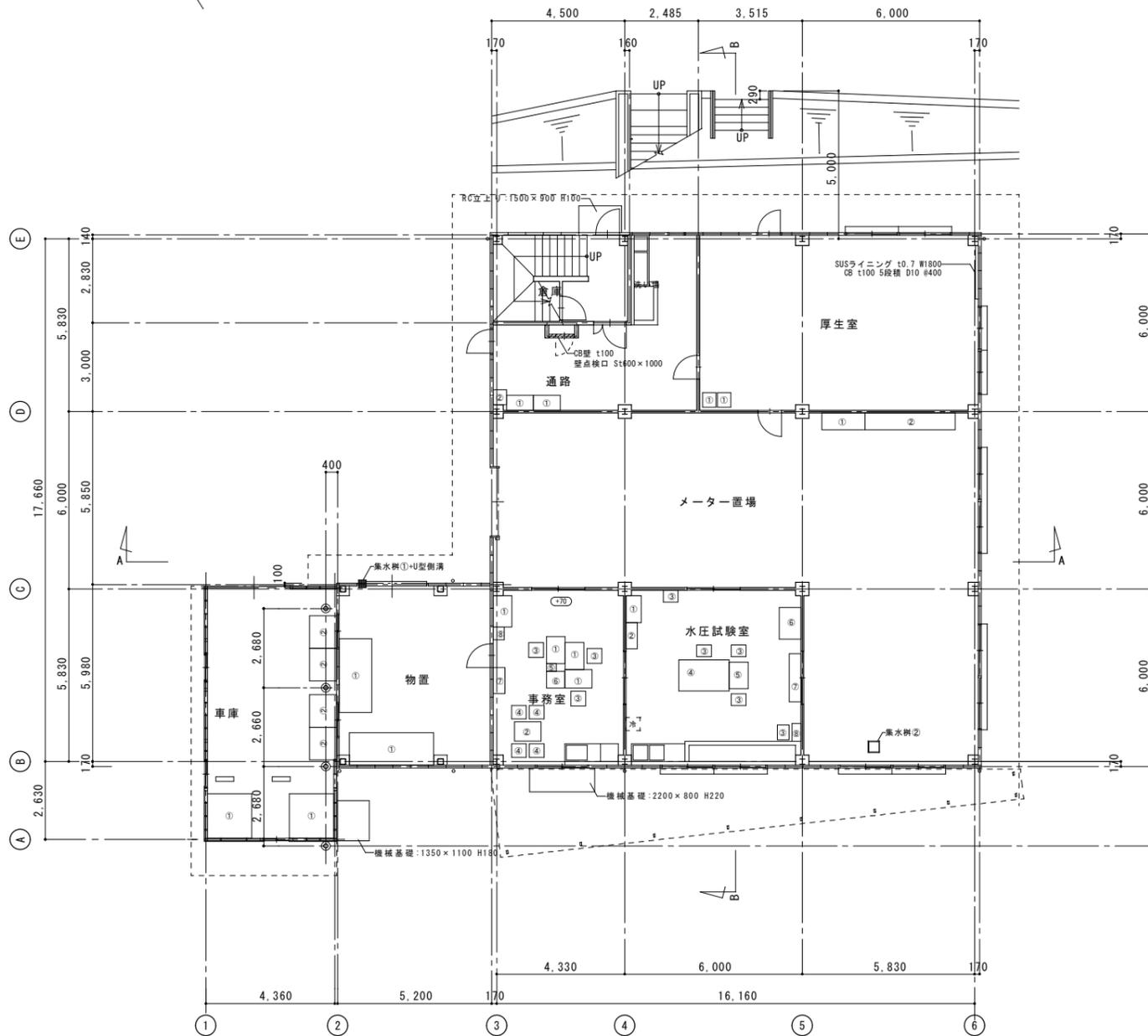
Project information including: 製作年月日 (2025年 8月), 工事名称 (仮称)上下水道庁舎建設工事, 図番 (KA-01).

外部仕上表							
部位・部材	仕上	部位・部材	仕上	部位・部材	仕上	部位・部材	仕上
屋根1,2,3	(屋根1)ALC版t100の上、シート防水 勾配:1/100(水下水上 100上り) (屋根2)ALC版t120の上、シート防水 勾配:1/100(水下水上 50上り) (屋根3)折版屋根:樹脂化粧鋼板	ルーフドレン	鋼鉄製φ75(ALC・シート防水用) (バルコニー)鋼鉄製φ50(デッキプレート・遮膜防水用) VPφ100 φ75	ポーチ	(床)モルタルにて押え 泥落としマットステンレス製600×900 2枚	自転車置場	柱:鉄骨100×50×t2.3、屋根・壁:ポリカーボネート(波板貼り)
バラベツト(屋根1,2共)	(天端)アルミ製笠木 W150 (見付け)カラー鋼板スバンドレル t0.35	種	(登種)硬質塩ビパイプφ100 φ75 φ50 OP (踏み金物)FB-19×3φ1.200 OP (養生管)GP125A 100A OP H=2.500	屋外階段	手摺 SUS 42φ、支柱 SUS 34φ (踏面・蹴上)モルタルにて押え ノンスリップ 段差 タイル貼り 150×60 (腰壁)RC+吹付タイル (裏)コンクリート素地の上、アクリル系吹付タイル		
軒裏	カラー鋼板スバンドレル t0.35	外壁	ALC版t100+アクリル系吹付タイル (立上)モルタル刷毛引 (車庫)化粧鋼板スバンドレル (立上)CR t120	バルコニー-1,2	(床)塗膜防水 (裏)バルコニー-1:コンクリート素地の上、外装薄塗材E バルコニー-2:ULデッキ現し (腰壁)バルコニー-1:RC腰壁+外装薄塗材、鋼製+OP バルコニー-2:ALC版t100+アクリル系吹付タイル、アルミ笠木		
玄関庇	(屋根)シート防水 (天端、見付け)アルミパネル t0.5 (裏)カラー鋼板スバンドレル t0.35 (腰壁)モルタル刷毛引き仕上げ H=GL+450						

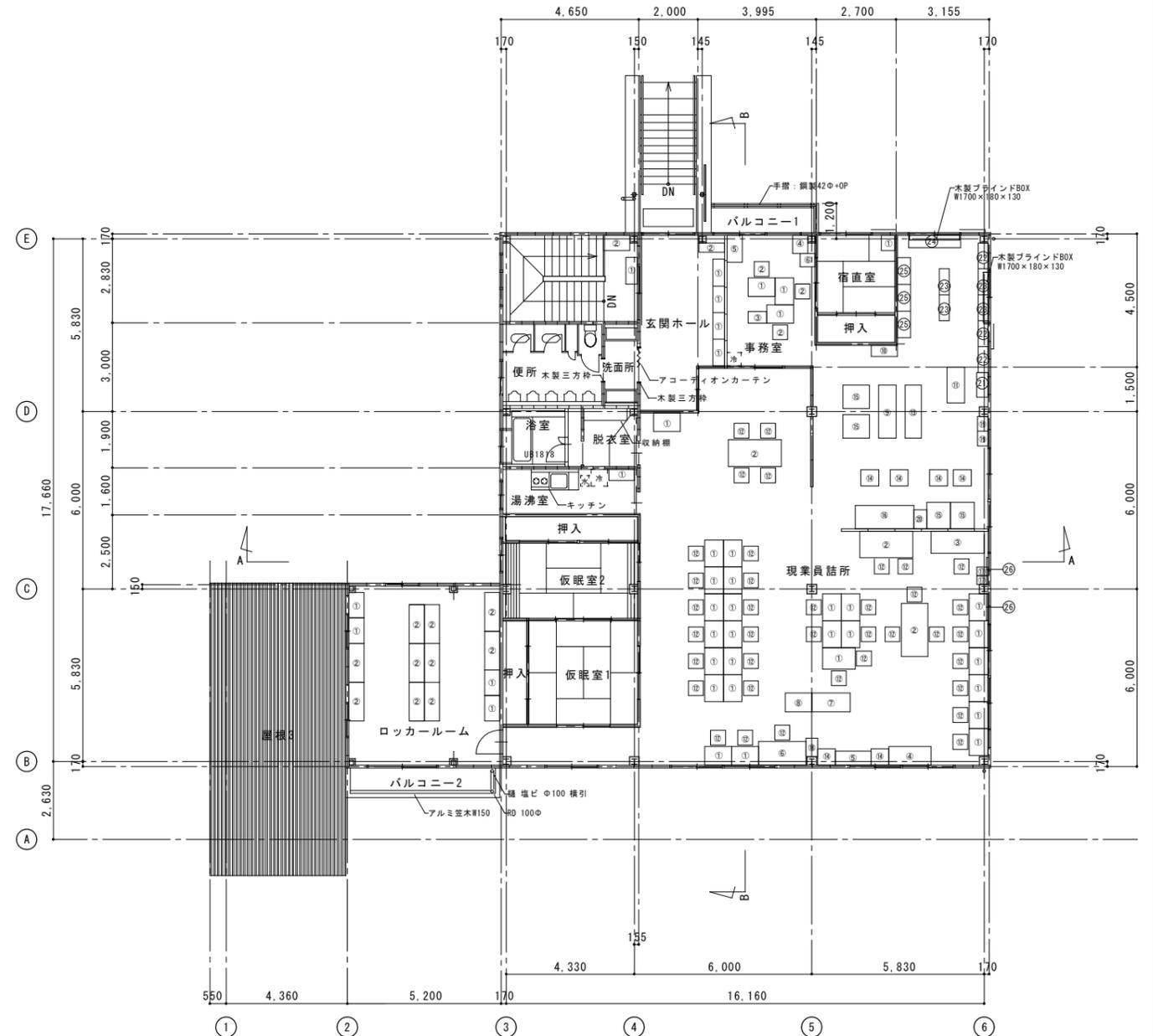
内部仕上表 家具リスト(特記無き限り撤去・処分。処分については、監督員に最終確認を行うこと。)

階	室名	床		巾木		壁		天井		天井高	廻縁	備考	階	室名	No.	品名	材質	サイズ		数	重量 (kg)	備考	
		下地	仕上	高さ	仕上	下地	仕上	下地	仕上									W	D				H
1	事務室	RC	ビニラスタイル貼300角 t=2	60	VH	LGS	GB-R t12+EP	柱型3	LGS	GB-D t9	2.300	塩ビ	キッチン	①	机	鋼製	910	630	740	4	35		
		木根太	フローリングt15+ワックス	100	木	GL(外壁)	GB-R t12+EP								②	机	鋼製	900	640	430	1	35	
	水圧試験室	RC	防塵塗装(エポキシ系)	60	VH	LGS	GB-R t12+EP		LGS	GB-D t9	2.400	-	洗い場、SUS流し	③	椅子	鋼製	500	500	850	3	15		
	厚生室	木根太	フローリングt15+ワックス	80	木巾木 t10	LGS	GB-R t12+EP	(柱型出隅部)アルミ見切り	LGS	GB-D t9	2.600	-	ライニング、ブラインド	④	椅子	鋼製	600	500	700	4	15		
	通路	-	コンクリートコテ押え	300	モルタル	RC	EP		RC	吹付	2.900	-	洗場	⑤	棚	鋼製	330	260	350	2	15		
	倉庫	-	コンクリートコテ押え	-	-	RC	EP		RC	吹付		遮天	-		⑥	棚	鋼製	570	620	740	1	20	
	メーター置場	RC	防塵塗装(エポキシ系)	300	RC	LGS	FK t6+VP		RC	吹付		遮天	-	集水桝+グレーチング	⑦	棚	鋼製	300	600	750	1	30	
	物置	-	コンクリートコテ押え	500	RC	-	ALC		RC	素地		遮天	-	集水桝+グレーチング U型側溝+グレーチング	⑧	棚	鋼製	880	400	1,120	1	40	
	車庫	-	アスファルト舗装 一部コンクリートコテ押え	400	CB	-	化粧鋼板スバンドレル現し		-	折版現し		遮天	-		⑨	棚	鋼製	380	430	880	1	20	
2	玄関ホール	RC	Pタイル	60	VH	CB	彩色模様塗装	GL(外壁)	GB-R t12+彩色模様塗装	LGS	GB-D t9	-	-	2	下足入	鋼製	900	390	1,790	4	10		
	現業員詰所	RC	VS t2.0	100	VH	木	GB-R t12.5 + VC		LGS	GB-D t9	2.700	-	ブラインドボックス	①	机	鋼製	910	630	740	24	30		
	事務室	RC	VS t2.0	100	VH	木	GB-R t12.5 + VC	GL(外壁)	GB-R t12.5 + VC	LGS	GB-D t9	2.700	-	ブラインドボックス	②	机	鋼製	1,800	900	700	3	45	
	宿直室	木1	たたみ t55	30	木	木	GB-R t12.5 + VC	GL(外壁)	GB-R t12.5 + VC	LGS	化粧杉板石こうボード t9.5	2.450	木	カーテンレール	③	机	鋼製	1,800	740	700	1	45	
	宿直室押入	木2	ラワン合板 t5.5	30	木	木	GB-Rt12.5 + ラワン合板 t4.0		LGS	化粧杉板石こうボード t9.5	2.450	木	中段、天袋	④	机	鋼製	1,430	630	750	1	40		
	仮眠室1,2	木1	たたみ t55	30	木	木	GB-R t12.5 + VC	GL(外壁)	GB-R t12.5 + VC	LGS	化粧杉板石こうボード t9.5	2.450	木	-	⑤	机	鋼製	1,200	480	450	1	35	
	仮眠室押入	木2	ラワン合板 t5.5	30	木	木	GB-Rt12.5 + ラワン合板 t4.0		LGS	化粧杉板石こうボード t9.5	2.450	木	中段、天袋	⑥	机	鋼製	1,600	800	740	1	40		
	ロッカールーム	RC	VS t2.0	75	VH	木	GB-R t12.5 + EP	GL(外壁)	GB-R t12.5 + EP	LGS	GB-D t9.5	2.700	アルミ	EXP.↓金物	⑦	机	鋼製	1,300	630	740	1	35	
	湯沸室	RC	VS t2.0	60	M	木	GB-R t12.5 + EP		LGS	FK t6 +EP	-	-	流し、吊棚、木見切り	⑧	机	鋼製	900	630	740	1	30		
	脱衣室	RC	VS t2.0 一部 フローリング	-	-	CB	M + EP		LGS	FK t6 +EP	-	-	鏡 360×450、収納棚	⑨	机	鋼製	440	640	450	1			
	浴室	RC	-	-	-	CB	-		RC	-	-	-	ユニットバス	⑩	椅子	樹脂製	500	500	850	34			
	洗面所	RC	VS t2.0	-	-	CB	M + EP		LGS	FK t6 +EP	2.400	-	鏡 360×450×2か所、ライニング フーディンカーテン、SUS流し 木製三方枠	⑪	椅子	鋼製	880	420	880	4	45		
	便所	RC	モザイクタイル 19×19 t7	-	-	M	タイル 100×100 t5		LGS	FK t6 +EP	2.400	-	ライニング W140	⑫	椅子	鋼製	880	420	880	4	45		
	共通	階段室	モルタル	VS t2.0 ノンスリップ	-	-	RC	彩色模様塗装		LGS	FK t6 +EP	(一部)2.400	-		⑬	椅子	鋼製	1,760	880	410	1	70	
															⑭	椅子	鋼製	900	450	2,100	3	70	
															⑮	椅子	鋼製	870	420	1,200	3	50	
															⑯	椅子	鋼製	880	420	880	4	45	
															⑰	椅子	鋼製	1,760	880	410	1	70	
															⑱	椅子	鋼製	900	450	2,100	3	70	
															⑲	椅子	鋼製	900	20	1,200	2		
														⑳	椅子	鋼製	910	630	740	3	40		
														㉑	椅子	樹脂製	500	500	850	3			
														㉒	椅子	鋼製	400	630	750	1	30		
														㉓	椅子	鋼製	610	510	1,790	1	70		
														㉔	椅子	鋼製	900	510	1,790	1	70		
														㉕	椅子	鋼製	450	500	730	1	30		
														㉖	椅子	鋼製	450	510	1,790	1	60		
														㉗	椅子	鋼製	860	510	1,790	4	70		
														㉘	椅子	鋼製	1,310	510	1,790	10	80		
														㉙	椅子	鋼製	860	370	1,750	1			
														㉚	椅子	鋼製	900	390	1,790	1			
														㉛	椅子	鋼製	900	510	1,790	1	70		

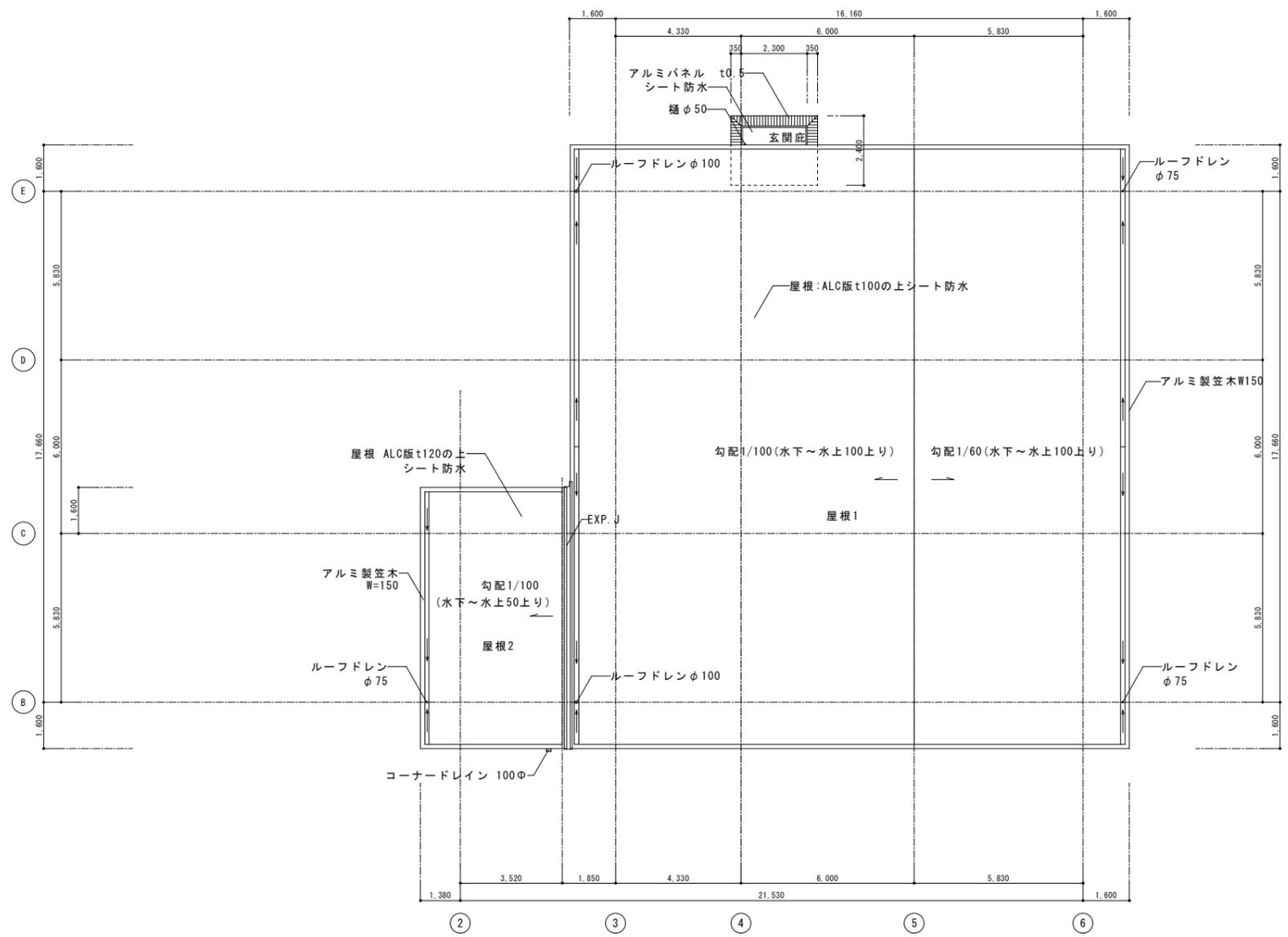
仕上凡例										特記事項・備考	
RC	コンクリート	GW	グラスウール	複層塗材E	合成エマルション系複層仕上塗材	柱型1	(下部)FL~H1600までRC、(上部)鉄骨柱 + 耐火被覆	フローリング	フローリング t15	・石綿含有建材としてVH、FKは処理すること。 ・1階 メーター置場にある荷物を同敷地の資材管理棟への移送を見込むこと	
M	モルタル	DR	ロックウール化粧吸音板	EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント	柱型2	LGSの上、FK t6+EP(端部)アルミ見切り	(脱衣室)	構造用合板 t12 根太 45×40 #360 上がり蓋 45×90		
GL	GL工法	VC	ビニルクロス	SOP	合成樹脂調合ペイント	柱型3	(下部)FL~H1600までRC (上部)LGSの上、FK t6+EP(端部)アルミ見切り				
GB-R	せつこうボード(P8、プラスターボード)	VS	長尺シート(ビニル床シート)	DP	耐水性塗料	柱型4	(下部)FL~H1600までRC、(上部)鉄骨柱 + VP				
GB-D	化粧せつこうボード	LGS	軽量鉄骨下地	OA(H**)	OAフロア(**は高さを示す)						
VH	ビニル巾木(石綿含有建材)			SPT	鋼製パーテーション	木1	ラワン合板 t5.5 根太:45×45 #360 大引:90×45 #900				
FK	繊維混入ケイ酸カルシウム板 (石綿含有建材)					木2	根太:45×45 #360 アルミ見切り L12×12×t0.8				



1階平面図 S=1/100



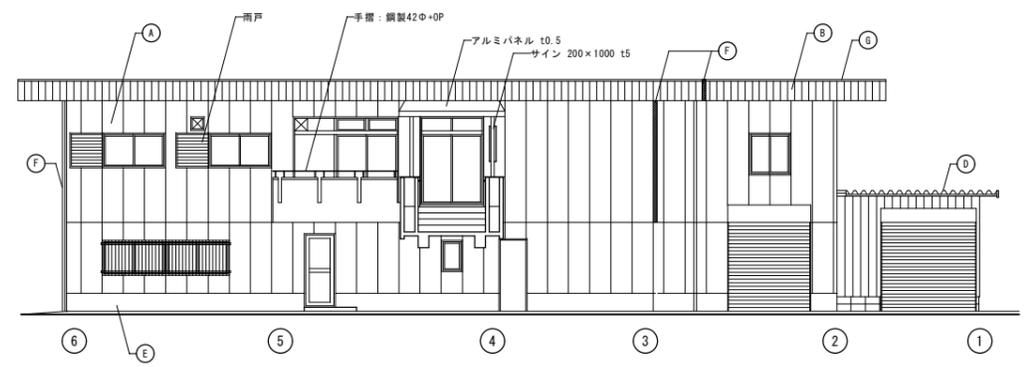
2階平面図 S=1/100



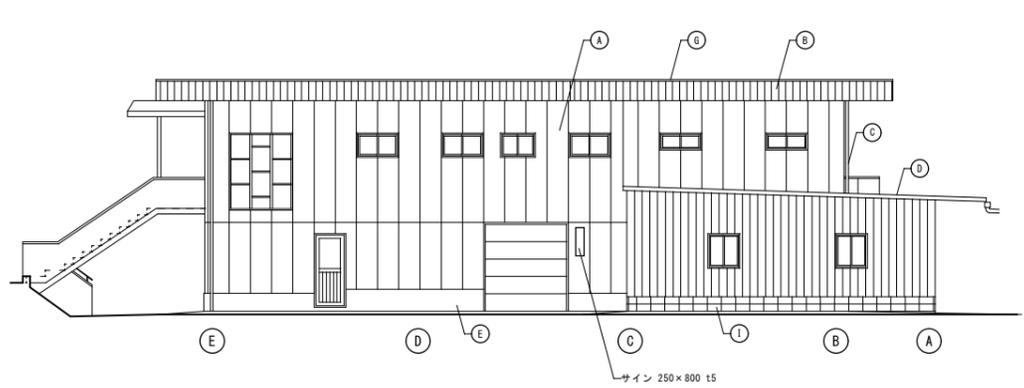
屋根伏図 1/100

特記事項 ・ ・ ・	<b>株式会社 総合設計</b> <small>一級建築士事務所 広島県知事登録 25(1)第3394号          管理建築士(大臣) 第335100号 山本 裕一</small>	明石市都市局住宅・建築室 営繕課	製作年月日 2025年 8月	工事名称 (仮称)上下水道庁舎建設工事 図面名称 水道サービスセンター 解体・撤去図(参考図) 縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200 屋根伏図	当初・変更・完成 図番 KA-04
---------------------	---	------------------	-------------------	---	----------------------

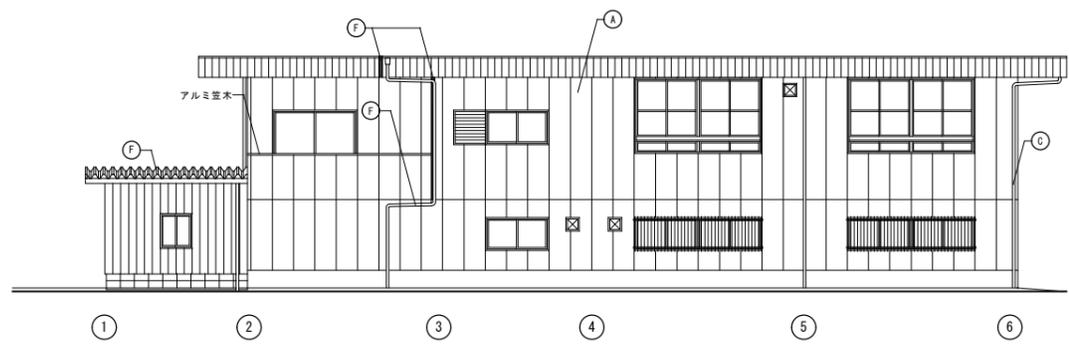
凡例	
(A)	ALC壁t100+アクリル系付着剤
(B)	カラー鋼板スパンデル t0.35
(C)	壁種
(D)	折板屋根：樹脂化粧鋼板
(E)	モルタル刷毛引き
(F)	EXP-J
(G)	アルミ窓木
(H)	RC吹付タイル
(I)	CB t120



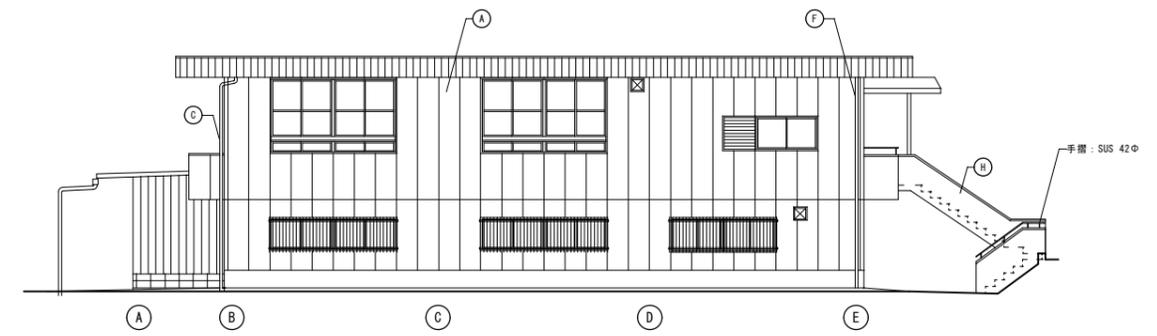
北側立面図 S=1/100



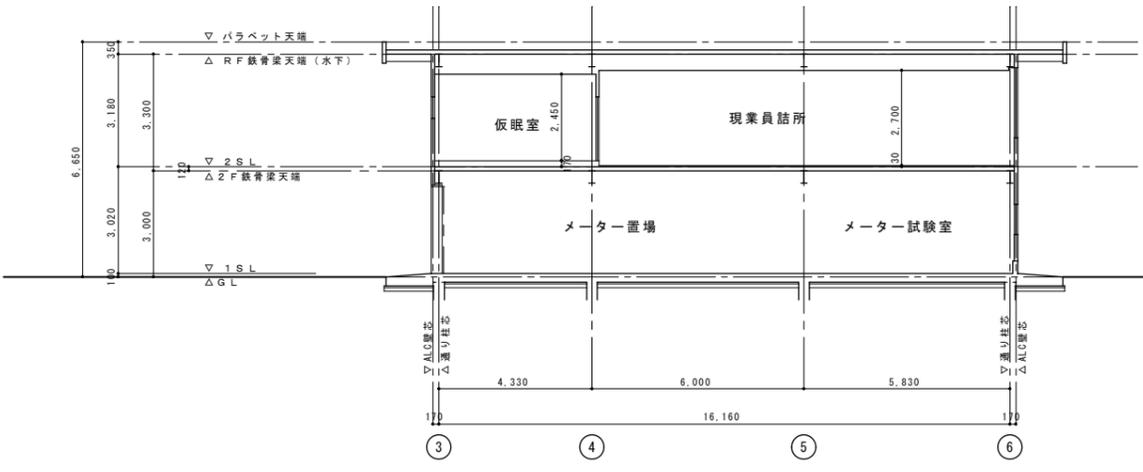
西側立面図 S=1/100



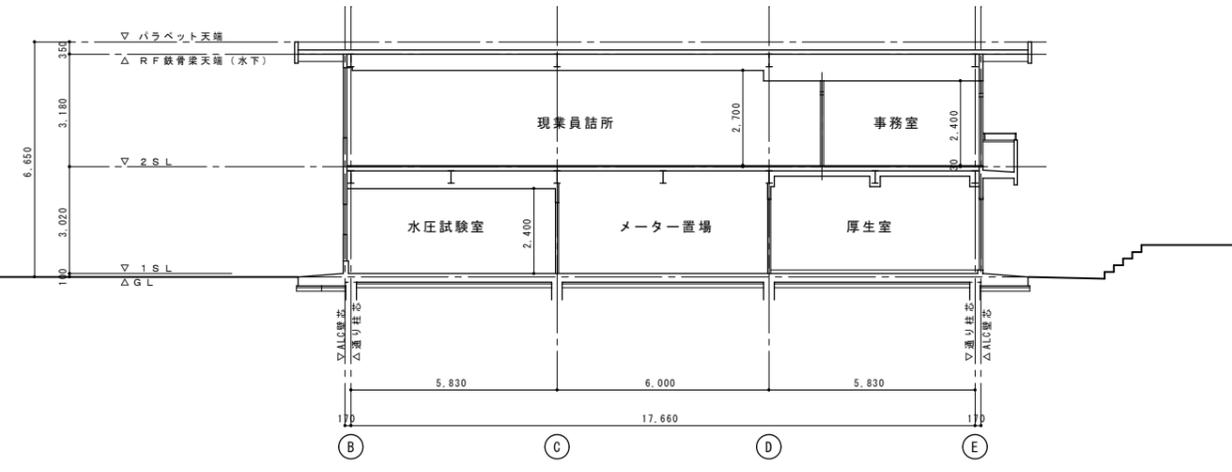
南側立面図 S=1/100



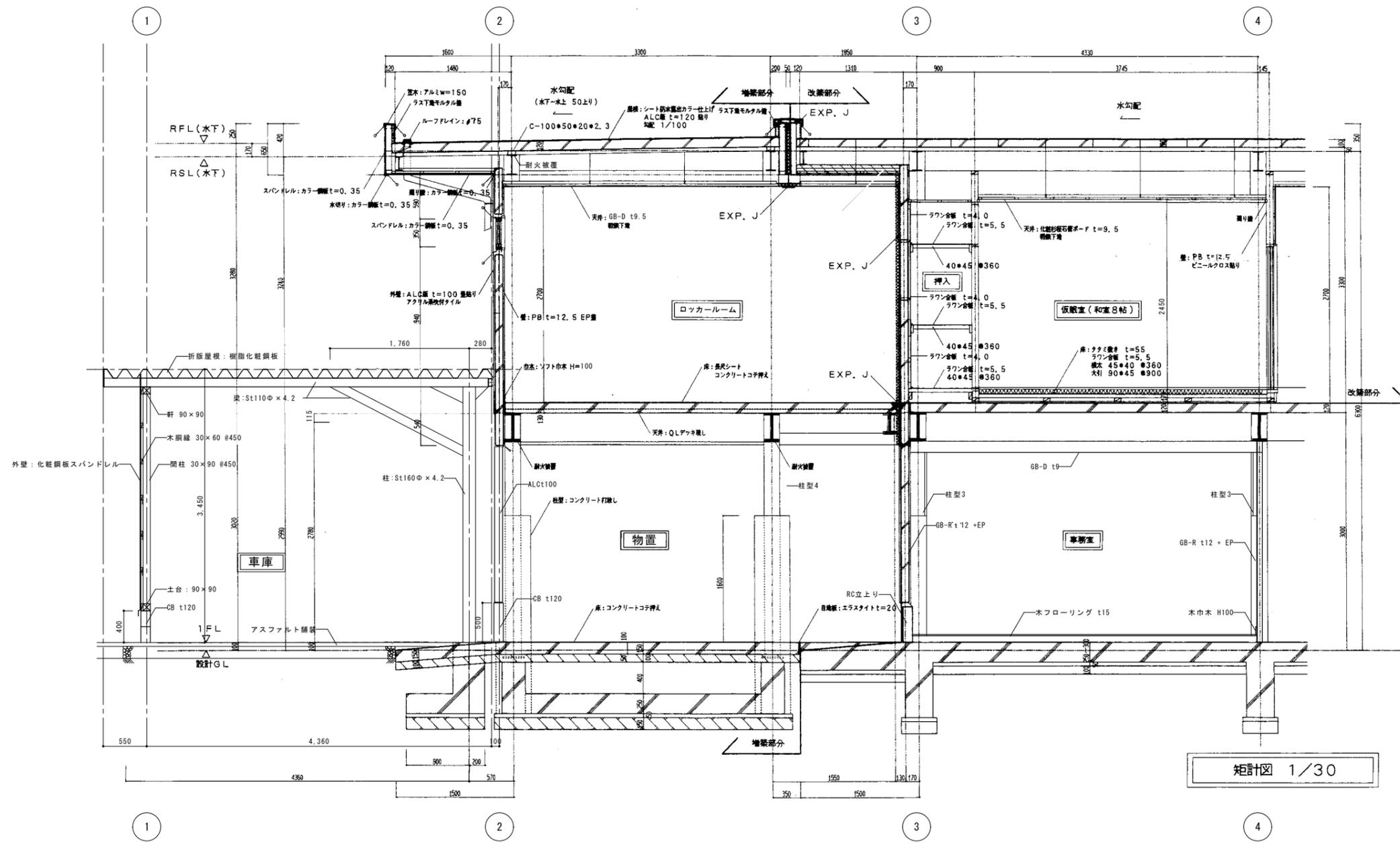
東側立面図 S=1/100



A-A断面図 S=1/100

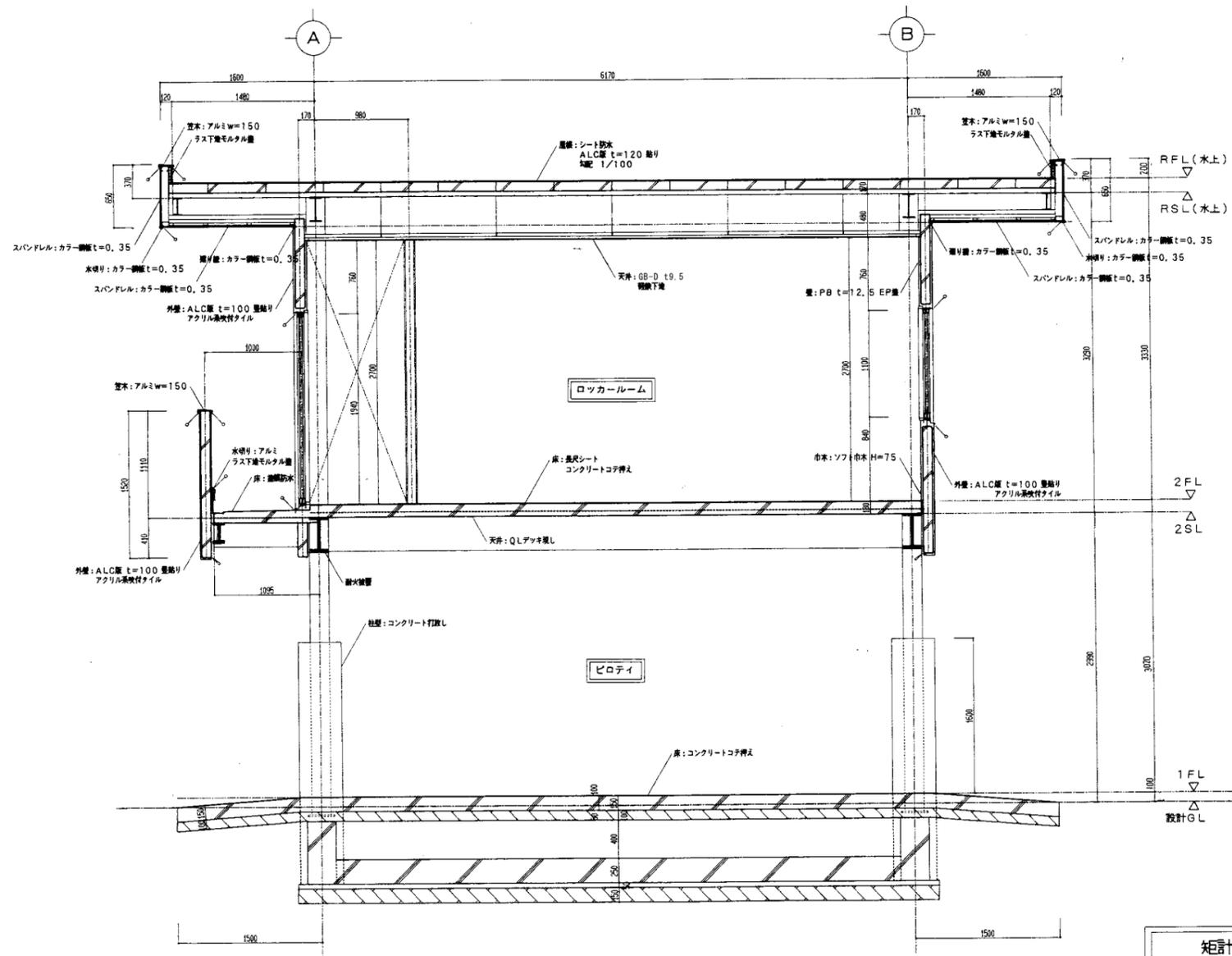


B-B断面図 S=1/100



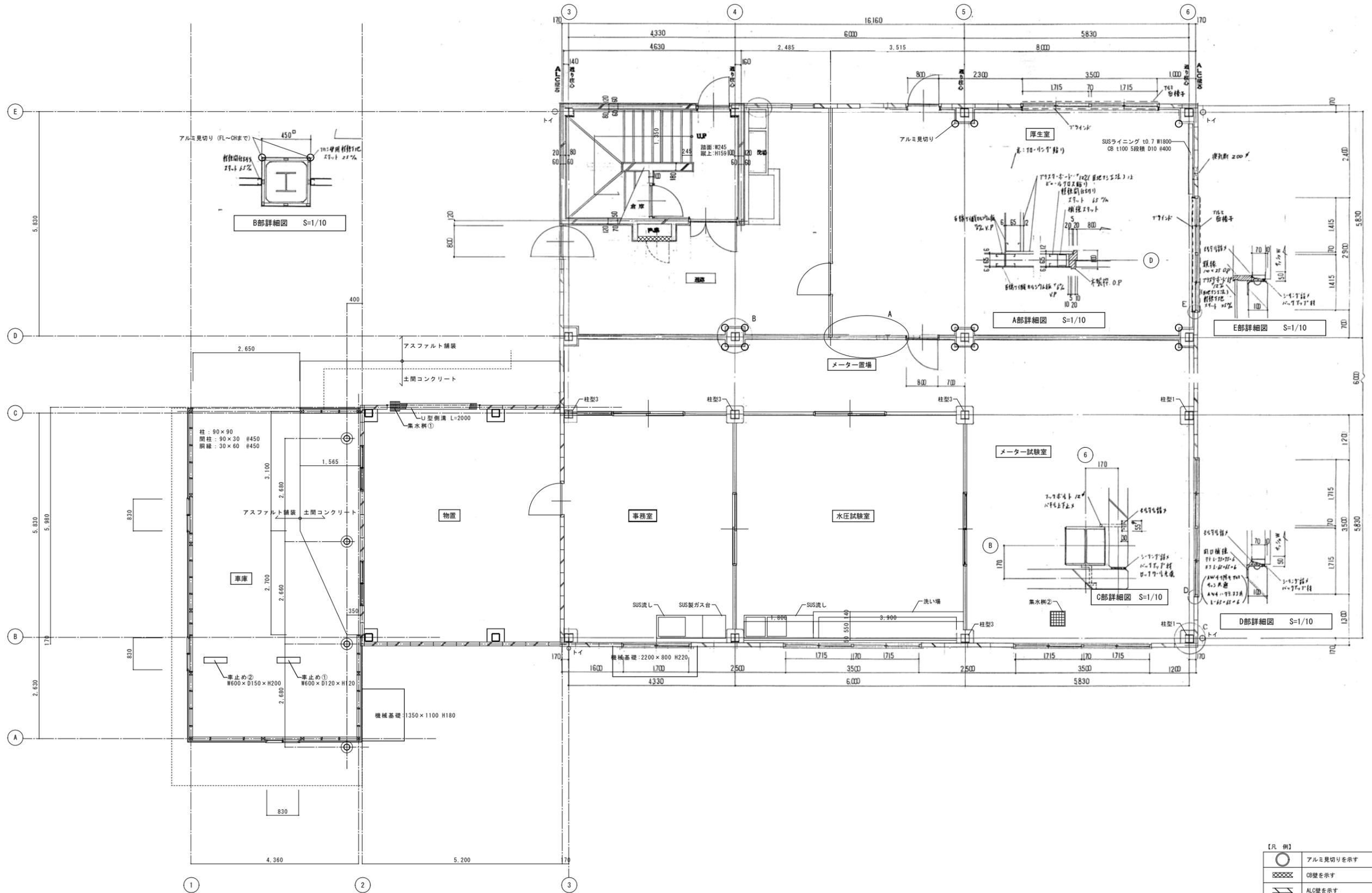
矩計図 1/30

特記事項 ・ ・ ・	<b>株式会社 緯企図設計</b> <small>一級建築士事務所 広島県知事登録 25(1)第3394号          管理建築士(大臣) 第335100号 山本 裕一</small>	製年月日 2025年 8月	工事名称 (仮称)上下水道庁舎建設工事 図面名称 水道サービスセンター 解体・撤去図(参考図) 縮尺 A1: 1/30 A3: 1/60 図番 KA-06	当初・変更・完成 図番 KA-06
---------------------	--	------------------	--	-------------------------



特記事項 ・ ・ ・	株式会社 緑企画設計 一級建築士事務所 広島県知事登録 25(1)第3394号 管理建築士 一級建築士(大臣) 第335100号 山本 裕一	明石市都市局住宅・建築室 宮緒課	製作年月日 2025年 8月	工事名称 (仮称)上下水道庁舎建設工事 図面名称 水道サービスセンター 解体・撤去図(参考図) 縮尺 A1: 1/30 A3: 1/60 図番 KA-07	当初・変更・完成 図番 KA-07
---------------------	--	------------------	-------------------	--	-------------------------

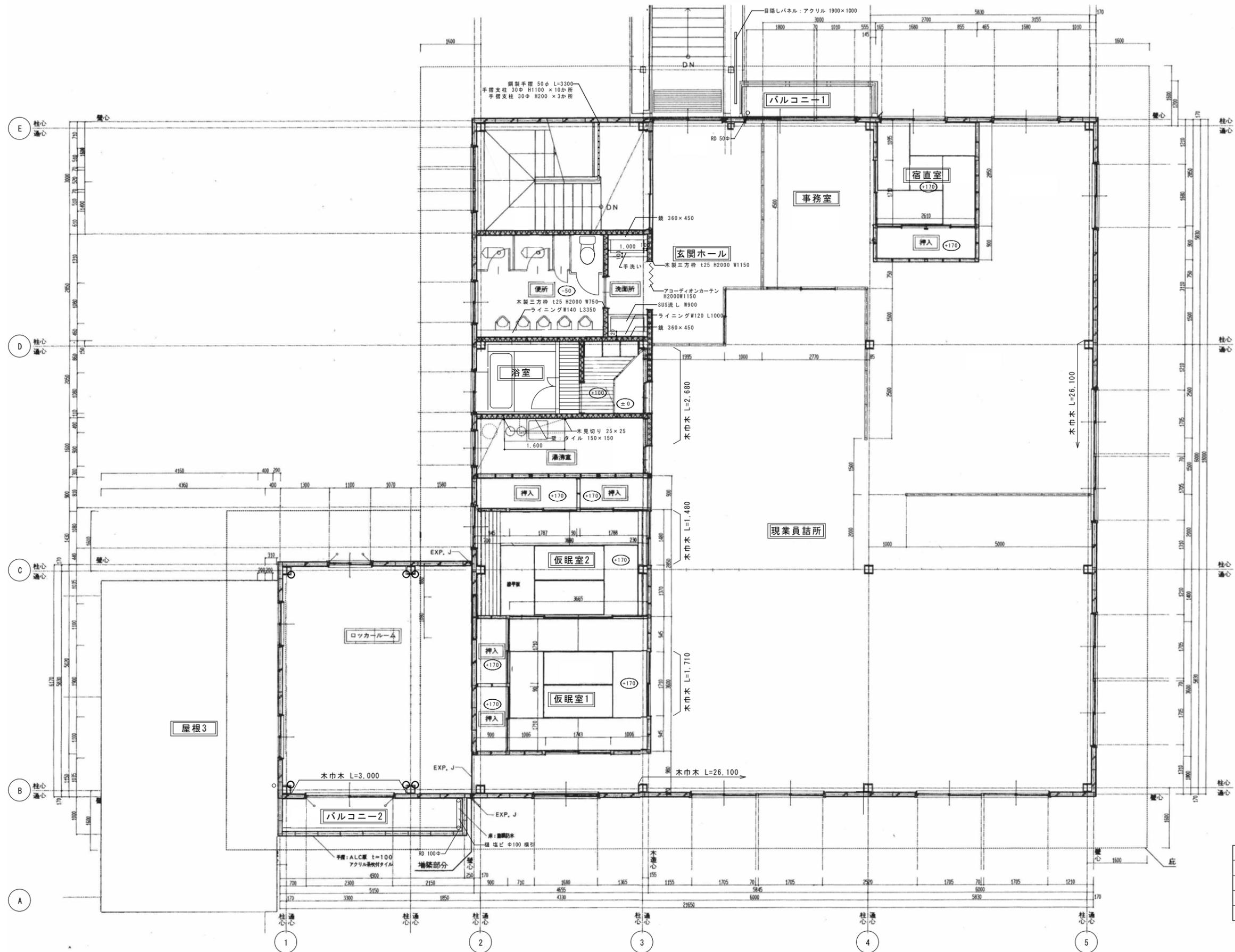




1階平面詳細図 S=1/50

【凡例】

	アルミ見切りを示す
	CB壁を示す
	ALG壁を示す
	RC壁を示す
	軽鉄下地盤を示す

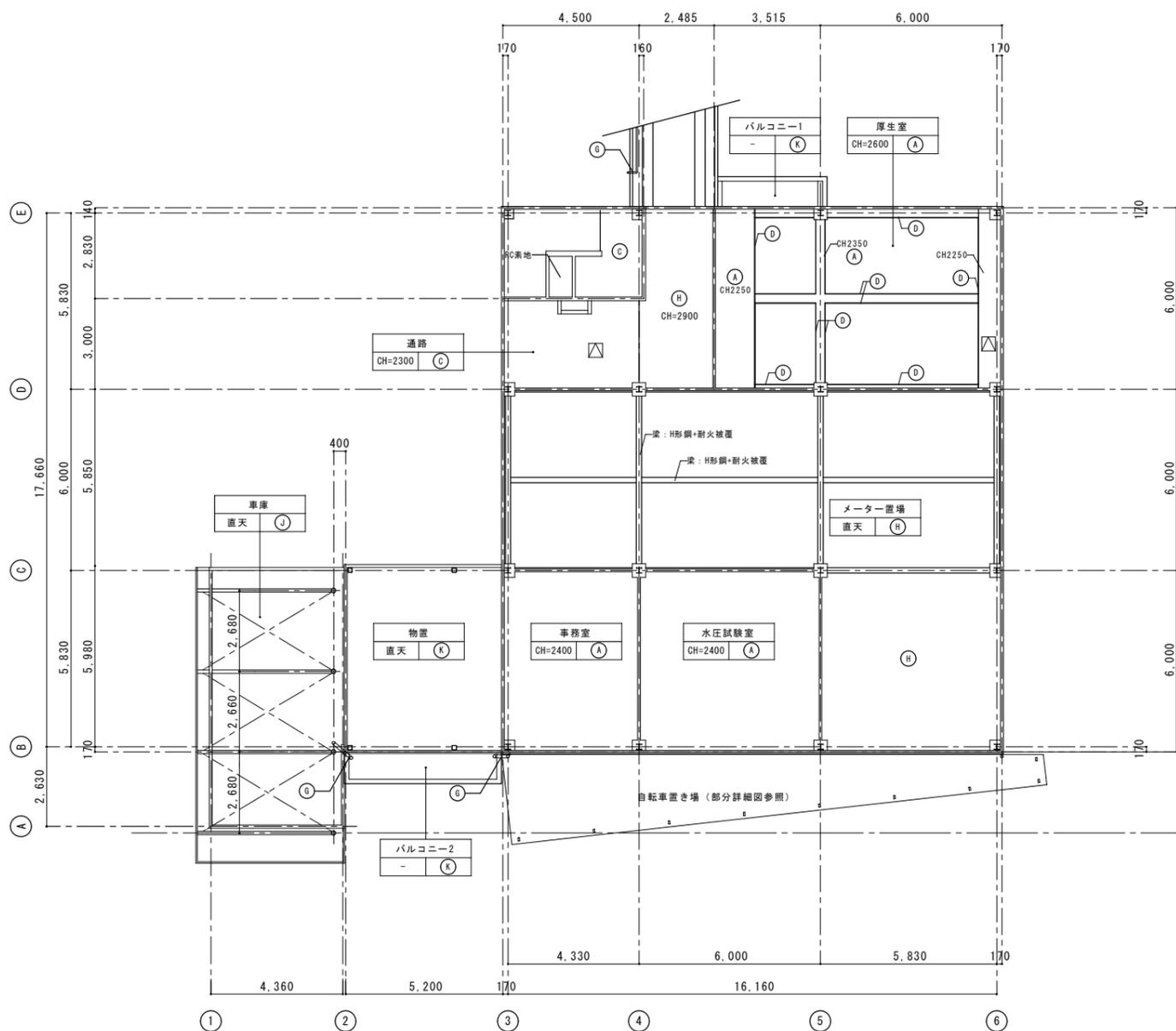


【凡 例】

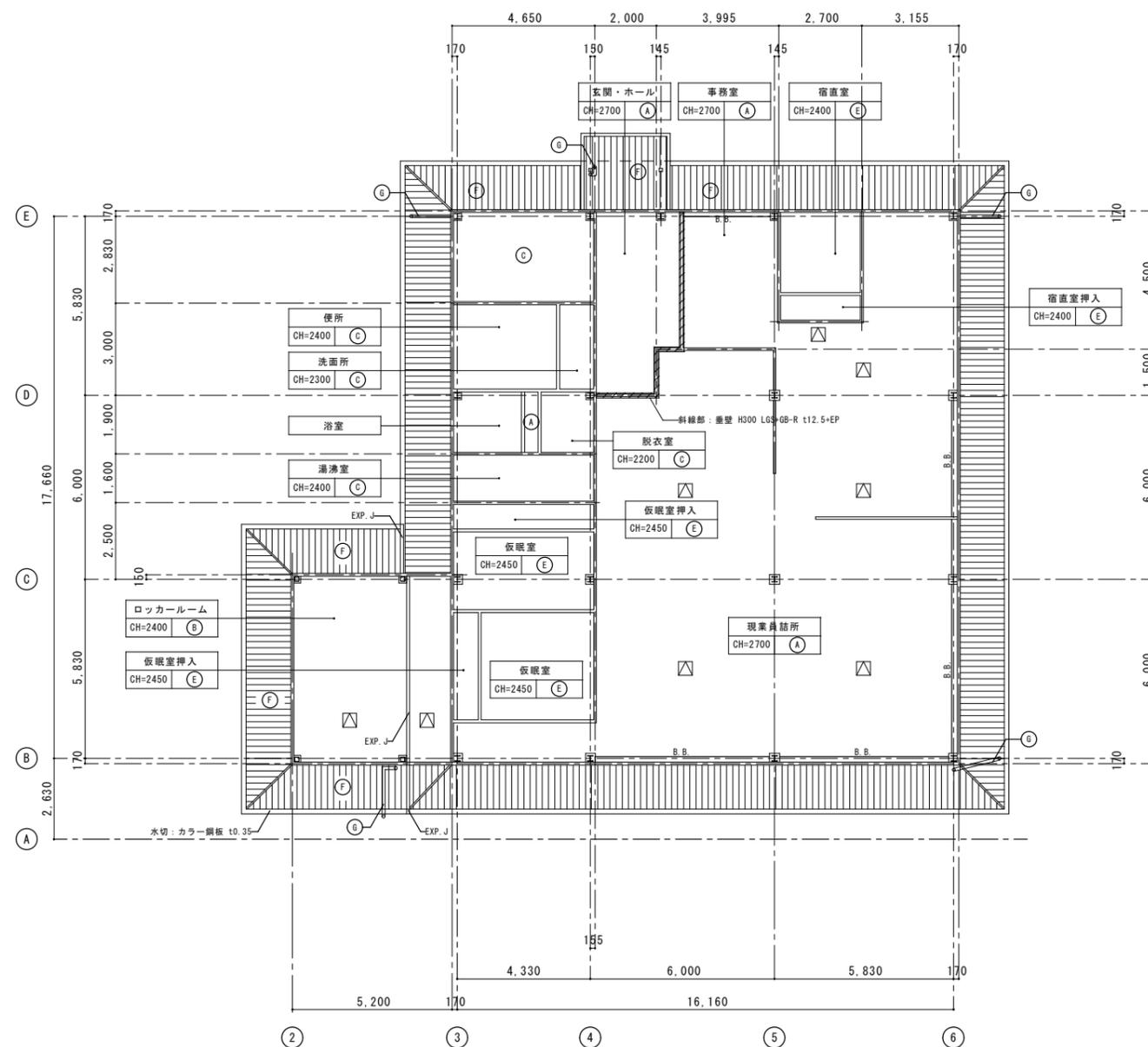
	アルミ見切りを示す
	CB壁を示す
	ALC壁を示す
	木下地盤を示す
	FLを示す 特記無き限りFL±0



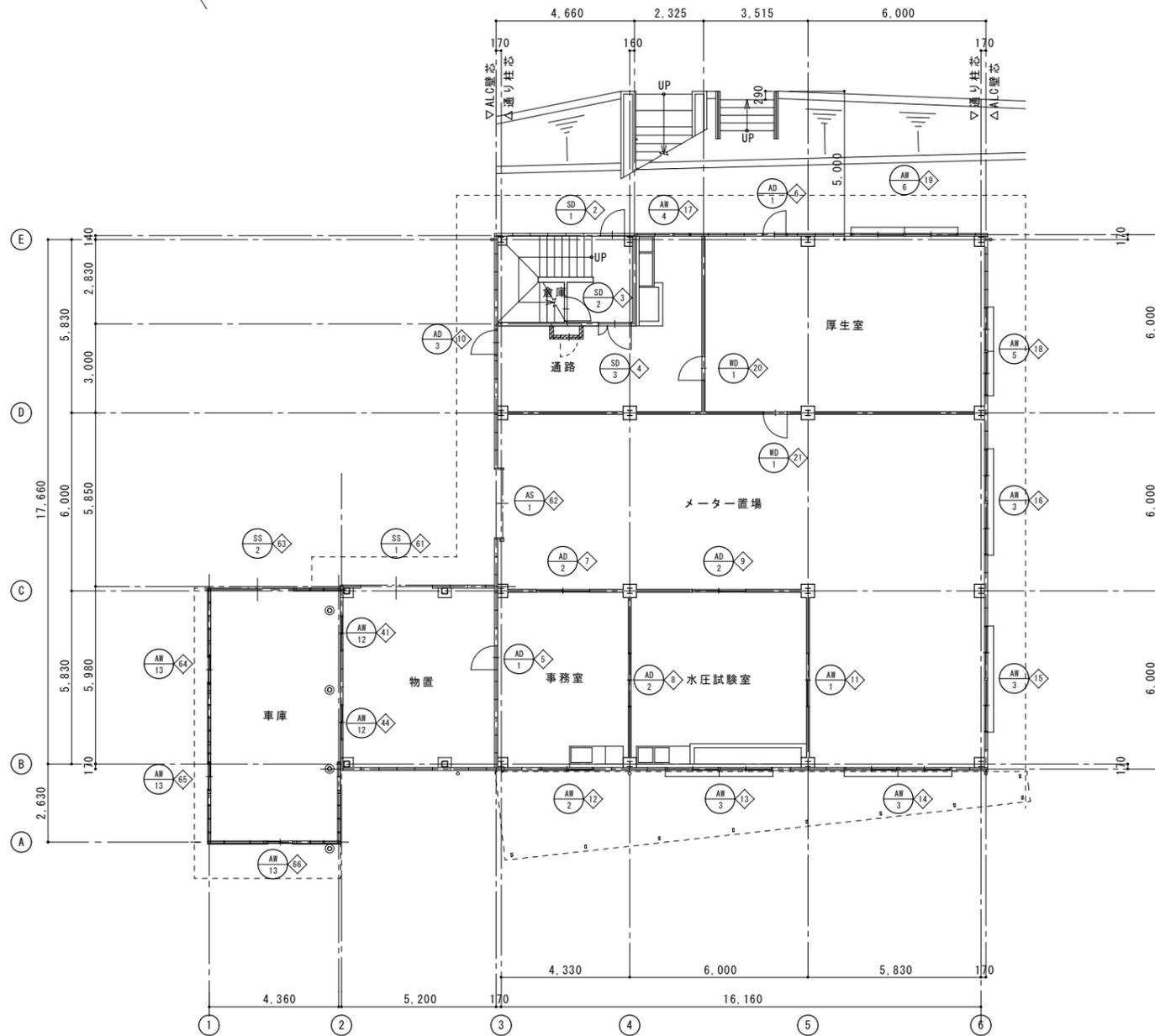
仕上表 (1, 2階共通)	
(A)	GB-D t9
(B)	GB-D t9.5
(C)	FK t6 + EP
(D)	アルミ見切り
(E)	化粧杉板石こうボード t9.5
(F)	ガルバリウム鋼板スパンデル t0.35
(G)	種
(H)	RC吹付
(I)	モルタル
(J)	折板屋根：樹脂化粧鋼板
(K)	QLデッキ視し
(L)	RC+外装薄塗材
B.B.	木製ブラインドBOX W180×H130
(△)	天井点検口 450×450



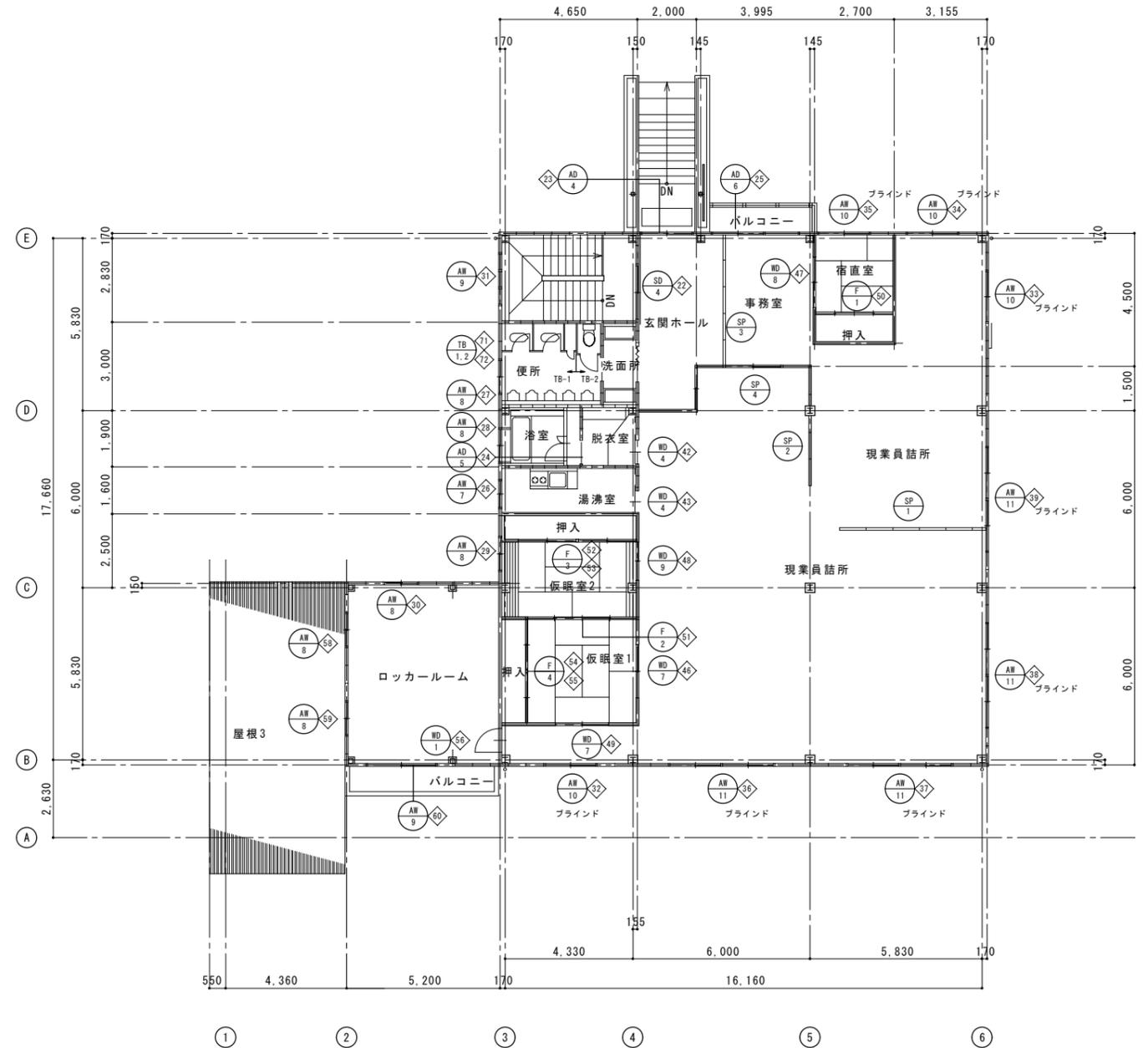
1階天井伏図 S=1/100



2階天井伏図 S=1/100



1階平面図 S=1/100



2階平面図 S=1/100

特記事項	

株式会社 総合設計  
 一級建築士事務所 広島県知事登録 25(1)第3394号  
 管理建築士 一級建築士(大臣) 第335100号 山本 智一

明石市都市局住宅・建築室管轄課

製作年月日 2025年 8月  
 工事名称 (仮称) 上下水道庁舎建設工事  
 図面名称 水道サービスセンター 解体・撤去図(参考図) 縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200  
 図番 KA-12

当初・変更・完成

省略記号凡例			
仕上	ガラス	金物	金物
EPX : エポキシ樹脂系塗装	HSG : 熱線吸収ガラス	CP : シリンダー錠錠	TA : 戸当り、障り止め
OP : 合成樹脂適合ペイント塗装	HFLG : 熱線吸収フロートガラス	PD : シリンダー本錠錠	KH : ケースハンドル
TU : 低汚染形ウレタン樹脂塗装	HSWG : 熱線吸収入りガラス	LD : 押錠本錠錠	J : 扉山調整器
FE : フタル酸樹脂エナメル塗装	HSPG : 熱線吸収強化ガラス	M : 円錠錠	AS : アームストッパー
GP : 塩化ゴム系塗装	FWG : 断入型板ガラス	T : 丁番	
	FG : 型板ガラス	FH : フロアピンジ (ストップ無)	
	SG : 透明ガラス	PH : ピボットピンジ	
	PG : 磨板ガラス	DC : ドアチェック (ストッパーなし)	
	PLG : 挿入磨板ガラス	G : グレモン棒	
	PWG : 挿入磨板ガラス	FD : フランス差し	

階	番号	建具記号	管理用建具符号	室名	材質	構造	寸法 W X H X t	仕上	ガラス	金物	塗替 ㎡	工事区分	マスター鍵番号 (美和ロック製)	改修項目
1F	2	SD 1		階段室	スチール	片開き戸	800 X 2,000 X 100	OP	/ t : mm					
	3	SD 2		倉庫 (階段下)	スチール	片開き戸	800 X 2,000 X 100	OP	FWG t : 6.8 mm 700 X 900					
	4	SD 3		階段室	スチール	親子開き戸	1,100 X 2,000 X 100	OP	/ t : mm					
	5	AD 1		事務室	アルミ	片開き戸	800 X 2,000 X 70	シルバー	FWG t 6.8 mm 700 X 900	M T ドアチェック 腰パネル				
	6	AD 1		厚生室	アルミ	片開き戸	800 X 2,000 X 70	シルバー	FWG t 6.8 mm 700 X 900	M T ドアチェック 腰パネル				
	7	AD 2		事務室~メーター置場	アルミ	引違い戸	1,800 X 1,900 X 70	シルバー	SG t 5 mm 800 X 800 X 2	クレセント 腰パネル				
	8	AD 2		事務室~水圧試験室	アルミ	引違い戸	1,800 X 1,900 X 70	シルバー	SG t 5 mm 800 X 800 X 2	クレセント 腰パネル				
	9	AD 2		水圧試験室~メーター置場	アルミ	引違い戸	1,800 X 1,900 X 70	シルバー	SG t 5 mm 800 X 800 X 2	クレセント 腰パネル				
	10	AD 3		通路	アルミ	自由開き戸	800 X 2,000 X 70	シルバー	FWG t 6.8 mm 700 X 900	M オートピンジ 腰パネル				
	20	WD 1		厚生室~通路	木製	片開き戸	800 X 2,000 X 36	OP	/ t : mm	M T ドアチェック アルミガラリ 550 X 200				
	21	WD 1		厚生室~メーター置場	木製	片開き戸	800 X 2,000 X 36	OP	/ t : mm	M T ドアチェック				
2F	22	SD 4		階段室	スチール	片開き戸	2,500 X 1,940 X 100	シルバー	SG t 6.8 mm 2,200 X 900	クレセント 腰パネル				
	23	AD 4		玄関	アルミ	引違い戸	1,700 X 2,400 X 100	シルバー	PLG t 6.8 mm 800 X (900+300) X 2	クレセント 腰パネル				
	24	AD 5		浴室	アルミ	片開き戸 【枠のみ】	800 X 1,940 X 100	シルバー						
	25	AD 6		事務室	アルミ	片開き戸	2,900 X 2,400 X 100	シルバー	SG t 6.8 mm 800 X 300 X 3 (1,000+800 X 2) X 1,900	クレセント				
	40	欠番												
	42	WD 4		脱衣室	木製	片開き戸	800 X 1,940 X 100	クロス貼	/ t : mm					
	43	WD 4		洗濯室	木製	片開き戸	800 X 1,940 X 100	クロス貼	/ t : mm					
	45	欠番												
	46	WD 7		仮眠室1	木製	引違い戸	1,700 X 1,800 X 100	クロス貼	/ t : mm					
	47	WD 8		事務室~倉庫	木製	引違い戸	1,800 X 1,800 X 100	クロス貼	/ t : mm					
	48	WD 9		仮眠室2	木製	引違い戸	1,400 X 1,800 X 100	クロス貼	/ t : mm					
	49	WD 7		仮眠室1	木製	引違い戸	1,700 X 1,800 X 100	クロス貼	PG t 6.8 mm 600 X 600 X 2					
	50	F 1		倉庫	木製	引違い戸プスマ	2,600 X 2,450 X 20	新島ノ子紙貼	/ t : mm					
	51	F 2		仮眠室1~2	木製	引違い戸プスマ	3,665 X 1,800 X 20	新島ノ子紙貼	/ t : mm					

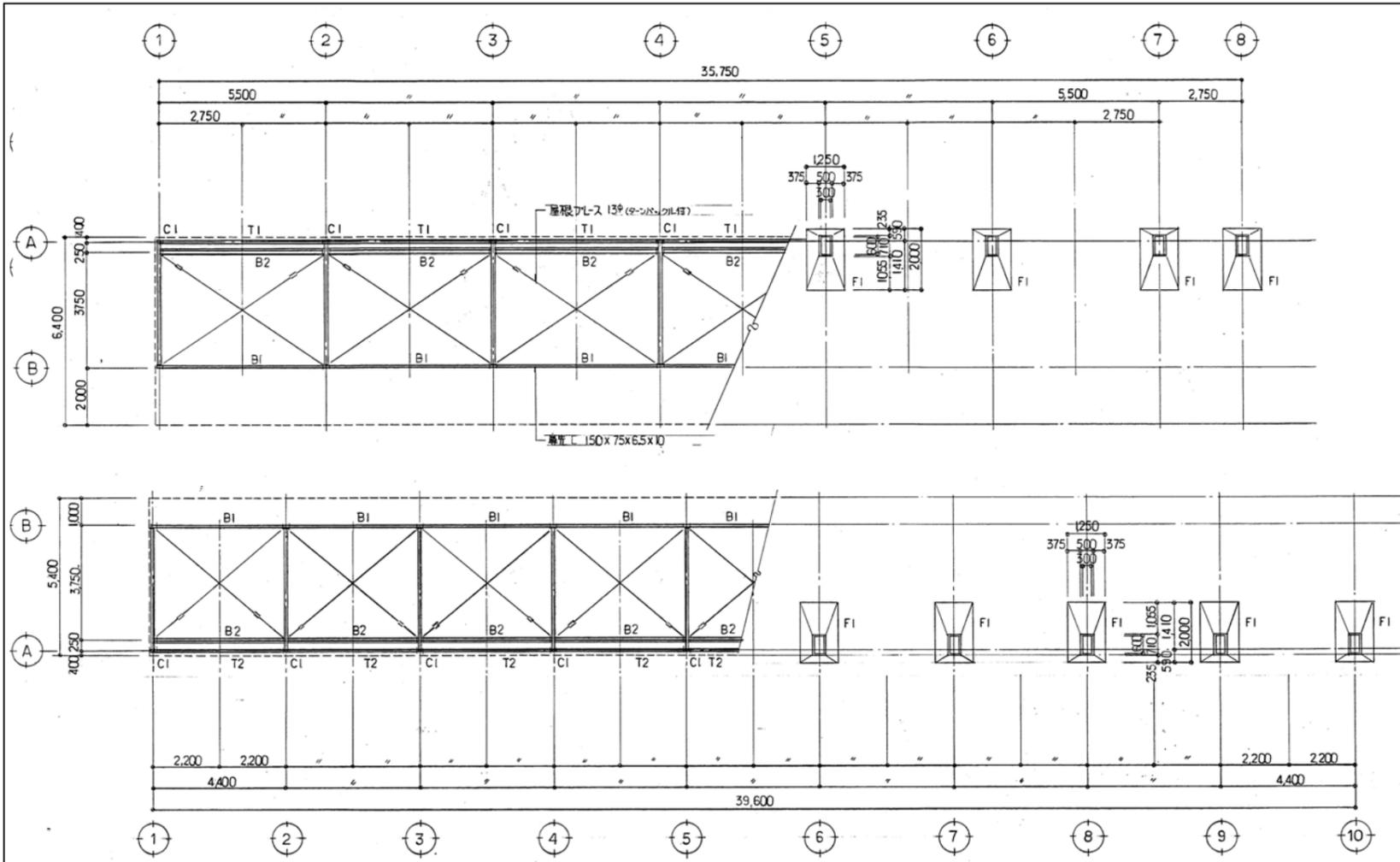
階	番号	建具記号	管理用建具符号	室名	材質	構造	寸法 W X H X t	仕上	ガラス	金物	塗替 ㎡	工事区分	マスター鍵番号 (美和ロック製)	改修項目
2F	52	F 3		押入 (仮眠室1)	木製	引違い戸プスマ	1,700 X 2,450 X 20	新島ノ子紙貼	/ t : mm					
	53	F 3		押入 (仮眠室1)	木製	引違い戸プスマ	1,700 X 2,450 X 20	新島ノ子紙貼	/ t : mm					
	54	F 4		押入 (仮眠室2)	木製	引違い戸プスマ	1,700 X 2,450 X 20	新島ノ子紙貼	/ t : mm					
	55	F 4		押入 (仮眠室2)	木製	引違い戸プスマ	1,700 X 2,450 X 20	新島ノ子紙貼	/ t : mm					
	56	WD 1		ロッカールーム	木製	片開き戸	700 X 2,200 X 100	SOP	PG t 6.8 mm 180 X 820	ドアチェック アルミガラリ 180 X 650				
	57	F 2		押入 (倉庫)	木製	引違い戸プスマ	2,600 X 2,450 X 20	新島ノ子紙貼	/ t : mm					

トイレブースリスト														
階	番号	建具記号	管理用建具符号	室名	材質	構造	寸法 W X H X t	仕上	ガラス	金物	塗替 ㎡	工事区分	マスター鍵番号 (美和ロック製)	改修項目
2F	71	TB 1		便所	メラミン	トイレブース	2390 X H1910 (間仕切り) 950 X H1910 X 2	メラミン樹脂						
	72	TB 2		便所	メラミン	トイレブース	(1060+820) X H1910	メラミン樹脂						

階	番号	建具記号	管理用建具符号	室名	材質	構造	寸法 W × H × t	仕上	ガラス	金物	造替 ㎡	工事区分	マスター番号 (兼ロック製)	備考欄
1F	11	AW 1		水圧試験室～メーター置場	アルミ	引違い窓	1,800 × 900 × 70	シルバー	SG t 5 mm	クレセント				
	12	AW 2		事務室	アルミ	引違い窓	1,700 × 850 × 70	シルバー	FWG t 6.8 mm	クレセント 水切 アルミ面格子				
	13	AW 3		水圧試験室	アルミ	引違い窓	3,500 × 850 × 70	シルバー	FWG t 6.8 mm	クレセント 水切 アルミ面格子				
	14	AW 3		メーター置場	アルミ	引違い窓	3,500 × 850 × 70	シルバー	FWG t 6.8 mm	クレセント 水切 アルミ面格子				
	15	AW 3		メーター置場	アルミ	引違い窓	3,500 × 850 × 70	シルバー	FWG t 6.8 mm	クレセント 水切 アルミ面格子				
	16	AW 3		メーター置場	アルミ	引違い窓	3,500 × 850 × 70	シルバー	FWG t 6.8 mm	クレセント 水切 アルミ面格子				
	17	AW 4		通廊	アルミ	内開し窓	500 × 800 × 70	シルバー	FWG t 6.8 mm	ラッチ錠				
	18	AW 5		厚生室	アルミ	引違い窓	2,900 × 900 × 70	シルバー	FWG t 6.8 mm	アングルピース 水切 アルミ面格子				
	19	AW 6		厚生室	アルミ	引違い窓	3,500 × 900 × 70	シルバー	FWG t 6.8 mm	アングルピース 水切 アルミ面格子				
	41	AW 12		物置	アルミ	引違い窓	1,100 × 450 × 70	シルバー	PWG t 6.8 mm					
	44	AW 12		物置	アルミ	引違い窓	1,100 × 450 × 70	シルバー	PWG t 6.8 mm					
2F	26	AW 7		湯沸室	アルミ	引違い窓	900 × 600 × 70	シルバー	SG t 6.8 mm					
	27	AW 8		便所	アルミ	引違い窓	1,100 × 600 × 70	シルバー	PWG t 6.8 mm					
	28	AW 8		浴室	アルミ	引違い窓	1,100 × 600 × 70	シルバー	SG t 6.8 mm					
	29	AW 8		脱衣室2	アルミ	引違い窓	1,100 × 600 × 70	シルバー	SG t 6.8 mm					
	30	AW 8		ロッカールーム	アルミ	引違い窓	1,100 × 600 × 70	シルバー	PWG t 6.8 mm					
	31	AW 9		階段室	アルミ	換気扇し窓	1,900 × 2,100 × 70	シルバー	SG t 6.8 mm					
	32	AW 10		現業員詰所	アルミ	引違い窓	1,700 × 900 × 70	シルバー	SG t 6.8 mm					
	33	AW 10		現業員詰所	アルミ	引違い窓	1,700 × 900 × 70	シルバー	PLG t 6.8 mm					
	34	AW 10		現業員詰所	アルミ	引違い窓	1,700 × 900 × 70	シルバー	SG t 6.8 mm					
	35	AW 10		書庫室	アルミ	引違い窓	1,700 × 900 × 70	シルバー	SG t 6.8 mm					
	36	AW 11		現業員詰所	アルミ	引違い窓	3,500 × 2,050 × 70	シルバー	PLG t 6.8 mm					
	37	AW 11		現業員詰所	アルミ	引違い窓	3,500 × 2,050 × 70	シルバー	PLG t 6.8 mm					
	38	AW 11		現業員詰所	アルミ	引違い窓	3,500 × 2,050 × 70	シルバー	PLG t 6.8 mm					
	39	AW 11		現業員詰所	アルミ	引違い窓	3,500 × 2,050 × 70	シルバー	PLG t 6.8 mm					
	58	AW 8		ロッカールーム	アルミ	引違い窓	1,100 × 600 × 70	シルバー	PWG t 6.8 mm					
	59	AW 8		ロッカールーム	アルミ	引違い窓	1,100 × 600 × 70	シルバー	PWG t 6.8 mm					
	60	AW 9		ロッカールーム	アルミ	引違い窓	1,700 × 2,000 × 70	シルバー	PWG t 6.8 mm					

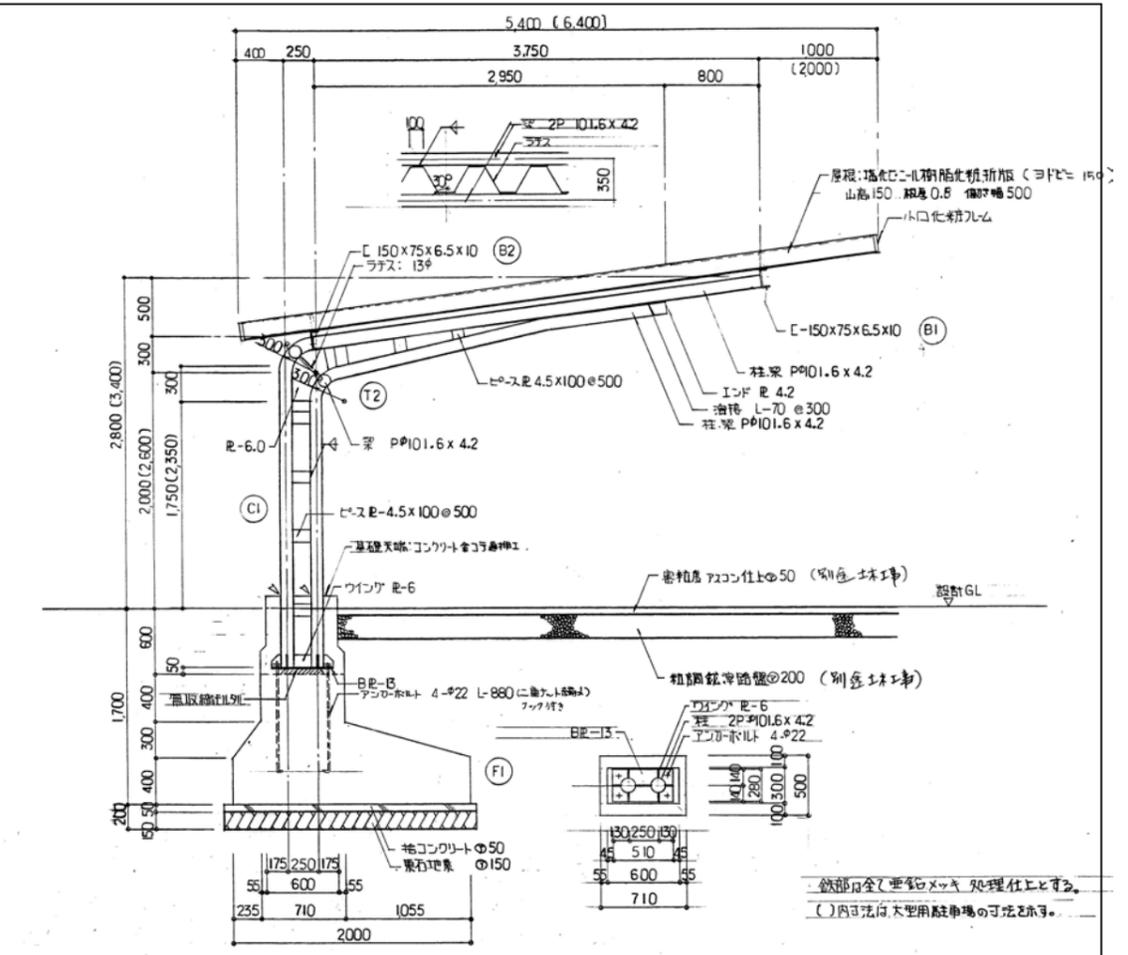
1F	61	SS 1		事務室	スチール	シャッター	2,400 × 2,500 × 100	OP	／ t : mm						
	62	AS 1		物置	アルミ	シャッター	2,300 × 2,500 × 100	※1756系樹脂樹脂付塗装	／ t : mm						
	車庫リスト														
	63	SS 2		車庫	スチール	シャッター	2,650 × 2,500 × 100	OP							
	64	AW 13		車庫	アルミ	引違い窓	830 × 900 × 70	シルバー	FG t : 4 mm						
65	AW 13		車庫	アルミ	引違い窓	830 × 900 × 70	シルバー	FG t : 4 mm							
66	AW 13		車庫	アルミ	引違い窓	830 × 900 × 70	シルバー	FG t : 4 mm							
スチールパーテーションリスト															
67	SP 1		現業員詰所	スチール	スチールパーテーション (欄間部ガラス)	4390 × 2700 × 70	焼付塗装	FG t : 6 mm (900×4+430) × H1700							
68	SP 2		現業員詰所	スチール	スチールパーテーション (欄間部ガラス)	2380 × 2700 × 70	焼付塗装	FG t : 4 mm (900×2+580) × H600							
69	SP 3		現業員詰所	スチール	スチールパーテーション (欄間部ガラス)	4390 × 2700 × 70	焼付塗装	FG t : 4 mm (900×4+790) × H300							
70	SP 4		現業員詰所	スチール	スチールパーテーション (欄間部ガラス)	(1965+1500+920) × 2400 × 80 + (2770+1340) × 2700 × 80	焼付塗装	FG t : 4 mm (985+900) × H300 1420 × H300 920 × H300 (1800+820) × H600 (440+900) × H600							



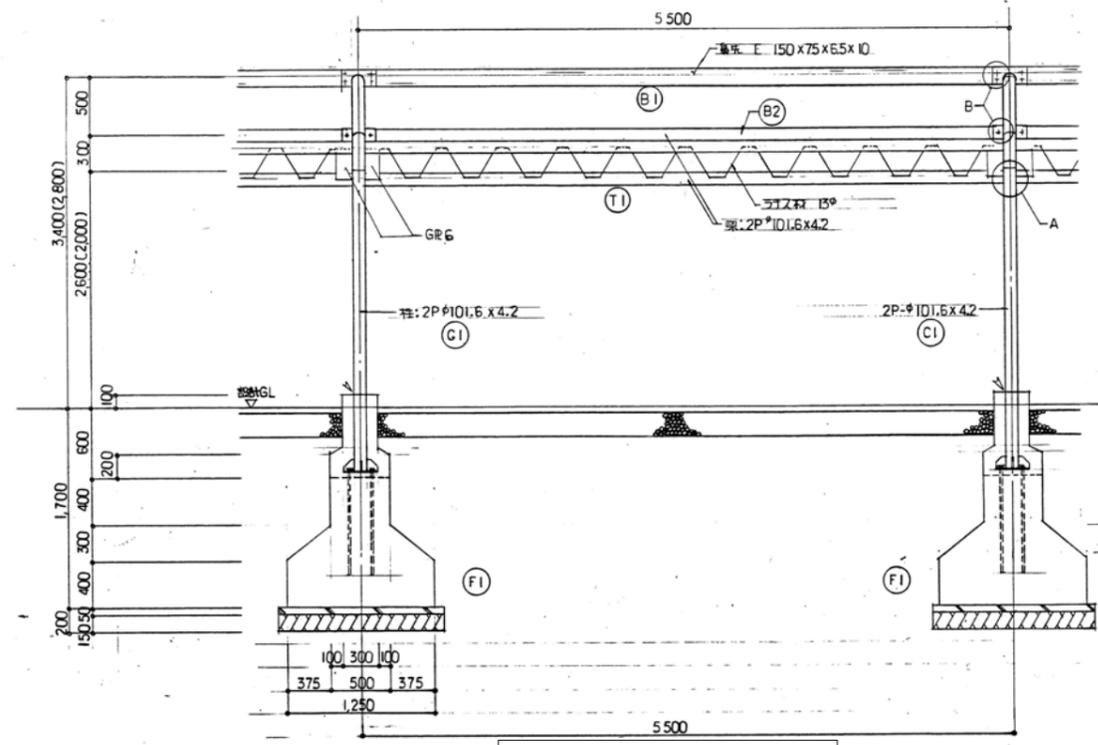
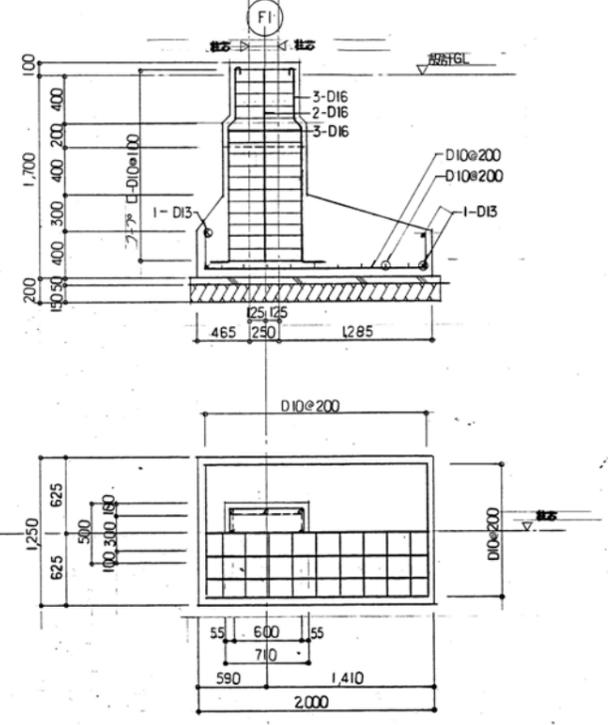


基礎詳細図 S=1/30

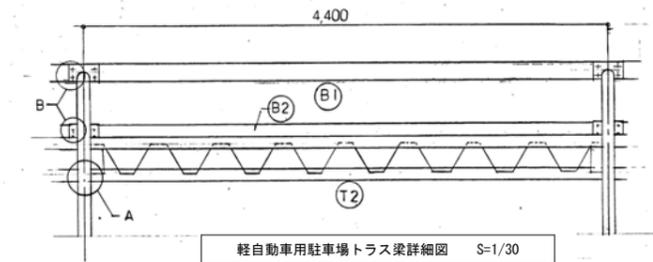
柱、梁、基礎伏図 S=1/100



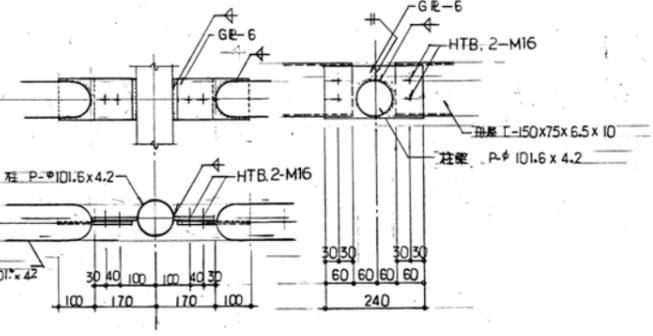
軽自動車用駐車場断面詳細図 S=1/30



大型自動車用駐車場断面詳細図 S=1/30

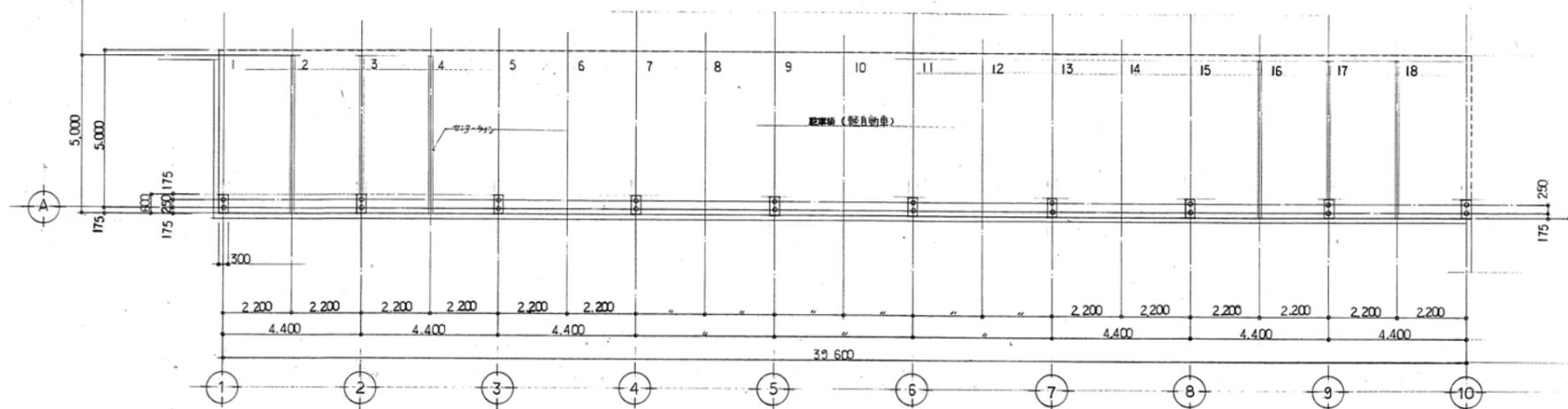
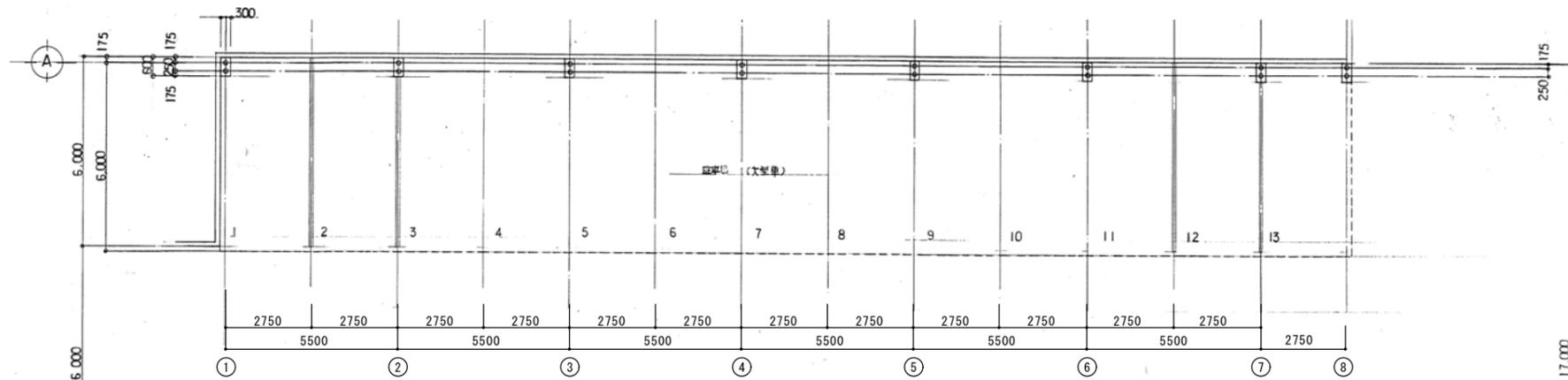


軽自動車用駐車場トラス梁詳細図 S=1/30

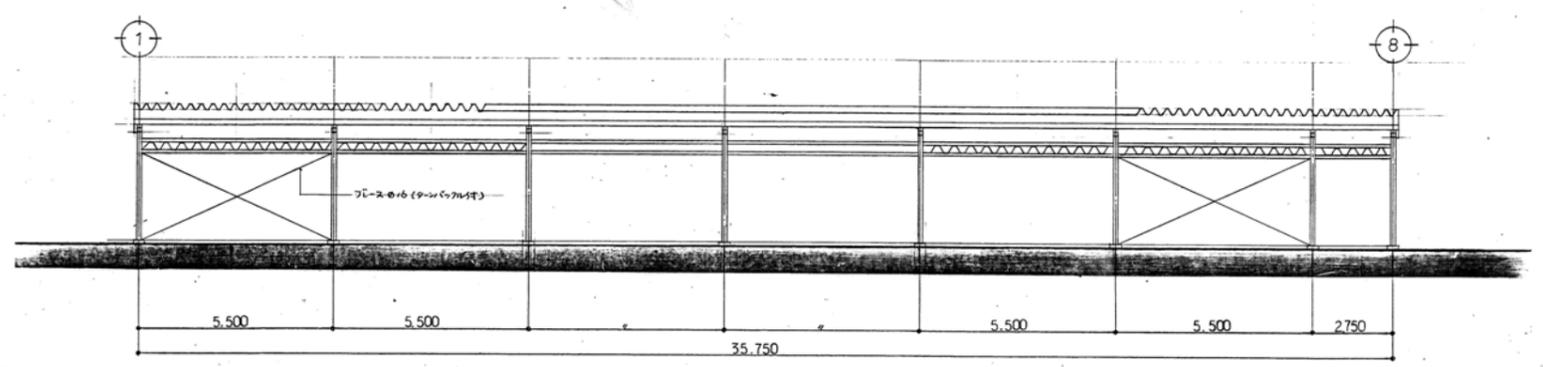


A部仕口梁詳細図 S=1/10

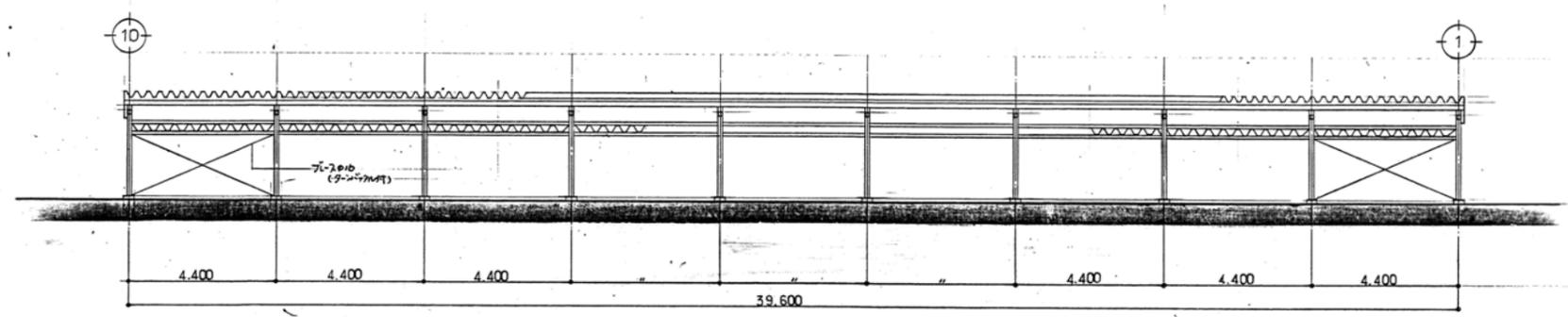
B部仕口梁詳細図 S=1/10



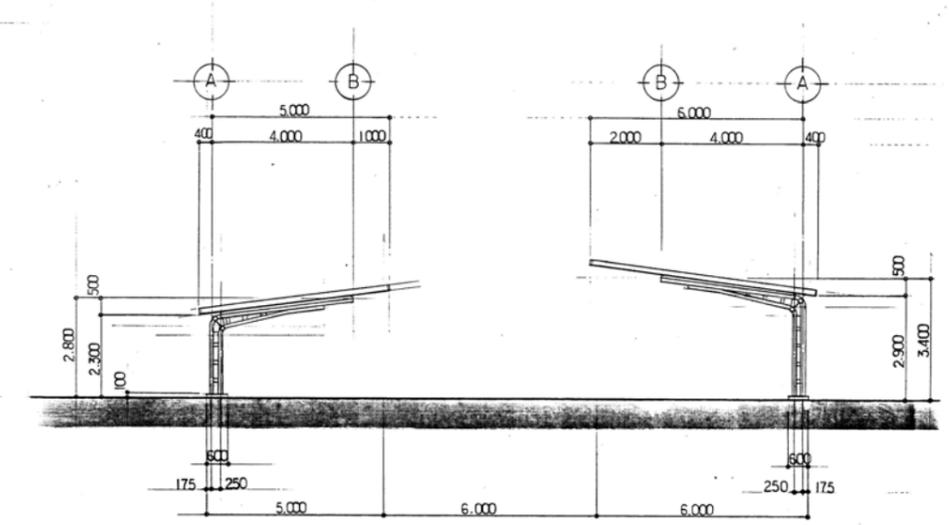
平面図 S=1/100



立面図 S=1/100



立面図 S=1/100



断面図 S=1/100

特記事項	株式会社 緒企図設計 一級建築士事務所 広島県知事登録 25(1)第3394号 管理建築士 一級建築士(大臣) 第335100号 山本 裕一	図名 明石市都市局住宅・建築室営繕課	製作年月日 2025年 8月	工事名称 (仮称)上下水道庁舎建設工事	当切・変更・完成
			図面名称 水道サービスセンター 解体・撤去図(参考図)縮尺 図示	図番 KA-17	

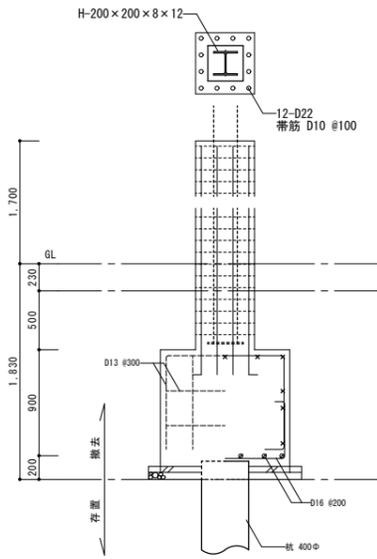
記号	断面	備考	記号	断面	備考
1C	H-200×200×8.0×12.0	2COVE-b×188	RB1. 2B2	H-250×125×6×9	GR-6 HTB 2-M20
2C	H-200×200×8.0×12.0		RB2. 2B3	H-200×100×5.5×8	GR-6 HTB 2-M16
RC	H-250×125×6×9		RB3	H-175×90×5×8	GR-6 HTB 2-M16
2C	H-350×175×7×11		RB4. M1	H-150×150×7×10	
RCG	H-175×90×5×8		RB5	H-150×75×5×7	GR-6 HTB 2-M16
2C	H-200×100×5.5×8		M2	D-100×100×3.2	
2B1	H-350×175×7×11	GR-9 HTB 3-M20	N	2C-100×50×20×3.2	GR-6 HTB 2-M16

屋根材	ALC板 100
外壁	全上
HTB	F10T
	PLナット付高力ボルト

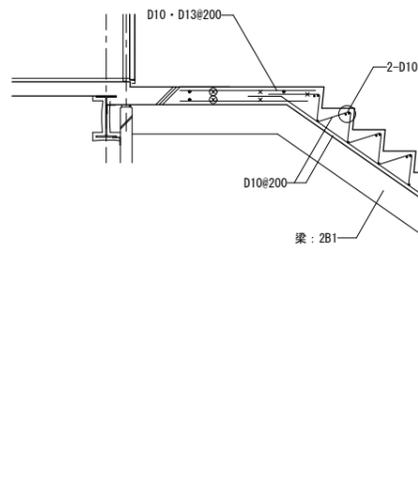
符号	fG1		fG2	fG3		2B1	2B5
位置	端部	中央	全	端部	中央		
断面 1/50							
BxD	450x1500		450x1500	400x1500		350x350	450x1500
上端筋	6-D25		4-D25	3-D22		3-D16	2-D16
下端筋	4-D25		4-D25	3-D22		3-D16	2-D16
肋筋	□-D13-#200		□-D13-#200	□-D13-#200		□-D10-#200	□-D10-#200
腹筋	8-D10		8-D10	8-D10		2-D10	2-D10

符号	W10	W12	W18	CB
壁厚	100	120	180	100
断面 1/50				
縦筋	D10#200(S)	D10#200(S)	D13#200(D)	D10#400(S)
横筋	D10#200(S)	D10#200(S)	D13#200(D)	D10#400(S)
開口補強筋	縦 1-D13	1-D13	1-D13	1-D13
横 1-D13	1-D13	1-D13	1-D13	1-D13
斜め	1-D13	1-D13	1-D13	1-D13

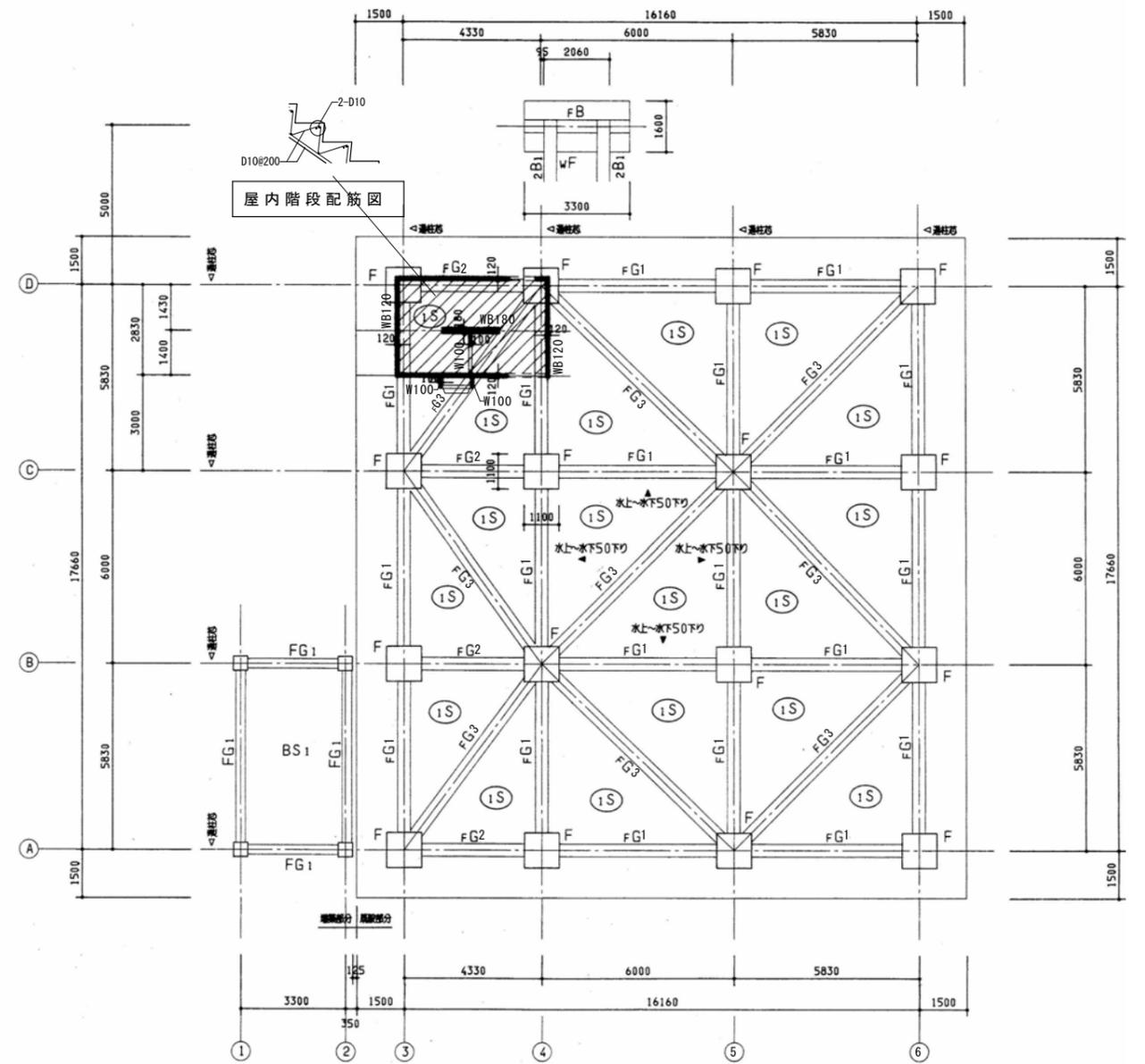
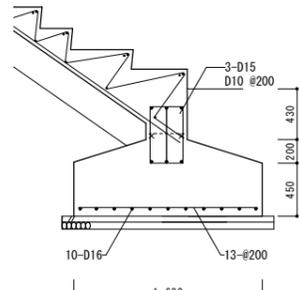
符号	厚さ	位置	短辺方向配筋	長辺方向配筋
1S	250~300	上端筋	D16#200	D16#250
		下端筋	D16#200	D16#250
2S1	120	上端筋	D10#200	D10#200
		下端筋	D10#200	D10#200
2S2	120	上端筋	D10#200	D10#250
		下端筋	D10#200	D10#250



基礎詳細図 1/30



屋外階段配筋図 1/30

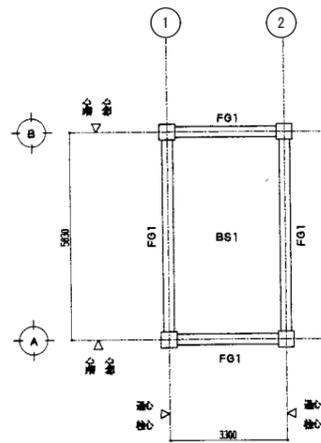


基礎伏図 1/100

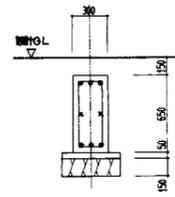
共通事項
使用材料
コンクリート 4 種 強度等級 $F_c=210\text{kg/cm}^2$
鋼 筋 : SD-345, SD-295A
鋼 骨 : SS-400
H.T.B : F10T ( $\mu=0.45$ )
P.I : ナット付高力ボルト
スラブ厚50mmとする。



基礎伏図

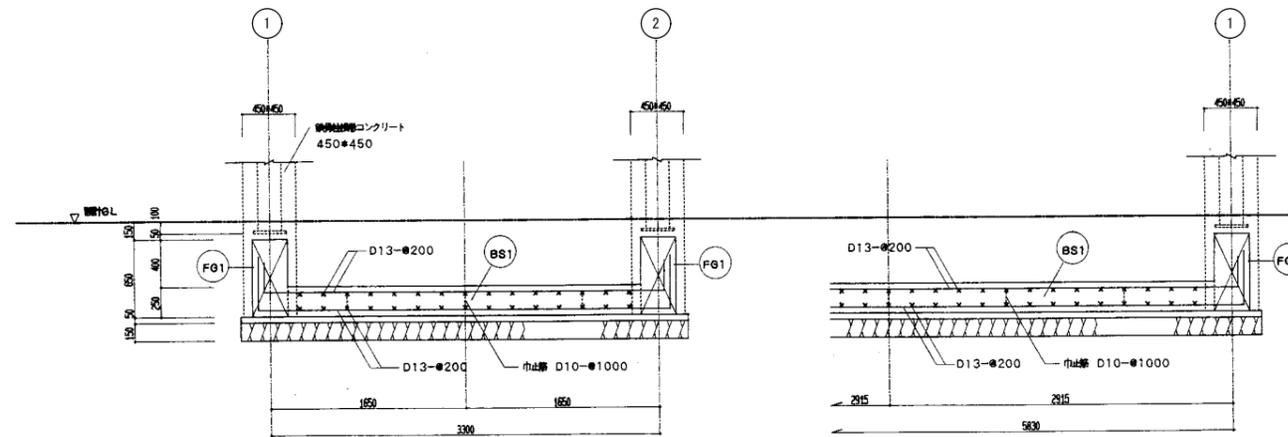


基礎伏図 1:100

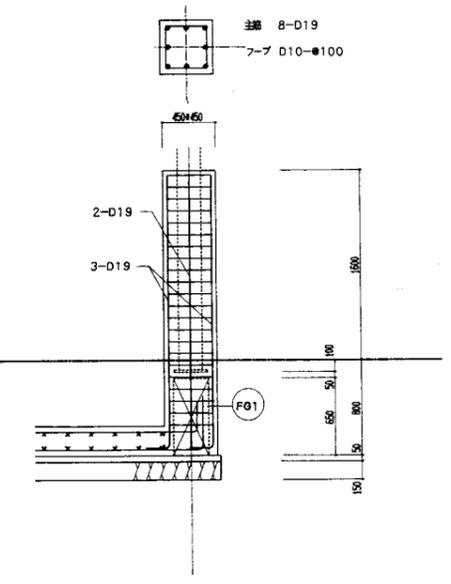


上筋 3-D19  
下筋 3-D19  
脚筋 2-D13  
ST 2-D10-#200

FG1 配筋図 1:30

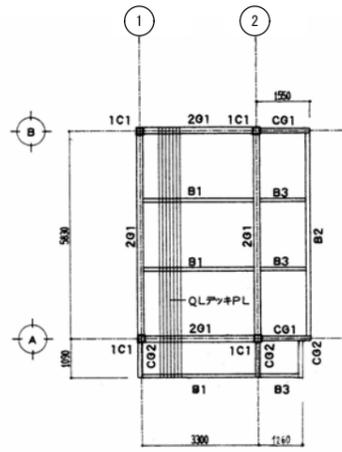


BS1 配筋図 1:30

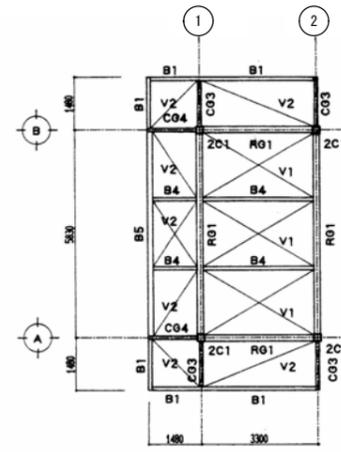


鉄骨柱模範コンクリート配筋図 1:30

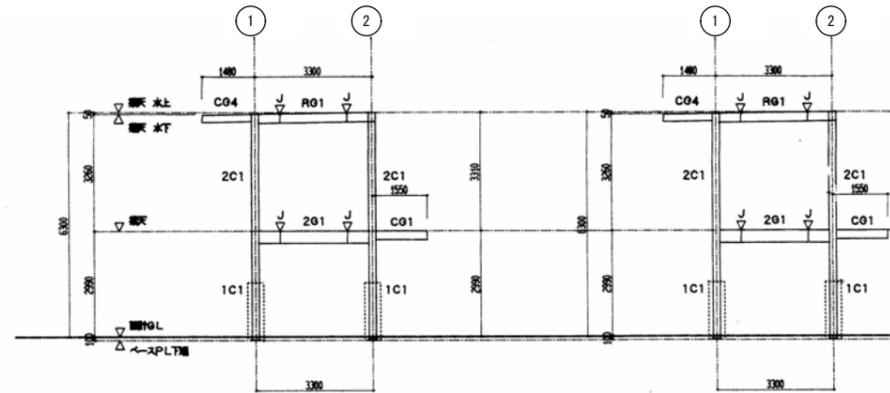
梁伏図



2F梁伏図 1:100

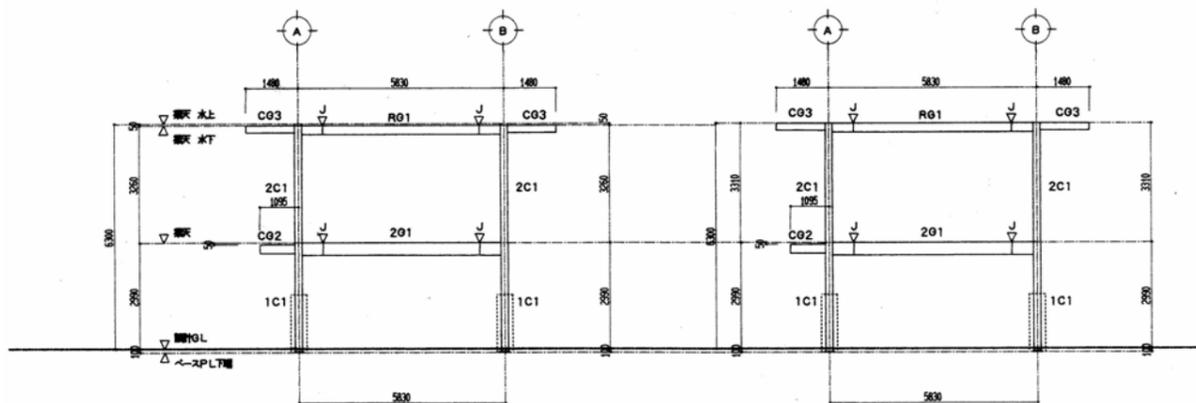


RF梁伏図 1:100



A通 軸組図 1:100

A通 軸組図 1:100



1通 軸組図 1:100

2通 軸組図 1:100

部材断面リスト	
1C1 2C1	D-200#200#8
201	H-350#175#7#11
R01	H-250#125#8#9
C01 C02	H-250#125#6#8
C03 C04	H-200#100#5, 5#8
B1	H-200#100#5, 5#8
B2	H-250#125#6#9
B3 B4	H-175#90#5#8
B5	H-194#150#6#9
ブレース V1	1-16# HTB-1-M16 PL-6
ブレース V2	1-13# HTB-1-M16 PL-6
ブレース PL	QL-99-50-12 スタブ部 6#-#150クロス



改修特記仕様書		7 発生材の処理等		15 施工図等の取扱い		5 表示板																																																													
<b>I 工事概要</b> A-03参照		発注者に引渡しを要するもの ・有( ) ※無 [1.3.12] 特別管理産業廃棄物 ・有( ) ※無 [1.3.12] 現場において再利用を図るもの ・有( ) ※無 [1.3.12] 現場において再資源化を図るもの ・有( ) ※無 [1.3.12] ○7Aベスト含有せっこうボードを除く7Aベスト含有成形板の処分 ※ 埋立処分の場合は、石綿含有産業廃棄物として、安定型最終処分場で埋立処分する。中間処理の場合は、都道府県知事の設置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認可を受けた無害化処理施設において、無害化処理を行う。 ・ ひ素及びカドミウム含有せっこうボードの処理 [1.3.12] ※ 他のせっこうボードと分別解体した後、製造業者に回収を委託又は管理型最終処分場で埋立処分する。 ・ 7Aベスト含有せっこうボード及びひ素、カドミウム含有せっこうボード以外のせっこうボードの処理 [1.3.12] ※ 最終処分とする場合は、管理型最終処分場で埋立処分する。 再資源化する場合は、再資源化施設の受入条件を確認の上、適切に分別後、再資源化施設で再資源化する。 PCB含有シーリング材の分析調査 ・行う [1.3.12] 特別管理産業廃棄物の分析調査 ・行う [1.3.12]		※ 施工図等の著作権に関する当該建築物に係る使用権は、発注者に委譲する。 施工図の様式 ○二つ折り製本1部(表紙及び背表紙に黒文字印刷で「工事完成年度、工事名称、受注者名」を記入の上、「施工図」と明記) ・ A3程度で軽微なものは、監督職員の承諾により完成図書に綴じ込みも可とする。		※ 設置する(明石市指定様式(900×600)) [2.4.1] (ただし、請負代金1000万円以上かつ契約工期90日以上の工事に限る)		※ 設置する(明石市指定様式(900×600)) [2.4.1] (ただし、請負代金1000万円以上かつ契約工期90日以上の工事に限る)																																																											
<b>II 建築改修工事仕様</b> <b>1 共通仕様</b> 本図面及び特記仕様書に記載のない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」(以下「改修標仕」という)による。 ただし、改修標仕に規定されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」(以下「標仕」という)による。		<b>8 建築材料等</b> ※ 本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された場合は、これと同等のものとする事ができる。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 また、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料評価名簿(最新版)」から材料を選定した場合は、評価書の写しを監督職員に提出し、その確認を得ること。		<b>16 工事写真</b> デジタル写真(カラー、100万画素程度、1200×900pix程度、JPEG) 記録紙 ※コピー用紙(68g/m以上) ・その他( ) (記録紙は裏写りが無ければ両面印刷可。) 下記のものを監督職員に提出する。 <table border="1"> <tr> <th>分類・規格</th> <th>撮影箇所数</th> <th>提出部数</th> <th>原板の大きさ(mm)</th> </tr> <tr> <td>○カラー ・ハフ切り版 ○キャビネ版</td> <td>外観(1)面 内観 各(2)面</td> <td>※1</td> <td>※24×36</td> </tr> </table>		分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原板の大きさ(mm)	○カラー ・ハフ切り版 ○キャビネ版	外観(1)面 内観 各(2)面	※1	※24×36	<b>6 工事用水</b> 構内既存施設 ・利用不可 ○利用可(・有償 ○無償)		<b>7 工事用電力</b> 構内既存施設 ・利用不可 ○利用可 ○有償 ・無償)																																																			
分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原板の大きさ(mm)																																																																
○カラー ・ハフ切り版 ○キャビネ版	外観(1)面 内観 各(2)面	※1	※24×36																																																																
<b>2 特記仕様</b> (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。○印と※印の付いた場合は、ともに適用する。 (3) 特記事項に記載の[ ]の表示番号は、改修標仕の該当項目又は該当表を示す。 (4) 特記事項に記載の< >の表示番号は、標仕の該当項目又は該当表を示す。 (5) 使用材料は、再生材、F☆☆☆☆、低VOC材料を選択すること(各項共通事項)。 (6) 構造特記仕様書が別にある場合は、特記なき限り、構造特記仕様書を優先すること(各項共通事項)。		<b>9 特別な材料の工法</b> ※ 改修標仕及び標仕に記載のない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。		<b>17 完成写真</b> 撮影業者 ・ 建築完成写真撮影の実績のある業者 ○ 建築完成写真撮影の実績は問わない 装丁 ・ 写真用装飾アルバム(白表紙、金文字) ○ 市販アルバム		<b>3 防水改修工事</b> 1 施工一般 2 既存防水層の処理		降雨等に対する養生方法 [3.1.3] ※ 3.1.3(5)による ・ 図示 既存保護層の撤去 [3.2.3] ・ 行う(範囲 ※ 図示による) ・ 行わない 既存防水層の撤去 [3.2.4] ・ 行う(範囲 ※ 図示による) ・ 行わない 改修用ドレン [3.2.5] ・ 設ける(POAS, POASI, POD, POD1, POS, POS1, POX工法の場合、主防水材製造所の仕様による) ・ 設けない 既存下地の補修及び処置 [3.2.6] 補修箇所の形状、長さ、数量等 ※ 図示 ひび割れ部の処置 ※ 図示 欠損部、浮き部、ぜい弱部の処置 ※ 図示 下地調整材 ※ 図示 ・ C-2 ・ CM-2 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 [3.2.6] ・ 行う(・M4AS ・M4ASI ・M4C ・M4D1 ・L4X) ・ 行わない 既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理 ※ 図示 [3.2.6] 架台廻り等の処理 ※ 図示 ・ 監督員と協議 [3.2.6]																																																											
<b>1 共通仕様</b> 本図面及び特記仕様書に記載のない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」(以下「改修標仕」という)による。 ただし、改修標仕に規定されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」(以下「標仕」という)による。		<b>10 石綿含有建材の調査</b> 石綿含有建材の調査範囲 ※ 図示 ○改修範囲 [1.5.1] 既存の石綿含有建材の調査報告書の貸与等 ○ 貸与する [1.5.1] 分析による石綿含有の調査を行う場合の分析方法 [1.5.1] ○ 定性分析 ○ 定量分析		<b>18 設備工事との取り合い</b> ※ 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受けること。		<b>7 7A防水</b> 防水改修工法の種類 保護防水 露出防水 屋内防水		3.1.4 [表3.1.1] [3.3.3] [表3.3.3~3.3.10]																																																											
<b>2 特記仕様</b> (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。○印と※印の付いた場合は、ともに適用する。 (3) 特記事項に記載の[ ]の表示番号は、改修標仕の該当項目又は該当表を示す。 (4) 特記事項に記載の< >の表示番号は、標仕の該当項目又は該当表を示す。 (5) 使用材料は、再生材、F☆☆☆☆、低VOC材料を選択すること(各項共通事項)。 (6) 構造特記仕様書が別にある場合は、特記なき限り、構造特記仕様書を優先すること(各項共通事項)。		<b>11 施工数量調査</b> 調査範囲及び調査方法 ※ 図示 [1.6.2] 調査により既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ※ 図示 [1.6.3]		<b>19 設計GL</b> ※ 図示 ○ 設計GL-現況GL		<b>3 7A防水</b> 改質7A防水フィルム-フィンギシートの種類及び厚さ [3.3.2] ※ 表3.3.3~表3.3.9による ・ 図示 [表3.3.3~3.3.9] 部分粘着層付改質7A防水フィルム-フィンギシートの種類及び厚さ [3.3.2] ※ 表3.3.3~表3.3.9による ・ 図示 [表3.3.3~3.3.9] 押え金物 [3.3.2] ※ 図示 ・ 7Aフィルム製 L-30×15×2.0(mm) 屋根保護防水断熱工法に用いる断熱材の厚さ [3.3.2] ※ 図示 ・ 25 屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材の種類及び厚さ [3.3.2] ※ 図示 ・ ホリゾンフォーム断熱材 ・ フェノールフォーム断熱材 ・ ビーズ法ホリゾンフォーム断熱材 ・ 押出法ホリゾンフォーム断熱材 ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材(2種1号又は2号の場合、透湿係数を除くJIS A 9521の規格に準ずるもの) 絶縁用シートに使用する材料 [3.3.2] ※ 図示 ・ ホリゾンフィルム(0.15mm以上) ・ フラットインク(70g/m程度) 乾式保護材 [3.3.2] <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法(mm): 厚さ×幅</th> <th>摘要</th> </tr> <tr> <td>・ 押出成形セメント板(窯業系ハコ)</td> <td>※ I 類 ※ 15× × ・ II 類 ・ ×</td> <td>・ 無石綿に限る</td> </tr> <tr> <td>・ 金属複合板</td> <td>※ 12×</td> <td></td> </tr> </table>		種類	寸法(mm): 厚さ×幅	摘要	・ 押出成形セメント板(窯業系ハコ)	※ I 類 ※ 15× × ・ II 類 ・ ×	・ 無石綿に限る	・ 金属複合板	※ 12×																																																				
種類	寸法(mm): 厚さ×幅	摘要																																																																	
・ 押出成形セメント板(窯業系ハコ)	※ I 類 ※ 15× × ・ II 類 ・ ×	・ 無石綿に限る																																																																	
・ 金属複合板	※ 12×																																																																		
<b>1 一般共通事項</b>		<b>12 技能士</b> <table border="1"> <tr> <th>適用する技能検定の職種</th> <th>作業の種別</th> </tr> <tr> <td>仮設工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>木工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金属工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>建具工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>塗装工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>内装工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td></td> </tr> </table>		適用する技能検定の職種	作業の種別	仮設工事		木工事		金属工事		建具工事		塗装工事		内装工事		防水工事		<b>20 交通誘導員</b> ※ 要 ○ 図示 ・ 延べ 人 ) ※ 資格等の要件 ・ 交通誘導員A(1、2級交通誘導警備検定合格者) ・ 交通誘導員B(警備業者の警備員で、上記以外の交通誘導に従事する者)		<b>3 7A防水</b> 改質7A防水フィルム-フィンギシートの種類及び厚さ [3.3.2] ※ 表3.3.3~表3.3.9による ・ 図示 [表3.3.3~3.3.9] 部分粘着層付改質7A防水フィルム-フィンギシートの種類及び厚さ [3.3.2] ※ 表3.3.3~表3.3.9による ・ 図示 [表3.3.3~3.3.9] 押え金物 [3.3.2] ※ 図示 ・ 7Aフィルム製 L-30×15×2.0(mm) 屋根保護防水断熱工法に用いる断熱材の厚さ [3.3.2] ※ 図示 ・ 25 屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材の種類及び厚さ [3.3.2] ※ 図示 ・ ホリゾンフォーム断熱材 ・ フェノールフォーム断熱材 ・ ビーズ法ホリゾンフォーム断熱材 ・ 押出法ホリゾンフォーム断熱材 ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材(2種1号又は2号の場合、透湿係数を除くJIS A 9521の規格に準ずるもの) 絶縁用シートに使用する材料 [3.3.2] ※ 図示 ・ ホリゾンフィルム(0.15mm以上) ・ フラットインク(70g/m程度) 乾式保護材 [3.3.2] <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法(mm): 厚さ×幅</th> <th>摘要</th> </tr> <tr> <td>・ 押出成形セメント板(窯業系ハコ)</td> <td>※ I 類 ※ 15× × ・ II 類 ・ ×</td> <td>・ 無石綿に限る</td> </tr> <tr> <td>・ 金属複合板</td> <td>※ 12×</td> <td></td> </tr> </table>		種類	寸法(mm): 厚さ×幅	摘要	・ 押出成形セメント板(窯業系ハコ)	※ I 類 ※ 15× × ・ II 類 ・ ×	・ 無石綿に限る	・ 金属複合板	※ 12×																																				
適用する技能検定の職種	作業の種別																																																																		
仮設工事																																																																			
木工事																																																																			
金属工事																																																																			
建具工事																																																																			
塗装工事																																																																			
内装工事																																																																			
防水工事																																																																			
種類	寸法(mm): 厚さ×幅	摘要																																																																	
・ 押出成形セメント板(窯業系ハコ)	※ I 類 ※ 15× × ・ II 類 ・ ×	・ 無石綿に限る																																																																	
・ 金属複合板	※ 12×																																																																		
<b>1 一般共通事項</b>		<b>13 化学物質の濃度測定</b> 測定時期 [1.7.9] ・ 工事着手前 ○ 工事完成時 ・ 工事着手前及び完成時 測定対象化学物質 ※ ホルムアルデヒド ※ トルエン ※ キロレン ・ パラジクロロベンゼン ※ エチルベンゼン ※ スチレン 測定方法 ※ ハットプ採取機器(サンプラー)を使用し、分析機関にて分析 測定対象室 (1階 仮眠室) 測定箇所数 (1) 箇所 化学物質の濃度基準値 ホルムアルデヒド 100 μg/m3 (0.08ppm) トルエン 260 μg/m3 (0.07ppm) キロレン 200 μg/m3 (0.05ppm) パラジクロロベンゼン 240 μg/m3 (0.04ppm) エチルベンゼン 3800 μg/m3 (0.88ppm) スチレン 220 μg/m3 (0.05ppm) ※ 化学物質濃度が基準値を超えている場合は、工事部分を引渡すことは不可のため、基準値以下になるまで再測定を行うこと。		<b>1 現場その他</b> 内部足場 ※ 脚立、足場板等 ・ 枠組足場 [2.2.1] 外部足場 ・ 枠組本足場(手摺先行) ・ くさび緊結式足場 ○ 図示 防護シート等 ※ メッシュシート ・ 防音シート [2.1.3] ・ 防音パネル ・ 図示 ・ 設置しない 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲 ※ 図示 [2.1.3] 外部足場、防護シート等の設置及び範囲 ※ 図示 [2.2.1] 材料、撤去材等の運搬 [2.2.1][表2.2.1] ・ A種 ・ B種 ・ C種 ○ D種 ・ E種		<b>3 仮設工事</b> 2 養生 既存部分の養生 ※ ビニールシート、合板等 ・ 行わない [2.3.1] 既存家具、既存設備等の養生 [2.3.1] ※ ビニールシート等(監督職員の承諾要) ○ 仮撤去、保管(工事完成後、再取付) 既存ブラインド、カーテン等の養生等 [2.3.1] ※ ビニールシート等 ・ 仮撤去、保管(工事完成後、再取付) ・ 図示 ・ 行わない 保管場所、保管方法等 ※ 監督職員との協議による [2.3.1] 固定家具等の移動 ※ 図示 ・ 行わない [2.3.1]																																																													
<b>1 一般共通事項</b>		<b>14 完成図等</b> ※ 完成図 [1.9.1~1.9.3][表1.9.1] 完成図作成に当たっては、CADデータ修正によること。 完成図の種類及び記入内容は、設計図同等とする。 完成図には、各図面の右下に「完成図」と明記すること。 提出物 ○二つ折り製本2部(表紙及び背表紙に黒文字印刷で「工事完成年度、工事名称、設計者名、受注者名」を記入の上、「完成図」と明記) ※ JWW形式CADデータ ※ PDF形式データ(印刷物をスキャンしたものは不可) ※ 保全に関する資料 ・ 1部 ※ 2部		<b>2 仮設工事</b> 3 仮設間仕切り 仮設間仕切りの種別 [2.3.2][表2.3.1] <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>仕上材(厚さmm)</th> <th>充填材(mm)</th> <th>塗装</th> </tr> <tr> <td>・ A種</td> <td>・ 軽量鉄骨</td> <td>・ 合板(※9.0 ・ 5.5)</td> <td></td> <td>・ 無し</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>・ 木下地</td> <td>・ 防音用グラスウール</td> <td></td> <td>・ 片面</td> </tr> <tr> <td>※ C種</td> <td>単管下地</td> <td>・ 防炎シート</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>仮設扉</td> <td>※ 木製</td> <td>※ 合板張り程度</td> <td></td> <td>・ 無し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 鋼製</td> <td>・ 片面フラッシュ程度</td> <td></td> <td>・ 有り</td> </tr> </table>		種別	下地	仕上材(厚さmm)	充填材(mm)	塗装	・ A種	・ 軽量鉄骨	・ 合板(※9.0 ・ 5.5)		・ 無し	・ B種	・ 木下地	・ 防音用グラスウール		・ 片面	※ C種	単管下地	・ 防炎シート			仮設扉	※ 木製	※ 合板張り程度		・ 無し		・ 鋼製	・ 片面フラッシュ程度		・ 有り	<b>3 仮設工事</b> 3 仮設間仕切り 仮設間仕切りの種別 [2.3.2][表2.3.1] <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>仕上材(厚さmm)</th> <th>充填材(mm)</th> <th>塗装</th> </tr> <tr> <td>・ A種</td> <td>・ 軽量鉄骨</td> <td>・ 合板(※9.0 ・ 5.5)</td> <td></td> <td>・ 無し</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>・ 木下地</td> <td>・ 防音用グラスウール</td> <td></td> <td>・ 片面</td> </tr> <tr> <td>※ C種</td> <td>単管下地</td> <td>・ 防炎シート</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>仮設扉</td> <td>※ 木製</td> <td>※ 合板張り程度</td> <td></td> <td>・ 無し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 鋼製</td> <td>・ 片面フラッシュ程度</td> <td></td> <td>・ 有り</td> </tr> </table>		種別	下地	仕上材(厚さmm)	充填材(mm)	塗装	・ A種	・ 軽量鉄骨	・ 合板(※9.0 ・ 5.5)		・ 無し	・ B種	・ 木下地	・ 防音用グラスウール		・ 片面	※ C種	単管下地	・ 防炎シート			仮設扉	※ 木製	※ 合板張り程度		・ 無し		・ 鋼製	・ 片面フラッシュ程度		・ 有り
種別	下地	仕上材(厚さmm)	充填材(mm)	塗装																																																															
・ A種	・ 軽量鉄骨	・ 合板(※9.0 ・ 5.5)		・ 無し																																																															
・ B種	・ 木下地	・ 防音用グラスウール		・ 片面																																																															
※ C種	単管下地	・ 防炎シート																																																																	
仮設扉	※ 木製	※ 合板張り程度		・ 無し																																																															
	・ 鋼製	・ 片面フラッシュ程度		・ 有り																																																															
種別	下地	仕上材(厚さmm)	充填材(mm)	塗装																																																															
・ A種	・ 軽量鉄骨	・ 合板(※9.0 ・ 5.5)		・ 無し																																																															
・ B種	・ 木下地	・ 防音用グラスウール		・ 片面																																																															
※ C種	単管下地	・ 防炎シート																																																																	
仮設扉	※ 木製	※ 合板張り程度		・ 無し																																																															
	・ 鋼製	・ 片面フラッシュ程度		・ 有り																																																															
<b>1 一般共通事項</b>		<b>15 完成図等</b> ※ 完成図 [1.9.1~1.9.3][表1.9.1] 完成図作成に当たっては、CADデータ修正によること。 完成図の種類及び記入内容は、設計図同等とする。 完成図には、各図面の右下に「完成図」と明記すること。 提出物 ○二つ折り製本2部(表紙及び背表紙に黒文字印刷で「工事完成年度、工事名称、設計者名、受注者名」を記入の上、「完成図」と明記) ※ JWW形式CADデータ ※ PDF形式データ(印刷物をスキャンしたものは不可) ※ 保全に関する資料 ・ 1部 ※ 2部		<b>4 監督職員事務所</b> 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ※ 図示 [2.3.2] ・ 既存建物内の一部を使用する [2.4.1] ・ 工事現場内に新設する 監督職員事務所の規模 ・ ( ) m程度 [2.4.1] 監督職員事務所の仕上げの程度 [2.4.1] ※ 仕上げは通常のもので、備品は打合せテーブル、椅子、棚、エアコン等通常の工事監理に必要なものとし、監督職員と協議の上、設置のこと。 ・ その他の備品 ( )		<b>3 仮設工事</b> 3 仮設間仕切り 仮設間仕切りの種別 [2.3.2][表2.3.1] <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>仕上材(厚さmm)</th> <th>充填材(mm)</th> <th>塗装</th> </tr> <tr> <td>・ A種</td> <td>・ 軽量鉄骨</td> <td>・ 合板(※9.0 ・ 5.5)</td> <td></td> <td>・ 無し</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>・ 木下地</td> <td>・ 防音用グラスウール</td> <td></td> <td>・ 片面</td> </tr> <tr> <td>※ C種</td> <td>単管下地</td> <td>・ 防炎シート</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>仮設扉</td> <td>※ 木製</td> <td>※ 合板張り程度</td> <td></td> <td>・ 無し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 鋼製</td> <td>・ 片面フラッシュ程度</td> <td></td> <td>・ 有り</td> </tr> </table>		種別	下地	仕上材(厚さmm)	充填材(mm)	塗装	・ A種	・ 軽量鉄骨	・ 合板(※9.0 ・ 5.5)		・ 無し	・ B種	・ 木下地	・ 防音用グラスウール		・ 片面	※ C種	単管下地	・ 防炎シート			仮設扉	※ 木製	※ 合板張り程度		・ 無し		・ 鋼製	・ 片面フラッシュ程度		・ 有り																														
種別	下地	仕上材(厚さmm)	充填材(mm)	塗装																																																															
・ A種	・ 軽量鉄骨	・ 合板(※9.0 ・ 5.5)		・ 無し																																																															
・ B種	・ 木下地	・ 防音用グラスウール		・ 片面																																																															
※ C種	単管下地	・ 防炎シート																																																																	
仮設扉	※ 木製	※ 合板張り程度		・ 無し																																																															
	・ 鋼製	・ 片面フラッシュ程度		・ 有り																																																															
<b>1 一般共通事項</b>		<b>16 完成図等</b> ※ 完成図 [1.9.1~1.9.3][表1.9.1] 完成図作成に当たっては、CADデータ修正によること。 完成図の種類及び記入内容は、設計図同等とする。 完成図には、各図面の右下に「完成図」と明記すること。 提出物 ○二つ折り製本2部(表紙及び背表紙に黒文字印刷で「工事完成年度、工事名称、設計者名、受注者名」を記入の上、「完成図」と明記) ※ JWW形式CADデータ ※ PDF形式データ(印刷物をスキャンしたものは不可) ※ 保全に関する資料 ・ 1部 ※ 2部		<b>4 監督職員事務所</b> 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ※ 図示 [2.3.2] ・ 既存建物内の一部を使用する [2.4.1] ・ 工事現場内に新設する 監督職員事務所の規模 ・ ( ) m程度 [2.4.1] 監督職員事務所の仕上げの程度 [2.4.1] ※ 仕上げは通常のもので、備品は打合せテーブル、椅子、棚、エアコン等通常の工事監理に必要なものとし、監督職員と協議の上、設置のこと。 ・ その他の備品 ( )		<b>3 仮設工事</b> 3 仮設間仕切り 仮設間仕切りの種別 [2.3.2][表2.3.1] <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>仕上材(厚さmm)</th> <th>充填材(mm)</th> <th>塗装</th> </tr> <tr> <td>・ A種</td> <td>・ 軽量鉄骨</td> <td>・ 合板(※9.0 ・ 5.5)</td> <td></td> <td>・ 無し</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>・ 木下地</td> <td>・ 防音用グラスウール</td> <td></td> <td>・ 片面</td> </tr> <tr> <td>※ C種</td> <td>単管下地</td> <td>・ 防炎シート</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>仮設扉</td> <td>※ 木製</td> <td>※ 合板張り程度</td> <td></td> <td>・ 無し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 鋼製</td> <td>・ 片面フラッシュ程度</td> <td></td> <td>・ 有り</td> </tr> </table>		種別	下地	仕上材(厚さmm)	充填材(mm)	塗装	・ A種	・ 軽量鉄骨	・ 合板(※9.0 ・ 5.5)		・ 無し	・ B種	・ 木下地	・ 防音用グラスウール		・ 片面	※ C種	単管下地	・ 防炎シート			仮設扉	※ 木製	※ 合板張り程度		・ 無し		・ 鋼製	・ 片面フラッシュ程度		・ 有り																														
種別	下地	仕上材(厚さmm)	充填材(mm)	塗装																																																															
・ A種	・ 軽量鉄骨	・ 合板(※9.0 ・ 5.5)		・ 無し																																																															
・ B種	・ 木下地	・ 防音用グラスウール		・ 片面																																																															
※ C種	単管下地	・ 防炎シート																																																																	
仮設扉	※ 木製	※ 合板張り程度		・ 無し																																																															
	・ 鋼製	・ 片面フラッシュ程度		・ 有り																																																															
<b>1 一般共通事項</b>		<b>17 完成図等</b> ※ 完成図 [1.9.1~1.9.3][表1.9.1] 完成図作成に当たっては、CADデータ修正によること。 完成図の種類及び記入内容は、設計図同等とする。 完成図には、各図面の右下に「完成図」と明記すること。 提出物 ○二つ折り製本2部(表紙及び背表紙に黒文字印刷で「工事完成年度、工事名称、設計者名、受注者名」を記入の上、「完成図」と明記) ※ JWW形式CADデータ ※ PDF形式データ(印刷物をスキャンしたものは不可) ※ 保全に関する資料 ・ 1部 ※ 2部		<b>4 監督職員事務所</b> 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ※ 図示 [2.3.2] ・ 既存建物内の一部を使用する [2.4.1] ・ 工事現場内に新設する 監督職員事務所の規模 ・ ( ) m程度 [2.4.1] 監督職員事務所の仕上げの程度 [2.4.1] ※ 仕上げは通常のもので、備品は打合せテーブル、椅子、棚、エアコン等通常の工事監理に必要なものとし、監督職員と協議の上、設置のこと。 ・ その他の備品 ( )		<b>3 仮設工事</b> 3 仮設間仕切り 仮設間仕切りの種別 [2.3.2][表2.3.1] <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>仕上材(厚さmm)</th> <th>充填材(mm)</th> <th>塗装</th> </tr> <tr> <td>・ A種</td> <td>・ 軽量鉄骨</td> <td>・ 合板(※9.0 ・ 5.5)</td> <td></td> <td>・ 無し</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>・ 木下地</td> <td>・ 防音用グラスウール</td> <td></td> <td>・ 片面</td> </tr> <tr> <td>※ C種</td> <td>単管下地</td> <td>・ 防炎シート</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>仮設扉</td> <td>※ 木製</td> <td>※ 合板張り程度</td> <td></td> <td>・ 無し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 鋼製</td> <td>・ 片面フラッシュ程度</td> <td></td> <td>・ 有り</td> </tr> </table>		種別	下地	仕上材(厚さmm)	充填材(mm)	塗装	・ A種	・ 軽量鉄骨	・ 合板(※9.0 ・ 5.5)		・ 無し	・ B種	・ 木下地	・ 防音用グラスウール		・ 片面	※ C種	単管下地	・ 防炎シート			仮設扉	※ 木製	※ 合板張り程度		・ 無し		・ 鋼製	・ 片面フラッシュ程度		・ 有り																														
種別	下地	仕上材(厚さmm)	充填材(mm)	塗装																																																															
・ A種	・ 軽量鉄骨	・ 合板(※9.0 ・ 5.5)		・ 無し																																																															
・ B種	・ 木下地	・ 防音用グラスウール		・ 片面																																																															
※ C種	単管下地	・ 防炎シート																																																																	
仮設扉	※ 木製	※ 合板張り程度		・ 無し																																																															
	・ 鋼製	・ 片面フラッシュ程度		・ 有り																																																															
<b>1 一般共通事項</b>		<b>18 完成図等</b> ※ 完成図 [1.9.1~1.9.3][表1.9.1] 完成図作成に当たっては、CADデータ修正によること。 完成図の種類及び記入内容は、設計図同等とする。 完成図には、各図面の右下に「完成図」と明記すること。 提出物 ○二つ折り製本2部(表紙及び背表紙に黒文字印刷で「工事完成年度、工事名称、設計者名、受注者名」を記入の上、「完成図」と明記) ※ JWW形式CADデータ ※ PDF形式データ(印刷物をスキャンしたものは不可) ※ 保全に関する資料 ・ 1部 ※ 2部		<b>4 監督職員事務所</b> 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ※ 図示 [2.3.2] ・ 既存建物内の一部を使用する [2.4.1] ・ 工事現場内に新設する 監督職員事務所の規模 ・ ( ) m程度 [2.4.1] 監督職員事務所の仕上げの程度 [2.4.1] ※ 仕上げは通常のもので、備品は打合せテーブル、椅子、棚、エアコン等通常の工事監理に必要なものとし、監督職員と協議の上、設置のこと。 ・ その他の備品 ( )		<b>3 仮設工事</b> 3 仮設間仕切り 仮設間仕切りの種別 [2.3.2][表2.3.1] <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>仕上材(厚さmm)</th> <th>充填材(mm)</th> <th>塗装</th> </tr> <tr> <td>・ A種</td> <td>・ 軽量鉄骨</td> <td>・ 合板(※9.0 ・ 5.5)</td> <td></td> <td>・ 無し</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>・ 木下地</td> <td>・ 防音用グラスウール</td> <td></td> <td>・ 片面</td> </tr> <tr> <td>※ C種</td> <td>単管下地</td> <td>・ 防炎シート</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>仮設扉</td> <td>※ 木製</td> <td>※ 合板張り程度</td> <td></td> <td>・ 無し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 鋼製</td> <td>・ 片面フラッシュ程度</td> <td></td> <td>・ 有り</td> </tr> </table>		種別	下地	仕上材(厚さmm)	充填材(mm)	塗装	・ A種	・ 軽量鉄骨	・ 合板(※9.0 ・ 5.5)		・ 無し	・ B種	・ 木下地	・ 防音用グラスウール		・ 片面	※ C種	単管下地	・ 防炎シート			仮設扉	※ 木製	※ 合板張り程度		・ 無し		・ 鋼製	・ 片面フラッシュ程度		・ 有り																														
種別	下地	仕上材(厚さmm)	充填材(mm)	塗装																																																															
・ A種	・ 軽量鉄骨	・ 合板(※9.0 ・ 5.5)		・ 無し																																																															
・ B種	・ 木下地	・ 防音用グラスウール		・ 片面																																																															
※ C種	単管下地	・ 防炎シート																																																																	
仮設扉	※ 木製	※ 合板張り程度		・ 無し																																																															
	・ 鋼製	・ 片面フラッシュ程度		・ 有り																																																															
<b>1 一般共通事項</b>		<b>19 完成図等</b> ※ 完成図 [1.9.1~1.9.3][表1.9.1] 完成図作成に当たっては、CADデータ修正によること。 完成図の種類及び記入内容は、設計図同等とする。 完成図には、各図面の右下に「完成図」と明記すること。 提出物 ○二つ折り製本2部(表紙及び背表紙に黒文字印刷で「工事完成年度、工事名称、設計者名、受注者名」を記入の上、「完成図」と明記) ※ JWW形式CADデータ ※ PDF形式データ(印刷物をスキャンしたものは不可) ※ 保全に関する資料 ・ 1部 ※ 2部		<b>4 監督職員事務所</b> 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ※ 図示 [2.3.2] ・ 既存建物内の一部を使用する [2.4.1] ・ 工事現場内に新設する 監督職員事務所の規模 ・ ( ) m程度 [2.4.1] 監督職員事務所の仕上げの程度 [2.4.1] ※ 仕上げは通常のもので、備品は打合せテーブル、椅子、棚、エアコン等通常の工事監理に必要なものとし、監督職員と協議の上、設置のこと。 ・ その他の備品 ( )		<b>3 仮設工事</b> 3 仮設間仕切り 仮設間仕切りの種別 [2.3.2][表2.3.1] <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>仕上材(厚さmm)</th> <th>充填材(mm)</th> <th>塗装</th> </tr> <tr> <td>・ A種</td> <td>・ 軽量鉄骨</td> <td>・ 合板(※9.0 ・ 5.5)</td> <td></td> <td>・ 無し</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>・ 木下地</td> <td>・ 防音用グラスウール</td> <td></td> <td>・ 片面</td> </tr> <tr> <td>※ C種</td> <td>単管下地</td> <td>・ 防炎シート</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>仮設扉</td> <td>※ 木製</td> <td>※ 合板張り程度</td> <td></td> <td>・ 無し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 鋼製</td> <td>・ 片面フラッシュ程度</td> <td></td> <td>・ 有り</td> </tr> </table>		種別	下地	仕上材(厚さmm)	充填材(mm)	塗装	・ A種	・ 軽量鉄骨	・ 合板(※9.0 ・ 5.5)		・ 無し	・ B種	・ 木下地	・ 防音用グラスウール		・ 片面	※ C種	単管下地	・ 防炎シート			仮設扉	※ 木製	※ 合板張り程度		・ 無し		・ 鋼製	・ 片面フラッシュ程度		・ 有り																														
種別	下地	仕上材(厚さmm)	充填材(mm)	塗装																																																															
・ A種	・ 軽量鉄骨	・ 合板(※9.0 ・ 5.5)		・ 無し																																																															
・ B種	・ 木下地	・ 防音用グラスウール		・ 片面																																																															
※ C種	単管下地	・ 防炎シート																																																																	
仮設扉	※ 木製	※ 合板張り程度		・ 無し																																																															
	・ 鋼製	・ 片面フラッシュ程度		・ 有り																																																															
<b>1 一般共通事項</b>		<b>20 完成図等</b> ※ 完成図 [1.9.1~1.9.3][表1.9.1] 完成図作成に当たっては、CADデータ修正によること。 完成図の種類及び記入内容は、設計図同等とする。 完成図には、各図面の右下に「完成図」と明記すること。 提出物 ○二つ折り製本2部(表紙及び背表紙に黒文字印刷で「工事完成年度、工事名称、設計者名、受注者名」を記入の上、「完成図」と明記) ※ JWW形式CADデータ ※ PDF形式データ(印刷物をスキャンしたものは不可) ※ 保全に関する資料 ・ 1部 ※ 2部		<b>4 監督職員事務所</b> 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ※ 図示 [2.3.2] ・ 既存建物内の一部を使用する [2.4.1] ・ 工事現場内に新設する 監督職員事務所の規模 ・ ( ) m程度 [2.4.1] 監督職員事務所の仕上げの程度 [2.4.1] ※ 仕上げは通常のもので、備品は打合せテーブル、椅子、棚、エアコン等通常の工事監理に必要なものとし、監督職員と協議の上、設置のこと。 ・ その他の備品 ( )		<b>3 仮設工事</b> 3 仮設間仕切り 仮設間仕切りの種別 [2.3.2][表2.3.1] <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>仕上材(厚さmm)</th> <th>充填材(mm)</th> <th>塗装</th> </tr> <tr> <td>・ A種</td> <td>・ 軽量鉄骨</td> <td>・ 合板(※9.0 ・ 5.5)</td> <td></td> <td>・ 無し</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>・ 木下地</td> <td>・ 防音用グラスウール</td> <td></td> <td>・ 片面</td> </tr> <tr> <td>※ C種</td> <td>単管下地</td> <td>・ 防炎シート</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>仮設扉</td> <td>※ 木製</td> <td>※ 合板張り程度</td> <td></td> <td>・ 無し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 鋼製</td> <td>・ 片面フラッシュ程度</td> <td></td> <td>・ 有り</td> </tr> </table>		種別	下地	仕上材(厚さmm)	充填材(mm)	塗装	・ A種	・ 軽量鉄骨	・ 合板(※9.0 ・ 5.5)		・ 無し	・ B種	・ 木下地	・ 防音用グラスウール		・ 片面	※ C種	単管下地	・ 防炎シート			仮設扉	※ 木製	※ 合板張り程度		・ 無し		・ 鋼製	・ 片面フラッシュ程度		・ 有り																														
種別	下地	仕上材(厚さmm)	充填材(mm)	塗装																																																															
・ A種	・ 軽量鉄骨	・ 合板(※9.0 ・ 5.5)		・ 無し																																																															
・ B種	・ 木下地	・ 防音用グラスウール		・ 片面																																																															
※ C種	単管下地	・ 防炎シート																																																																	
仮設扉	※ 木製	※ 合板張り程度		・ 無し																																																															
	・ 鋼製	・ 片面フラッシュ程度		・ 有り																																																															
<b>1 一般共通事項</b>		<b>21 完成図等</b> ※ 完成図 [1.9.1~1.9.3][表1.9.1] 完成図作成に当たっては、CADデータ修正によること。 完成図の種類及び記入内容は、設計図同等とする。 完成図には、各図面の右下に「完成図」と明記すること。 提出物 ○二つ折り製本2部(表紙及び背表紙に黒文字印刷で「工事完成年度、工事名称、設計者名、受注者名」を記入の上、「完成図」と明記) ※ JWW形式CADデータ ※ PDF形式データ(印刷物をスキャンしたものは不可) ※ 保全に関する資料 ・ 1部 ※ 2部		<b>4 監督職員事務所</b> 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ※ 図示 [2.3.2] ・ 既存建物内の一部を使用する [2.4.1] ・ 工事現場内に新設する 監督職員事務所の規模 ・ ( ) m程度 [2.4.1] 監督職員事務所の仕上げの程度 [2.4.1] ※ 仕上げは通常のもので、備品は打合せテーブル、椅子、棚、エアコン等通常の工事監理に必要なものとし、監督職員と協議の上、設置のこと。 ・ その他の備品 ( )		<b>3 仮設工事</b> 3 仮設間仕切り 仮設間仕切りの種別 [2.3.2][表2.3.1] <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>仕上材(厚さmm)</th> <th>充填材(mm)</th> <th>塗装</th> </tr> <tr> <td>・ A種</td> <td>・ 軽量鉄骨</td> <td>・ 合板(※9.0 ・ 5.5)</td> <td></td> <td>・ 無し</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>・ 木下地</td> <td>・ 防音用グラスウール</td> <td></td> <td>・ 片面</td> </tr> <tr> <td>※ C種</td> <td>単管下地</td> <td>・ 防炎シート</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>仮設扉</td> <td>※ 木製</td> <td>※ 合板張り程度</td> <td></td> <td>・ 無し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 鋼製</td> <td>・ 片面フラッシュ程度</td> <td></td> <td>・ 有り</td> </tr> </table>		種別	下地	仕上材(厚さmm)	充填材(mm)	塗装	・ A種	・ 軽量鉄骨	・ 合板(※9.0 ・ 5.5)		・ 無し	・ B種	・ 木下地	・ 防音用グラスウール		・ 片面	※ C種	単管下地	・ 防炎シート			仮設扉	※ 木製	※ 合板張り程度		・ 無し		・ 鋼製	・ 片面フラッシュ程度		・ 有り																														
種別	下地	仕上材(厚さmm)	充填材(mm)	塗装																																																															
・ A種	・ 軽量鉄骨	・ 合板(※9.0 ・ 5.5)		・ 無し																																																															
・ B種	・ 木下地	・ 防音用グラスウール		・ 片面																																																															
※ C種	単管下地	・ 防炎シート																																																																	
仮設扉	※ 木製	※ 合板張り程度		・ 無し																																																															
	・ 鋼製	・ 片面フラッシュ程度		・ 有り																																																															
<b>1 一般共通事項</b>		<b>22 完成図等</b> ※ 完成図 [1.9.1~1.9.3][表1.9.1] 完成図作成に当たっては、CADデータ修正によること。 完成図の種類及び記入内容は、設計図同等とする。 完成図には、各図面の右下に「完成図」と明記すること。 提出物 ○二つ折り製本2部(表紙及び背表紙に黒文字印刷で「工事完成年度、工事名称、設計者名、受注者名」を記入の上、「完成図」と明記) ※ JWW形式CADデータ ※ PDF形式データ(印刷物をスキャンしたものは不可) ※ 保全に関する資料 ・ 1部 ※ 2部		<b>4 監督職員事務所</b> 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ※ 図示 [2.3.2] ・ 既存建物内の一部を使用する [2.4.1] ・ 工事現場内に新設する 監督職員事務所の規模 ・ ( ) m程度 [2.4.1] 監督職員事務所の仕上げの程度 [2.4.1] ※ 仕上げは通常のもので、備品は打合せテーブル、椅子、棚、エアコン等通常の工事監理に必要なものとし、監督職員と協議の上、設置のこと。 ・ その他の備品 ( )		<b>3 仮設工事</b> 3 仮設間仕切り 																																																													



4-4 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁

3 欠損部改修工法

4 浮き部改修工法

5 外壁張り

6 目地改修工法

4-5 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁等

1 既存塗膜の除去及び下地処理

2 下地調整

3 仕上げ塗材

4 マチツキ塗材塗り

5 外壁用塗膜防水材塗り

5 建具改修工事

1 共通事項

2 アルミ製建具

3 樹脂製建具

4 鋼製建具

5 鋼製軽量建具

6 ステンレス製建具

7 木製建具

8 建具用金物

9 自動ドア開閉装置

10 自閉式上吊り引戸装置

11 重量シャッター

12 軽量シャッター

13 オーバーヘッドドア

14 ガラス

種類	厚さ (mm)	特性等	使用箇所
○ フォト板ガラス	○ 4 ※ 5		
○ 型板ガラス	・ 3 ※ 4		
・ 強化ガラス (学校用)	※ 4 ・ 5		教室等一般居室
・ 強化型板ガラス (学校用)	※ 4		学校便所、更衣室
・ 網入磨きガラス	※ 6.8		
・ 網入型板ガラス	※ 6.8		
・ すりガラス	○ 5		

ガラス留め材 [5.14.2]

※ シーリング ・ ガラス (※ グレージングチャンネル形 ・ 図示)

板ガラスをはめ込む溝の大きさ [5.14.3]

※ 建具の製造所の仕様による ・ 図示

熱線反射ガラスの映像調整 ・ 行う [5.14.4]

ガラスブロックの表面形状、呼び寸法及び厚さ [5.14.5]

※ 図示

壁用金属枠及び補強材 ※ 図示 [5.14.5]

力骨の材質、寸法及び形状 [5.14.5]

※ ステンレス鋼 (SUS304) 径5.5mmのはしご状複筋及び単筋 ・ 図示

化粧目地モルタルの色 ※ 図示 [5.14.5]

シーリング材の種類 ※ 図示 [5.14.5]

金属製化粧カバーの材質、寸法及び形状 ※ 図示 [5.14.5]

建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ※ 図示 [5.14.5]

ガラスブロックの目地幅の寸法 (mm) [5.14.5]

※ 8以上15以下 (平積みの場合)

※ 曲率半径≧ガラスブロック幅×10、外側15以下、内側6以上 ・ 図示

伸縮調整目地 (幅10~25mm) の位置 [5.14.5]

※ 6m以下ごと ・ 図示

伸縮調整目地部の横力骨の納まり [5.14.5]

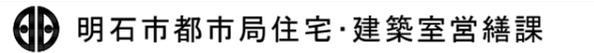
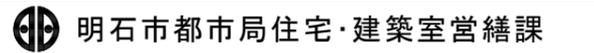
※ ガラスブロックの製造所の仕様による ・ 図示

⑥ 内装 改修 工事	① 他の部位との 取合い等	既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の 改修範囲 ・ 壁厚程度 ※ 図示 [6.1.3] 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ・ 壁から両側600mm程度 ※ 図示 [6.1.3] 既存天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修 ・ 既存のまま ※ 図示 [6.1.3]
	② 既存床の撤去 及び下地補修	浮き、欠損部等による下地材の撤去 ・ 撤去する [6.2.2] 合成樹脂塗床の除去工法 [6.2.2] ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法 欠損部又は下地材の撤去部の下地材の塗りの目地割り及び種類 ※ 目地割2m程度、最大目地間隔3m程度、押し目地 [6.2.2] ・ 図示
	③ 既存壁の撤去 及び下地補修	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6.3.2] ※ モルタル塗り（モルタル塗替え工法） ・ 図示 ※ モルタル塗厚が25mmを超える場合は、SUSアンカーピンφ200 程度+SUS製又はSUSなまし鉄線にて補強すること。
	④ 木下地等	見え掛り面の仕上げ程度の種別 [6.5.1][表6.5.1][表6.5.2] ・ 機械加工（・ A種 ・ B種 ・ C種） ・ 手加工（・ H-A種 ※ H-B種（内部造作材） ※ H-C種（下地材）） 機械加工の適用箇所 ※ 図示 木材の含水率 ※ A種 ・ B種 [6.5.2][表6.5.3] 製材 ※ 特記がない場合は図示 [6.5.2] 「製材の日本農林規格」による製材 下地用針葉樹製材の等級 ※ 2級 ・ 図示 [6.5.2] 下地用針葉樹製材の樹種、寸法、形状、含水率、保存処理及び 材面の品質 ※ 図示 [6.5.2] 造作用針葉樹製材（板類）における等級 [6.5.2] ※ 上小節（枠、額縁、敷居、かまい、かまちの類の見え掛り面） ※ 小節（上記以外の部位） ・ 図示 造作用針葉樹製材の樹種、寸法、形状、含水率、保存処理及び 材面の品質 ※ 図示 [6.5.2] 広葉樹製材の等級 ※ 1等 ・ 図示 [6.5.2] 広葉樹製材の含水率 ※ 10%以下 ・ 図示 [6.5.2] 広葉樹製材の樹種、寸法、保存処理及び材面の品質 ※ 図示 「製材の日本農林規格」以外の製材の樹種、寸法、材面の品質、 防虫処理及び含水率 ※ 図示 [6.5.2] 造作材の材面の品質の基準 ※ A種 ・ B種 [6.5.2][表6.5.4] 集成材等 ※ 特記がない場合は図示 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材等 造作用集成材の品名、樹種、見付け材面数及び寸法 ※ 図示 造作用集成材の見付け材面の品質 ※ 1等 ・ 図示 [6.5.2] 化粧ばり造作用集成材の品名、樹種、化粧薄板の厚さ、寸法及び 見付け材面の品質 ※ 図示 [6.5.2] 「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材等 造作用集成材の樹種、寸法及び見付け材面の品質 ※ 図示 [6.5.2] 造作用集成材の含水率 ※ 15%以下 ・ 図示 [6.5.2] 化粧ばり造作用集成材の樹種、寸法、化粧薄板の厚さ、見付け 材面の品質 ※ 図示 [6.5.2] 化粧ばり造作用集成材の含水率 ※ 15%以下 ・ 図示 [6.5.2] 「単板積層材の日本農林規格」に基づく造作用単板積層材の品名、 寸法、表面の品質及び防虫処理 ※ 図示 [6.5.2] 「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材の寸法、 表面の品質及び防虫処理 ※ 図示 [6.5.2] 「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材の含水率 ※ 14%以下 ・ 図示 [6.5.2] 「直交集成材の日本農林規格」による直交集成材の品名、曲げ強度 （強度等級）、種別、接着性能（使用環境）、樹種及び寸法 ※ 図示 [6.5.2]

⑤ 軽量鉄骨 天井下地	合板の種類、規格等 ※ 特記がない場合は図示	種類	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫、難燃等
	普通合板	・ ラワン ・ シ ・ 針葉樹 ・ 図示	※ 1類 ・ 2類	（広葉樹） ※ 2等 （針葉樹） ※ C-D ・ 図示		
	コンクリート砕用 合板	・ ラワン ・ シ ・ 針葉樹 ・ 図示	・ 1類	・ C-D ・ 塗装品 ・ 図示		
	構造用合板	・ ラワン ・ シ ・ 針葉樹 ・ 図示	※ 1類 （等級） ※ 2級	※ C-D ・ 図示		
⑥ 軽量鉄骨壁下地	種類	種類	耐水性、難燃性、厚さ等			
	その他ボード類	・ パーティクルボード ・ MDF ・ 構造用パネル				
	造作材化粧面の釘打ち [6.5.3]	※ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し 諸金物の形状、寸法及び材質 ※ 表6.5.5~7による（かすがい、産金、箱金物及び短冊金物） ・ 図示				
	下地木材への防腐、防蟻処理 [6.5.6]	薬剤の加圧注入の適用部材及び保存処理性能区分 ※ 図示 表面処理用木材保存剤による処理 ・ 適用する 表面処理用木材保存剤の種類及び適用部材 ※ 図示 薬剤による処理方法 ※ [6.5.5]による ・ 図示 薬剤の接着剤への混入による防腐、防蟻処理 ・ 行う 合板等の加圧注入による防腐、防蟻処理 ・ 行う 防虫処理 ・ 行う 間仕切軸組に用いる木材 ※ 杉又は松 ・ 図示 [6.5.6] 床組に用いる木材 ※ 杉又は松 ・ 図示 [6.5.6] 窓、出入口その他に用いる木材 [6.5.7] ※ ひのき（吊元枠、水掛りの下枠及び敷居） ※ 松又は杉（上記以外） ・ 図示 縁甲板及び上がりがまちに用いる木材 [6.5.8] ※ ひのき ・ 図示 壁及び天井下地の木材 ※ 杉又は松 ・ 図示 [6.5.9]				
⑦ ビニル床シート、 ビニル床タイ ム床タイ張り	野縁等の種類 [6.6.2][表6.6.1]	※ 19形（屋内） ※ 25形（屋外） ・ 図示 屋外の野縁受、吊りボルト及びビーンサートの間隔等 ※ 図示 屋外の野縁の間隔 ※ 図示 [6.6.3] 既存の埋込みインサート ・ 使用する あと施工アンカーの確認試験 [6.6.4] 箇所数 ※ 当該階において3箇所（屋内） ・ 図示（屋外） 確認強度 ※ 400N程度（ただし、吊りボルト受け等の間隔が 900mm程度以下かつ天井面構成部材等の単位面積当たりの質量 20kg/m <sup>2</sup> 以内の天井に限る） ・ 図示 吊りボルト間隔が900mmを超える場合の補強 ※ 図示 天井のふところが1.5m以上の場合の補強 ※ 吊りボルトの水平補強、斜め補強を行う （天井のふところが3m以下の場合） ・ 図示 天井下地材における耐震性を考慮した補強 ※ 図示 屋外の軒、バルコニー等の天井における耐風圧性を考慮した補強 ※ 図示				
	スタッド、ランナーの種類 [6.7.3][表6.7.1]	※ 表6.7.1による ・ 図示 スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※ 図示 [6.7.3][表6.7.1] 出入口及びこれに準じる開口部の補強 ※ 6.7.4（5）による ・ 図示				
	野縁等の種類 [6.6.2][表6.6.1]	※ 19形（屋内） ※ 25形（屋外） ・ 図示 屋外の野縁受、吊りボルト及びビーンサートの間隔等 ※ 図示 屋外の野縁の間隔 ※ 図示 [6.6.3] 既存の埋込みインサート ・ 使用する あと施工アンカーの確認試験 [6.6.4] 箇所数 ※ 当該階において3箇所（屋内） ・ 図示（屋外） 確認強度 ※ 400N程度（ただし、吊りボルト受け等の間隔が 900mm程度以下かつ天井面構成部材等の単位面積当たりの質量 20kg/m <sup>2</sup> 以内の天井に限る） ・ 図示 吊りボルト間隔が900mmを超える場合の補強 ※ 図示 天井のふところが1.5m以上の場合の補強 ※ 吊りボルトの水平補強、斜め補強を行う （天井のふところが3m以下の場合） ・ 図示 天井下地材における耐震性を考慮した補強 ※ 図示 屋外の軒、バルコニー等の天井における耐風圧性を考慮した補強 ※ 図示				
	スタッド、ランナーの種類 [6.7.3][表6.7.1]	※ 表6.7.1による ・ 図示 スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※ 図示 [6.7.3][表6.7.1] 出入口及びこれに準じる開口部の補強 ※ 6.7.4（5）による ・ 図示				

⑦ ビニル床シート、 ビニル床タイ ム床タイ張り	ビニル床シート [6.8.2]	種類	色柄	厚さ (mm)
	・ 発泡層のないもの	※FS ・ TS	・ 無地 ・ マブル	※2.0 ・ 2.5
	・ 発泡層のあるもの	・ HS ・ KS	・ 無地 ・ 柄物	・ 2.8 ・ 3.5
	特殊機能床シート		・ 無地 ・ マブル	・ 2.0 ・ 2.5
⑧ カーペット敷き	ビニル床シート [6.8.2]	種類	色柄	厚さ (mm)
	・ 発泡層のないもの	※FS ・ TS	・ 無地 ・ マブル	※2.0 ・ 2.5
	・ 発泡層のあるもの	・ HS ・ KS	・ 無地 ・ 柄物	・ 2.8 ・ 3.5
	特殊機能床シート		・ 無地 ・ マブル	・ 2.0 ・ 2.5
⑨ 合成樹脂塗床	ビニル床シート [6.8.2]	種類	色柄	厚さ (mm)
	・ 発泡層のないもの	※FS ・ TS	・ 無地 ・ マブル	※2.0 ・ 2.5
	・ 発泡層のあるもの	・ HS ・ KS	・ 無地 ・ 柄物	・ 2.8 ・ 3.5
	特殊機能床シート		・ 無地 ・ マブル	・ 2.0 ・ 2.5
⑩ フローリング張り	ビニル床シート [6.8.2]	種類	色柄	厚さ (mm)
	・ 発泡層のないもの	※FS ・ TS	・ 無地 ・ マブル	※2.0 ・ 2.5
	・ 発泡層のあるもの	・ HS ・ KS	・ 無地 ・ 柄物	・ 2.8 ・ 3.5
	特殊機能床シート		・ 無地 ・ マブル	・ 2.0 ・ 2.5
⑪ 畳敷き	ビニル床シート [6.8.2]	種類	色柄	厚さ (mm)
	・ 発泡層のないもの	※FS ・ TS	・ 無地 ・ マブル	※2.0 ・ 2.5
	・ 発泡層のあるもの	・ HS ・ KS	・ 無地 ・ 柄物	・ 2.8 ・ 3.5
	特殊機能床シート		・ 無地 ・ マブル	・ 2.0 ・ 2.5
⑫ せっこうボード、 その他ボード及び 合板張り	ビニル床シート [6.8.2]	種類	色柄	厚さ (mm)
	・ 発泡層のないもの	※FS ・ TS	・ 無地 ・ マブル	※2.0 ・ 2.5
	・ 発泡層のあるもの	・ HS ・ KS	・ 無地 ・ 柄物	・ 2.8 ・ 3.5
	特殊機能床シート		・ 無地 ・ マブル	・ 2.0 ・ 2.5
⑬ 壁紙張り	ビニル床シート [6.8.2]	種類	色柄	厚さ (mm)
	・ 発泡層のないもの	※FS ・ TS	・ 無地 ・ マブル	※2.0 ・ 2.5
	・ 発泡層のあるもの	・ HS ・ KS	・ 無地 ・ 柄物	・ 2.8 ・ 3.5
	特殊機能床シート		・ 無地 ・ マブル	・ 2.0 ・ 2.5

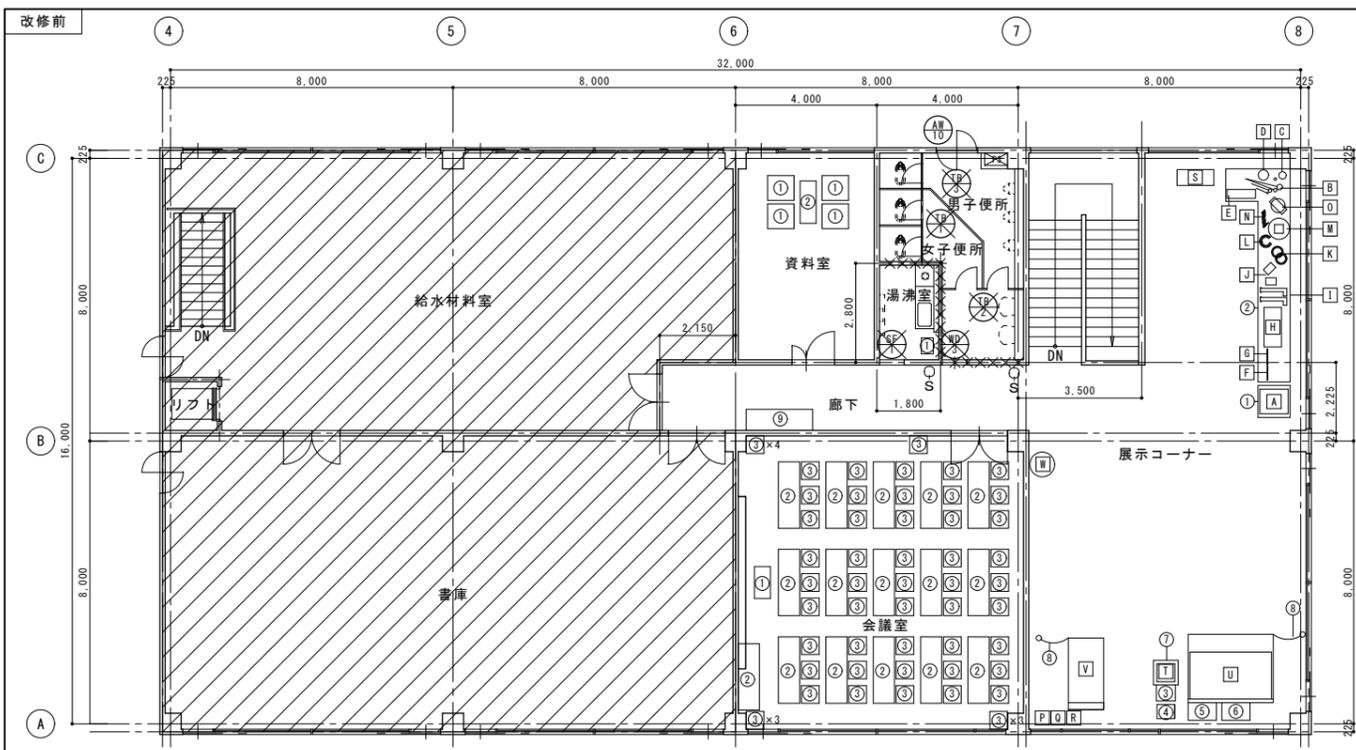
⑨ 合成樹脂塗床	弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げの種類 [6.10.3][表6.10.5~7]	※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ エポキシ樹脂系塗床の工法及び仕上げの種類 ・ 薄膜流しのべ工法（・ 平滑 ・ 防滑） ・ 厚膜流しのべ工法（・ 平滑 ・ 防滑） ・ 樹脂モルタル工法（・ 平滑 ・ 防滑）					
	フローリング張り [6.11.2]	品名	種類	樹種	寸法 (mm)	厚さ (mm)	工法
	・ 単層フローリング	・ フローリングボード1等 ・ フローリングブロック1等	※ なら	・ 75×300 ・ 75×500 ・ 75×900 ・ 303×300 ・ 303×1800	・ 15 ・ 12 ・ 8	・ 根太張り ・ 直張り工法 ・ 接着工法	
	・ 複合フローリング	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ ぶな	・ 303×300 ・ 303×1800	・ 8	・ 接着工法	
⑩ フローリング張り	フローリング裏面の緩衝材 [6.11.5]	※ 合成樹脂発泡シート ・ 図示 現場で塗替える場合の下地及び塗装の仕様等 ※ 図示 [6.11.6] 畳の種類 [6.12.2][表6.12.1] ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N [6.13.2][表6.13.1]					
	フローリング裏面の緩衝材 [6.11.5]	※ 合成樹脂発泡シート ・ 図示 現場で塗替える場合の下地及び塗装の仕様等 ※ 図示 [6.11.6] 畳の種類 [6.12.2][表6.12.1] ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N [6.13.2][表6.13.1]					
	フローリング裏面の緩衝材 [6.11.5]	※ 合成樹脂発泡シート ・ 図示 現場で塗替える場合の下地及び塗装の仕様等 ※ 図示 [6.11.6] 畳の種類 [6.12.2][表6.12.1] ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N [6.13.2][表6.13.1]					
	フローリング裏面の緩衝材 [6.11.5]	※ 合成樹脂発泡シート ・ 図示 現場で塗替える場合の下地及び塗装の仕様等 ※ 図示 [6.11.6] 畳の種類 [6.12.2][表6.12.1] ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N [6.13.2][表6.13.1]					
⑪ 畳敷き	畳の種類 [6.12.2][表6.12.1]	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N [6.13.2][表6.13.1]					
	畳の種類 [6.12.2][表6.12.1]	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N [6.13.2][表6.13.1]					
	畳の種類 [6.12.2][表6.12.1]	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N [6.13.2][表6.13.1]					
	畳の種類 [6.12.2][表6.12.1]	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N [6.13.2][表6.13.1]					
⑫ せっこうボード、 その他ボード及び 合板張り	天然木化粧合板	化粧板の樹種名	接着の程度	厚さ	防虫処理		
	※ 図示	・ 1類 ・ 2類	・ 3.2 ・ 4.2 ・ 6.0	・ 行う			
	特殊加工化粧合板	化粧加工の方法	表面性能	接着の程度	厚さ	防虫処理	
	・ オバーレイ ・ フリット ・ 塗装	・ Fタイプ ・ FWタイプ ・ Wタイプ ・ SWタイプ	・ 1類 ・ 2類	※ 図示	・ 行う		
⑬ 壁紙張り	遮音シール材 [6.13.2]	・ アクリル系シール材 ・ ウレタン系シール材 ・ ジョイントコンパウンド 軽量鉄骨下地及び木下地を除く下地の工法 ※ 図示 [6.13.3] 合板類の張付けの種類 ・ A種 ※ B種 [6.13.3][表6.13.3] せっこうボードの目地工法 [6.13.3][表6.13.5] ・ 継目処理工法 ・ 突付け工法 ・ 目透し工法					
	壁紙の種類 [6.14.2]	・ 紙系 ・ 繊維系 ・ 塩化ビニル樹脂系 ・ 無機質系 壁紙の防火性能 [6.14.2] ・ 不燃 (NM) ・ 準不燃 (QM) ・ 難燃 (RM) モルタル面及びブラスター面の下地調整 [6.14.3][表7.2.4] ・ RA種 ※ RB種 ・ RC種 コンクリート面の下地調整 [6.14.3][表7.2.5] ・ RA種 ※ RB種 ・ RC種 せっこうボード面の下地調整 [6.14.3][表7.2.7] ・ RA種 ※ RB種 ・ RC種					
	壁紙の種類 [6.14.2]	・ 紙系 ・ 繊維系 ・ 塩化ビニル樹脂系 ・ 無機質系 壁紙の防火性能 [6.14.2] ・ 不燃 (NM) ・ 準不燃 (QM) ・ 難燃 (RM) モルタル面及びブラスター面の下地調整 [6.14.3][表7.2.4] ・ RA種 ※ RB種 ・ RC種 コンクリート面の下地調整 [6.14.3][表7.2.5] ・ RA種 ※ RB種 ・ RC種 せっこうボード面の下地調整 [6.14.3][表7.2.7] ・ RA種 ※ RB種 ・ RC種					
	壁紙の種類 [6.14.2]	・ 紙系 ・ 繊維系 ・ 塩化ビニル樹脂系 ・ 無機質系 壁紙の防火性能 [6.14.2] ・ 不燃 (NM) ・ 準不燃 (QM) ・ 難燃 (RM) モルタル面及びブラスター面の下地調整 [6.14.3][表7.2.4] ・ RA種 ※ RB種 ・ RC種 コンクリート面の下地調整 [6.14.3][表7.2.5] ・ RA種 ※ RB種 ・ RC種 せっこうボード面の下地調整 [6.14.3][表7.2.7] ・ RA種 ※ RB種 ・ RC種					

特記事項	・ ・ ・ ・	 一級建築士事務所 広島県知事登録 25(1)第3396号 管理建築士 一級建築士(大臣)第335100号 山本 裕一	課長 _____ 係 _____ 担当 _____ 長 _____ 長 _____ 当 _____	製作年月日 2025年 8月	工事名称 （仮称）上下水道庁舎建設工事 縮尺 -	当初・変更・完成 図番 RA-04
(2024年6月改定)		管理技術者  主任技術者  担当技術者  担当技術者 		2025年 8月	図面名称 改修工事特記仕様書(4)	図番 RA-04

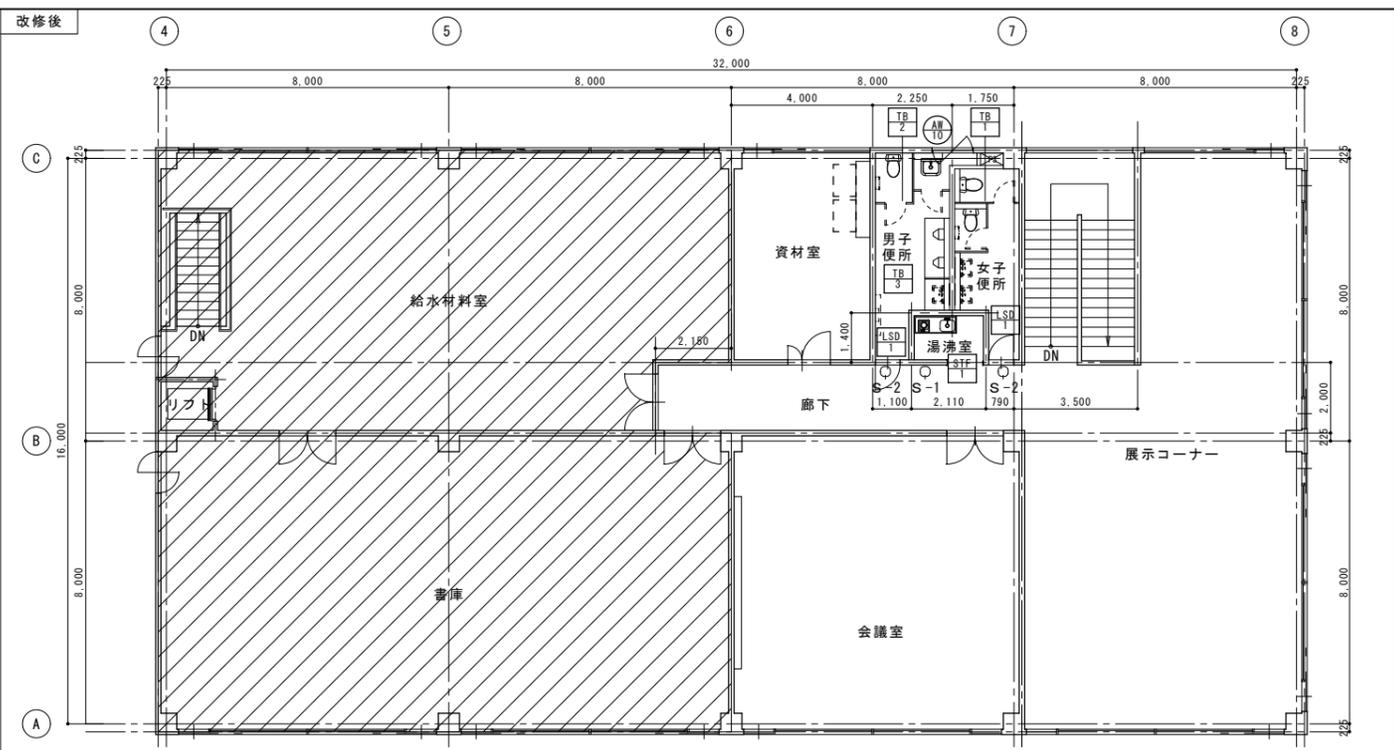


B 耐 震 改 修 工 事	39 耐震スリット 新設工事	耐震スリットの幅及び深さ ※ 図示 [8.25.2] 既存仕上げの撤去範囲 [8.21.2][8.25.2] ※ 支障となる最小限の範囲を撤去し、既存構造体を露出 ・ 図示 耐火材の使用箇所及び仕様 ※ 図示 [8.25.2] 遮音材の使用箇所及び仕様 ※ 図示 [8.25.2] 既存撤去部の補修 [8.25.2] ※ 撤去材と同一材で補修 ・ 図示	42 土工事及び 地業工事	減衰材設置後の仕上げ ※ 図示 [8.27.8] 検査の項目及び数量 [8.27.9] ・ 構造特記仕様書による ・ 図示 既存杭の一部を撤去する場合の撤去範囲及び撤去方法 [8.28.2] ※ 図示 既存杭の柱頭部等の処理 ・ 処理する [8.28.2] 既存杭の補強 ・ 補強する [8.28.2] 既存杭の健全性の確認試験 ・ 行う [8.28.2] 埋戻し及び盛土の種類 [8.28.3][表8.28.1] ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 建設発生土の処理 [8.28.3] ※ 工事現場外に搬出し、関係法令等に基づき、適切に処理 山留め鋼矢板等の抜き跡処理 [8.28.3] ※ 直ちに砂で充填する等の処理 ・ 図示 山留め壁等 ・ 存置する ・ 撤去する [8.28.3] 試験杭の位置、本数及び寸法 [8.28.4] ・ 構造特記仕様書による ・ 図示 試験杭の施工方法 ※ 図示 [8.28.4] 杭の載荷試験の種類 [8.28.4] ・ 鉛直載荷試験 ・ 水平載荷試験 杭の載荷試験の方法 [8.28.4] ・ 構造特記仕様書による ・ 図示 試験杭の載荷加重 [8.28.4] ・ 構造特記仕様書による ・ 図示 杭の載荷試験報告書の記載事項等 ※ 図示 [8.28.4] 地盤の載荷試験 ・ 平板載荷試験 [8.28.4] 平板載荷試験の方法 ※ 図示 [8.28.4] 地盤の載荷試験位置及び載荷加重 ※ 図示 [8.28.4] 地盤の載荷試験報告書の記載事項等 ※ 図示 [8.28.4] 杭地業の工法 [8.28.4] ・ 構造特記仕様書による ・ 図示 杭地業における支持層の位置、土質、杭の根入れ長さ及び水平 方向の位置ずれの精度 [8.28.4] ・ 構造特記仕様書による ・ 図示 ※ 再計算 ※ 施工完了後、速やかに杭全数について、位置ずれの記録を 監督職員に提出 杭の寸法等 [8.28.4] ・ 構造特記仕様書による ・ 図示 杭の継手溶接に係る技能資格者の技量及び溶接部の確認 [8.28.4] ※ 図示 杭頭の処理 ・ 行う [8.28.4] 本杭の施工方法 ・ 構造特記仕様書による ・ 図示 [8.28.4] 砂利及び砂地業の範囲 ※ 図示 [8.28.4] 砂利及び砂地業の厚さ (mm) ※ 60 ・ 図示 [8.28.4] 捨てコンクリートの範囲 ※ 図示 [8.28.4] 捨てコンクリートの厚さ (mm) ※ 50 ・ 図示 [8.28.4]	3 石綿含有 保温材等の除去 [9.1.4] 除去方法 [9.1.4] ・ 破砕して除去 ・ 原形のまま、手ばらし 石綿含有吹付け材の処分 [9.1.3][9.1.4] ・ 埋立処分 ・ 中間処理 ④ 石綿含有 成形板等の除去 [9.1.5] 石綿含有成形板 (石綿含有せっこうボードを除く) の処分 [9.1.5] ・ 埋立処分 ( ) 中間処理 5 石綿含有 仕上塗材の除去 [9.1.6] 除去工法 [9.1.6] ※ 改修標準9.1.6による。 6 外断熱改修工事 [9.2.2] 断熱材の種類及び厚さ ※ 図示 [9.2.2] 外装材の種類及び防火性能 ※ 図示 [9.2.2] 既存外壁の仕上材の撤去 ・ 撤去する 下地面の清掃 ・ 行う 断熱材を設置する部分の下地に欠損部がある場合の改修方法 [4.1.4][9.2.3] ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ・ 適用する 不陸等の下地調整 ・ 行う [9.2.4] 断熱材 ・ 設置する [9.2.4] 通気層 ・ あり (厚さ mm) [9.2.4] 外装材の外壁への取付け ※ 図示 [9.2.4] 外装材の施工方法等 ※ 図示 [9.2.4] 7 断熱・防露 改修工事 [9.3.2] 断熱材の種類 [9.3.2] ・ ビーズ法® スチレンフォーム断熱材 ・ 押出法® スチレンフォーム断熱材 (スキン層なし) ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ フェノールフォーム断熱材 ・ ビーズ法® スチレンフォーム保温材 ・ 押出法® スチレンフォーム保温材 (スキン層なし) ・ A種硬質ウレタンフォーム保温材 ・ フェノールフォーム保温材 (3種2号を除く) 断熱材現場発泡工法に用いる断熱材の種類 ・ A種1 ※ A種1H ・ A種2 ・ A種2H ・ A種3 ・ B種 断熱材の吹付け厚さ ※ 図示 断熱材後張り工法に用いる断熱材の種類 ・ ビーズ法® スチレンフォーム断熱材 ・ 押出法® スチレンフォーム断熱材 (スキン層なし) ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ フェノールフォーム断熱材 ・ 上記の材料にせっこうボード等を張り付けたバネ ・ ビーズ法® スチレンフォーム保温材 ・ 押出法® スチレンフォーム保温材 (スキン層なし) ・ A種硬質ウレタンフォーム保温材 ・ フェノールフォーム保温材 (3種2号を除く) 8 屋上緑化改修 工事 [9.4.2] 芝及び地被類の種類等 ※ 図示 [9.4.2] 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※ 図示 「屋根ふき材及び屋外に面する帳壁の風圧に対する構造耐力上の 安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」に基づく 風圧力に対応した工法 ・ 適用する [9.4.3] かん水装置の設置 ・ 設置する [9.4.3] かん水装置の種類 ※ 図示 [9.4.3] 既存保護層等の撤去 ・ 撤去する [9.4.3] 新植した芝及び地被類の枯補償の期間 ※ 引渡しの日から1年 ・ 図示 [9.4.3] 9 透水性アスファルト 舗装改修工事 [9.5.2] 既存舗装の撤去 ・ 撤去する [9.5.2] 既存舗装の一部を撤去せずに再利用 ・ 再利用する 路床の構成及び厚さ ・ 凍上抑制層 ( ) mm ・ フィルター層 ( ) mm 透水性舗装に用いるフィルター層の厚さ ※ 図示 路床安定処理の適用 ・ 適用する 路床安定処理の方法 ※ 図示 盛土に用いる材料の種類 [表8.28.1][9.5.3] ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 凍上抑制層及び透水性舗装のフィルター層の材料 [9.5.3] ※ 有機物、ごみ等を含まない砂 ・ 図示 [9.5.3] 砂の粒度試験 ・ 行う [9.5.3] 路床安定処理用添加材料の種類 [9.5.3] ・ 普通® トラッドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 (・ 特号 ・ 1号) ・ 消石灰 (・ 特号 ・ 1号)	発生土の処理 [9.5.3] ※ 工事現場外に搬出し、適切に処理 ・ 図示 [9.5.3] 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・ 行う [9.5.3] 路床締固め度の試験 ・ 行う [9.5.3] 現場CBR試験 ・ 行う [9.5.3] 路盤の厚さ ※ 図示 [9.5.4] 路盤材料の種類 [9.5.4] ・ クラッシュラン ・ 粒度調整砕石 ・ 再生クラッシュラン ・ 再生粒度調整砕石 ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ ・ 粒度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ 舗装の構成 ※ 図示 [9.5.5] 舗装の平坦性 [9.5.5] ※ 著しい不陸がないもの ・ 図示 [9.5.9] 開粒度アスファルト混合物の抽出試験 ・ 行う [9.5.9]	特記事項 ・ 特記なき限り、見え係鉄部は外部DP、内部SOP塗装とする。 ・ VSは溶接工法 (耐水工法) とする。 ・ 内装材、接着剤、家具、建具材は全て、ノンアスベスト品、F☆☆☆☆材とする。 ・ 便所のVSは抗菌性・防汚性・消臭性、防汚性仕様とし熱溶接工法での施工とする ・ 改修前のVH、FK、ネオパールスキンを撤去する場合は、 石綿含有建材として処理すること。 ・ ネオパールスキンは工事着手前に アスベスト調査を行い監督員へ調査報告書を提出すること
	40 免震改修工事	既存仕上げの撤去範囲 [8.21.2][8.26.5] ※ 支障となる最小限の範囲を撤去し、既存構造体を露出 ・ 図示 工事に支障となる設備機器、配管等の撤去及び移設 ※ 図示 [8.21.2][8.26.5] 既存構造体の撤去範囲 ※ 図示 [8.21.2][8.26.5] はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置 ※ 図示 [8.21.2][8.26.5] 既存杭の一部を撤去する場合の撤去範囲及び撤去方法 ※ 図示 [8.26.5][8.28.2] 既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、打継ぎ面 となる範囲の既存構造体コンクリート面の目荒しの程度 ※ 図示 [8.21.3][8.26.6] 既存杭の柱頭部等の処理 ※ 図示 [8.21.3][8.28.2] 支承材又は減衰材の材質及び諸元 [8.26.7] ・ 構造特記仕様書による ・ 図示 性能確認試験の項目及び数量 [8.26.7] ・ 構造特記仕様書による ・ 図示 ・ 製品検査における項目、内容、判断基準、検査頻度等 [8.26.7] ・ 構造特記仕様書による ・ 図示 支承材又は減衰材の防錆処理 ※ 図示 [8.26.10] 支承材又は減衰材の設置位置の寸法許容差 [8.26.10] ・ 構造特記仕様書による ・ 図示 割裂補強筋 ・ 適用する [8.26.10] 支承材又は減衰材設置後の仕上げ ※ 図示 [8.26.13] 支承材への耐火被覆の適用 ・ 適用する [8.26.14] 支承材への耐火被覆の仕様 ※ 図示 [8.26.14] 免震部分の周囲に設置する球マシジョイントの仕様、工法等 ※ 図示 [8.26.15] 検査の項目及び数量等 [8.26.16] ・ 構造特記仕様書による ・ 図示 維持管理要領に記載する項目 [8.26.17] ※ 8.26.17(2)による ・ 図示 維持管理に必要な計測機器等 [8.26.17]		⑧ ① 石綿含有建材の 除去工事 [9.1.1] 石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ※ 図示 [9.1.1] 石綿粉じん濃度測定 ( ) 適用する [9.1.1] 測定時期 測定場所 測定点数 (処理作業室ごと) 処理作業前 ( ) 処理作業室内 ・ 2点 ・ 3点 ( ) 点 ・ 施工区域周辺 ・ 2点 ( ) 点 ( ) 敷地境界 ・ 2点 ( ) 点 処理作業中 ( ) 処理作業室内 ・ 2点 ( ) 点 ・ セキリバーブツ入口 ・ 1点 ( ) 点 ・ 集じん、排気装置の排出口 (処理作業室外の場合) ・ 1点 ( ) 点 ・ 施工区域周辺 ・ 4方向各1点 ( ) 点 ( ) 敷地境界 ・ 4方向各1点 ( ) 点 処理作業後 ( ) 処理作業室内 ・ 2点 ( ) 点 (隔離シート撤去前) ・ 施工区域周辺 ・ 4方向各1点 ( ) 点 ( ) 敷地境界 ・ 4方向各1点 ( ) 点 アスベスト分析調査及びアスベスト粉じん測定機関 ( ) 各都道府県に登録された作業環境測定機関 除去工法 [9.1.3] ※ [9.1.3(2)(a)~(d)]による ・ 図示 石綿含有吹付け材の飛散防止措置 [9.1.3] ※ 湿潤化 ・ 固形化 石綿含有吹付け材の処分 [9.1.3] ( ) 埋立処分 ・ 中間処理	⑨ ① 石綿含有 吹付け材の除去 [9.1.3] 除去工法 [9.1.3] ※ [9.1.3(2)(a)~(d)]による ・ 図示 石綿含有吹付け材の飛散防止措置 [9.1.3] ※ 湿潤化 ・ 固形化 石綿含有吹付け材の処分 [9.1.3] ( ) 埋立処分 ・ 中間処理	41 制振改修工事	既存仕上げの撤去範囲 [8.21.2][8.27.2] ※ 支障となる最小限の範囲を撤去し、既存構造体を露出 ・ 図示 工事に支障となる設備機器、配管等の撤去及び移設 ※ 図示 [8.21.2][8.27.2] 既存構造体の撤去範囲 ※ 図示 [8.21.2][8.27.2] はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置 ※ 図示 [8.21.2][8.27.2] 既存部分が鉄骨造の場合の既存鉄骨の撤去範囲及び撤去方法 ※ 図示 [8.27.2] 既存鉄骨の措置 ※ 図示 [8.27.2] 既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、打継ぎ面 となる範囲の既存構造体コンクリート面の目荒しの程度 ※ 図示 [8.21.3][8.27.3] 減衰材の材質及び諸元 [8.27.4] ・ 構造特記仕様書による ・ 図示 性能確認試験の項目及び数量 [8.27.4] ・ 構造特記仕様書による ・ 図示 製品検査における項目、内容、判断基準、検査頻度等 [8.27.4] ・ 構造特記仕様書による ・ 図示 減衰材の防錆処理 ※ 図示 [8.27.6] 減衰材の設置位置の寸法許容差 [8.27.6] ・ 構造特記仕様書による ・ 図示 割裂補強筋 ・ 適用する [8.27.6]

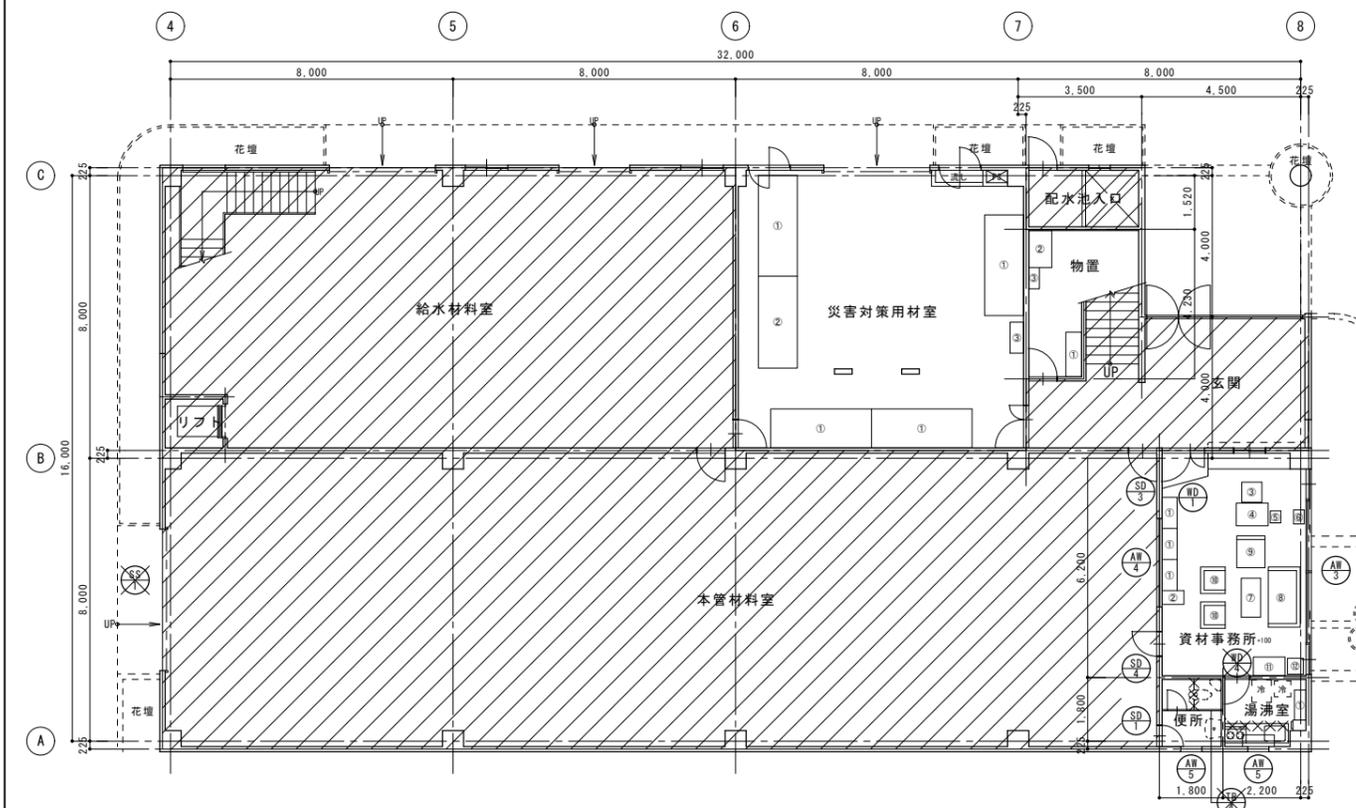
特記事項	・	 <b>株式会社 線企画設計</b> 一級建築士事務所 広島県知事登録 25(1)第3396号 管理建築士 一級建築士(大臣) 第335100号 山本 裕一	課長	担当課長	保	担	製作年月日	工事名称	(仮称)上下水道庁舎建設工事	当初・変更・完成			
(2024年6月改定)	・		 <b>明石市都市局住宅・建築室営繕課</b>					2025年 8月	図面名称	改修工事特記仕様書(6)	縮尺	-	図番



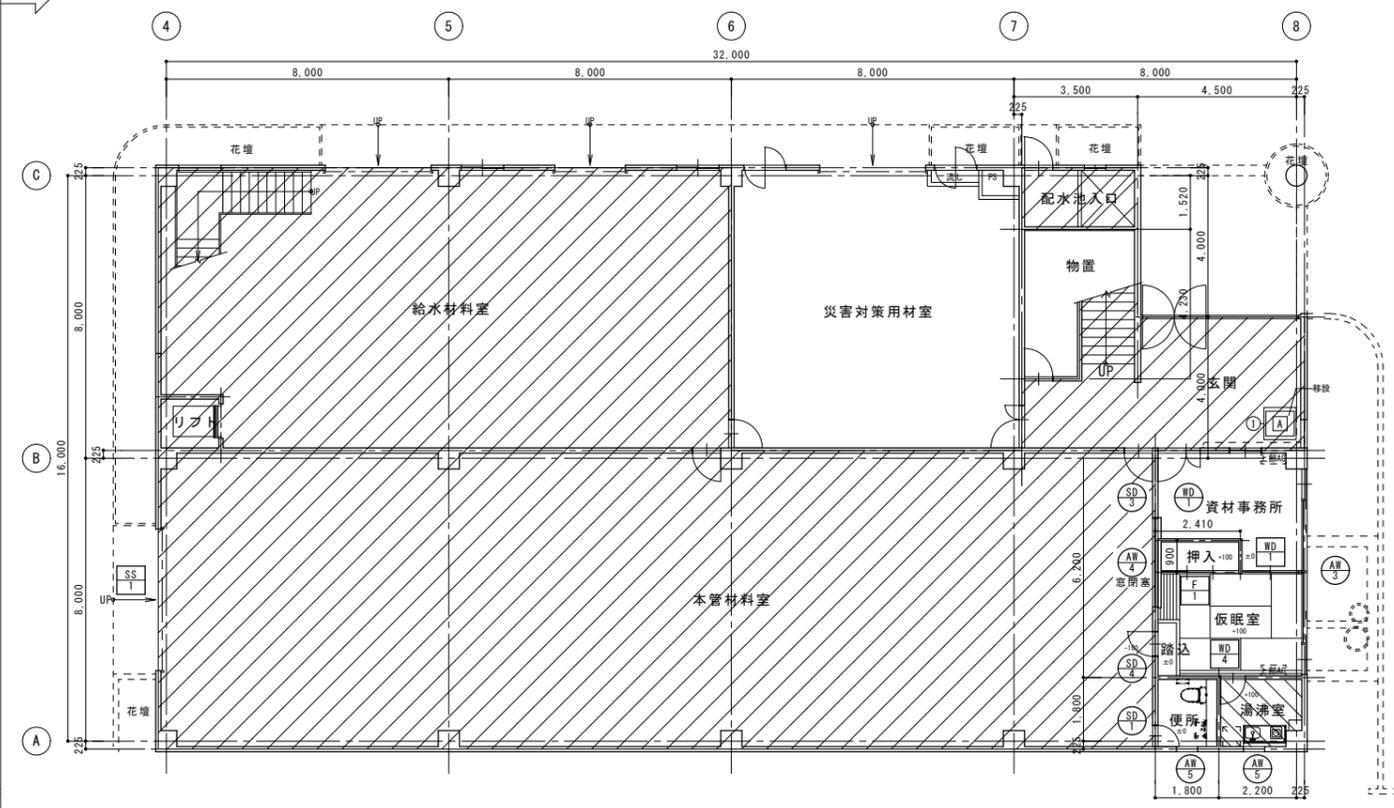
2階平面図(改修前) 1/100



2階平面図(改修後) 1/100



1階平面図(改修前) 1/100



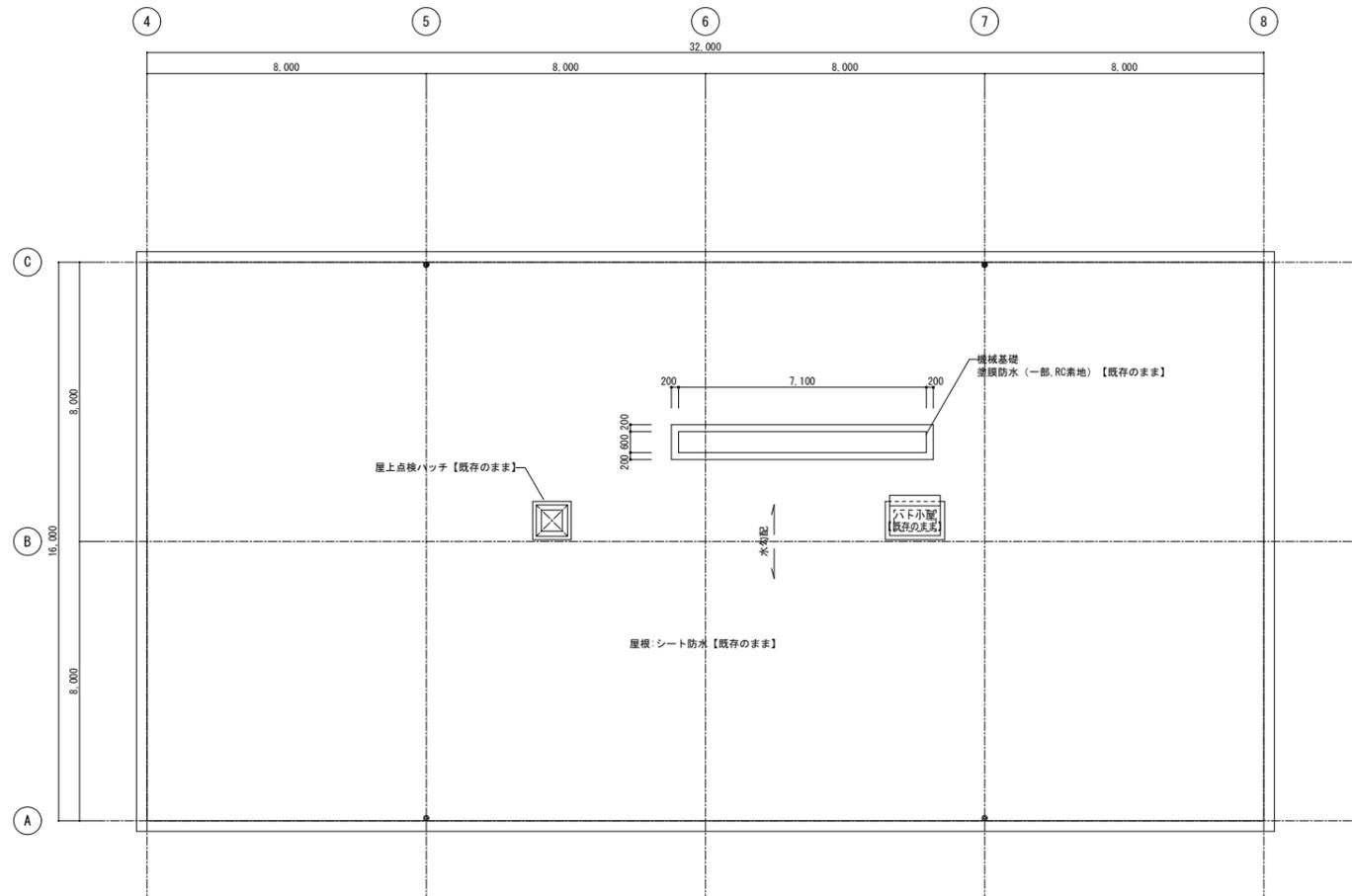
1階平面図(改修後) 1/100

凡例 (改修前)

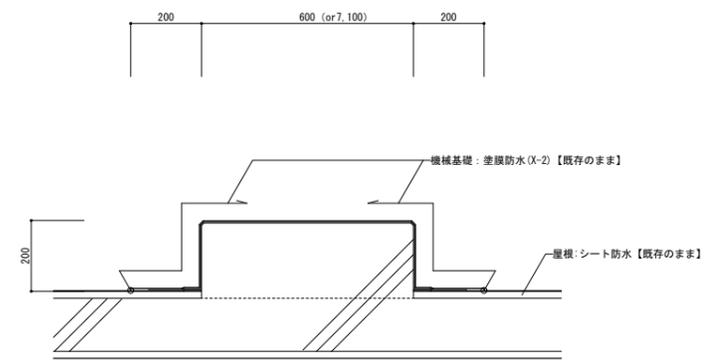
***	F.Lからの高さを示す (特記なき限りF.Lは±0とする)	○	改修建具を示す	○	撤去建具を示す (特共)	○	撤去建具を示す (特共)
×	撤去を示す	○	サイン撤去を示す	○	サイン撤去を示す	○	撤去建具を示す (特共)
---	改修範囲外を示す	○	サイン撤去を示す	○	サイン撤去を示す	○	撤去建具を示す (特共)
○	改修範囲外を示す	○	サイン撤去を示す	○	サイン撤去を示す	○	撤去建具を示す (特共)

凡例 (改修後)

***	F.Lからの高さを示す (特記なき限りF.Lは±0とする)	○	改修建具を示す	○	撤去建具を示す (特共)	○	撤去建具を示す (特共)
+	新設建具を示す	○	サイン撤去を示す	○	サイン撤去を示す	○	撤去建具を示す (特共)
---	改修範囲外を示す	○	サイン撤去を示す	○	サイン撤去を示す	○	撤去建具を示す (特共)
○	改修範囲外を示す	○	サイン撤去を示す	○	サイン撤去を示す	○	撤去建具を示す (特共)

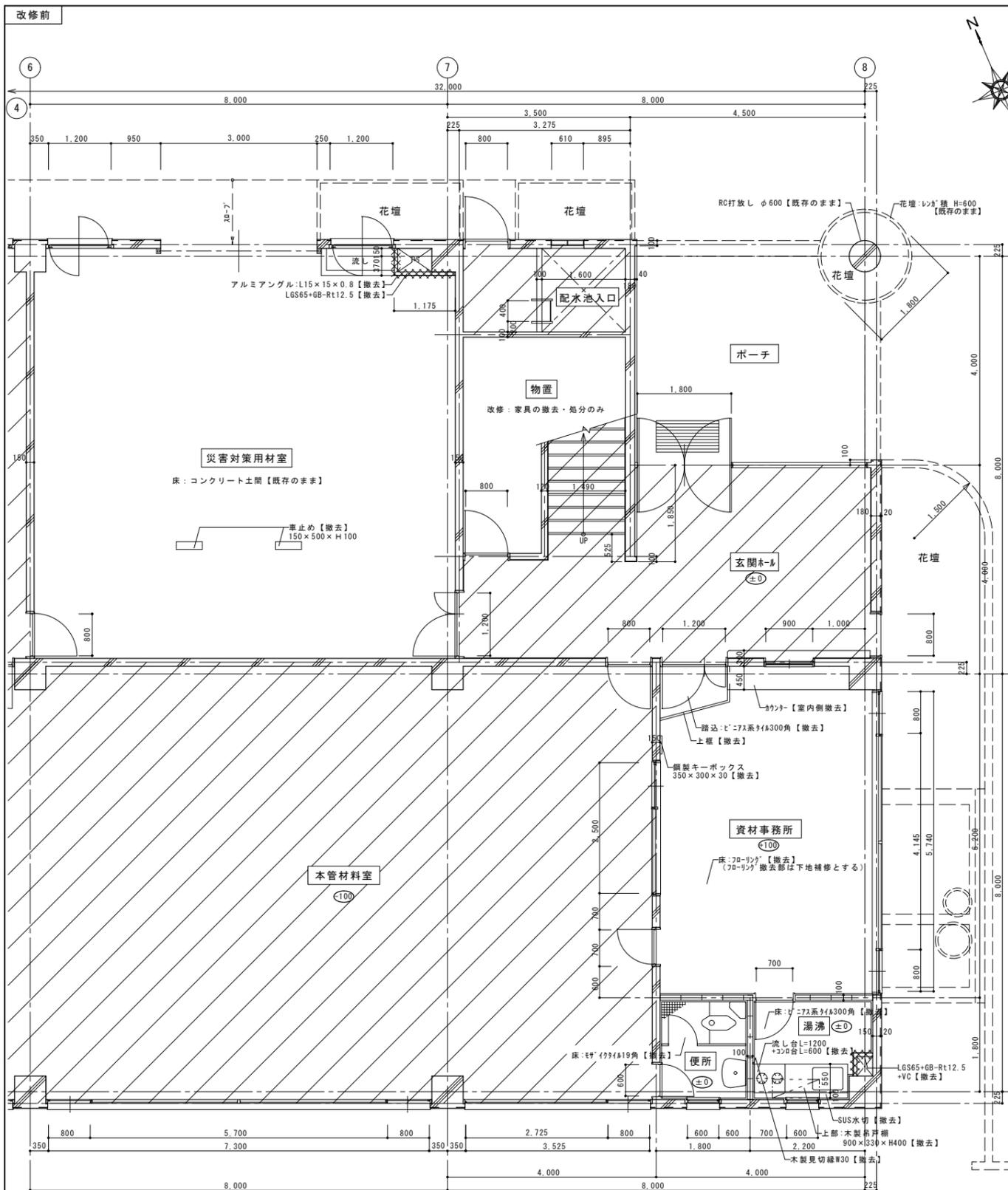


屋根伏図 1/100



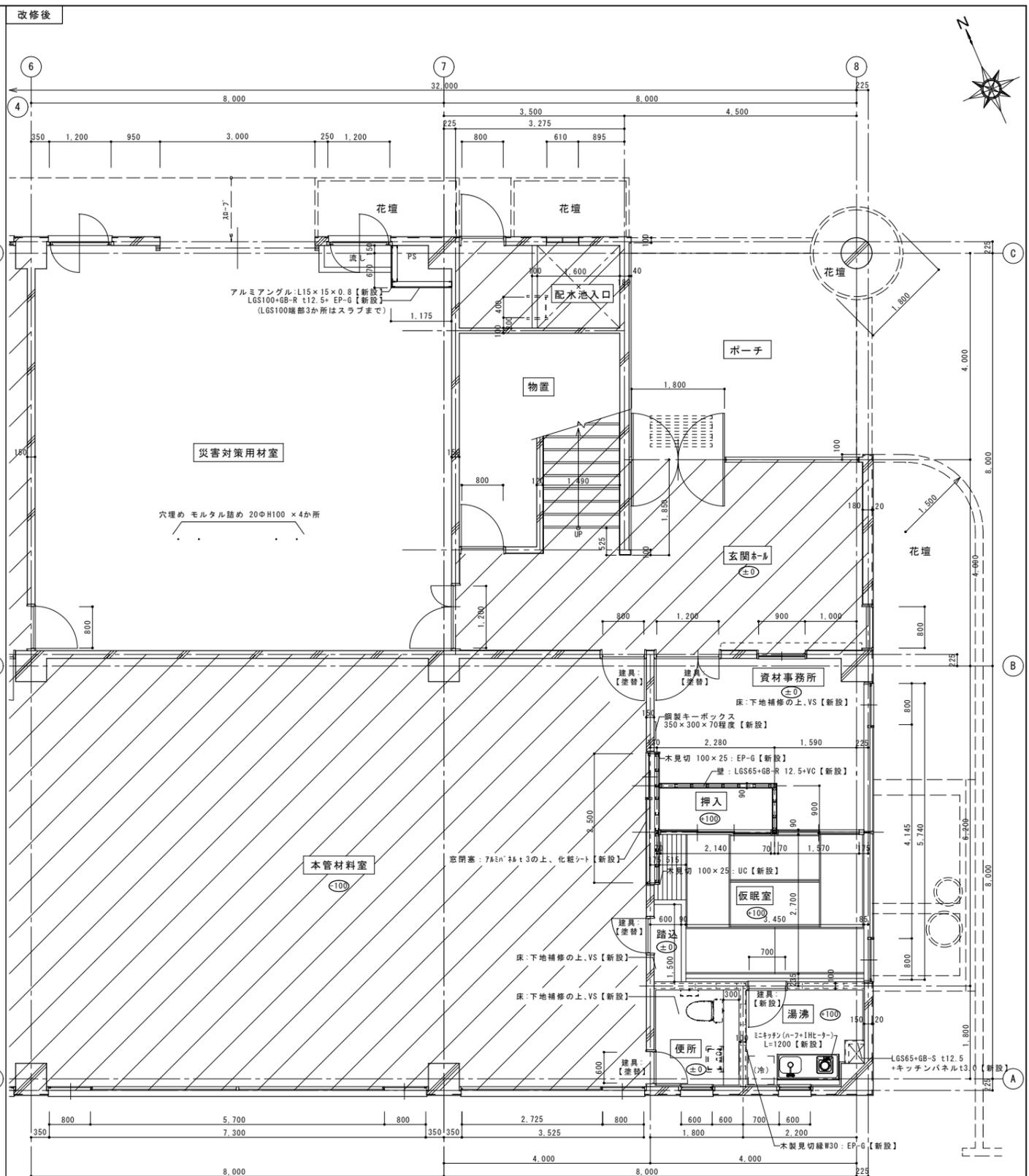
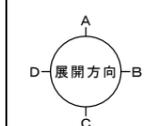
機械基礎詳細図 1/10

特記事項		株式会社 緑企図設計 一級建築士事務所 広島県知事登録 25(1)第3394号 管理建築士 一級建築士(大臣) 第325100号 山本 裕一	図面種類 図名 棟名 用途 所在地	製作年月日 2025年 8月	工事名称 (仮称)上下水道庁舎建設工事 図面名称 資材管理棟 屋根伏図	縮尺 図示	図番 RA-08	当初・変更・完成
			明石市都市局住宅・建築室営繕課					



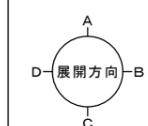
凡例 (改修前)

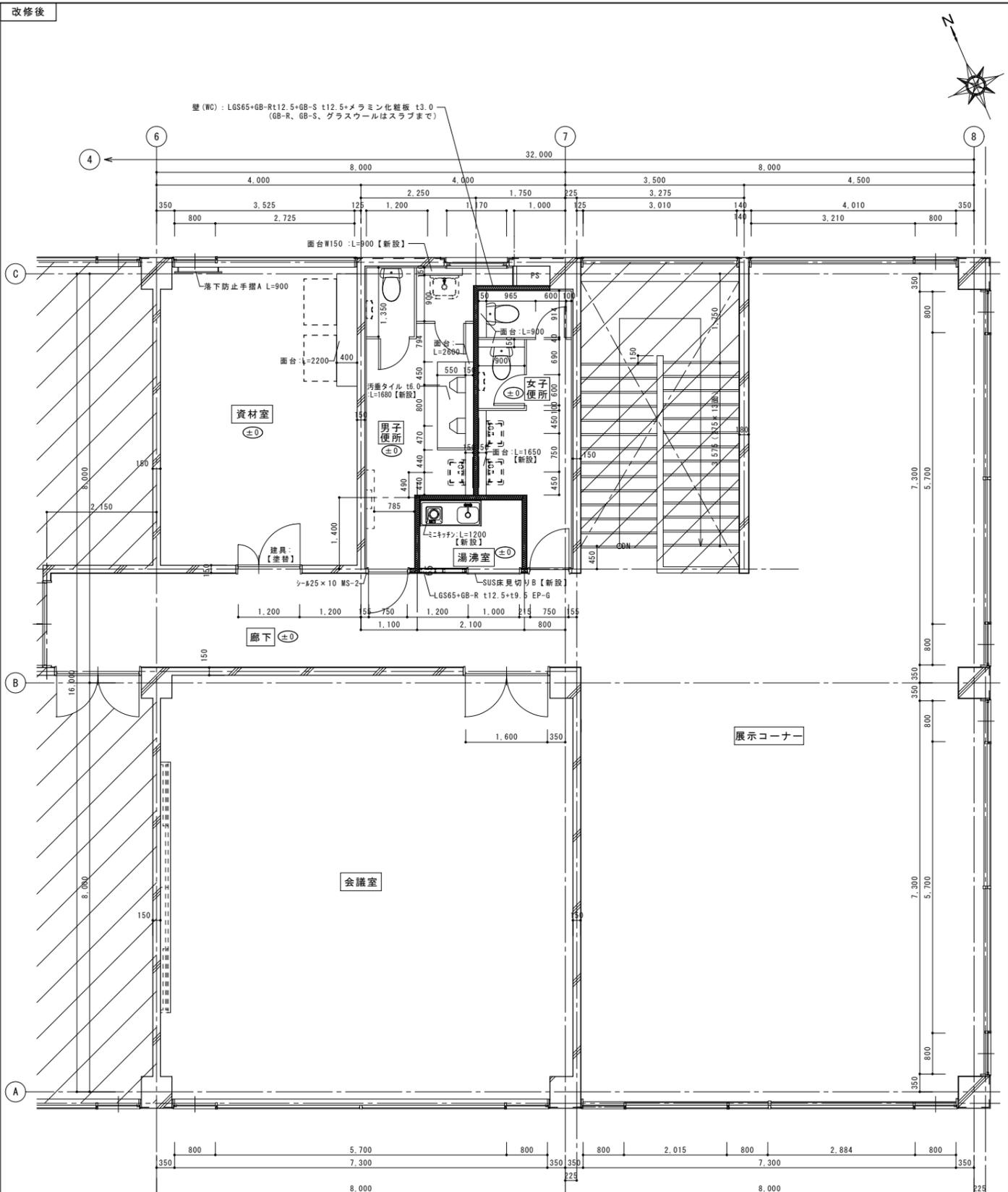
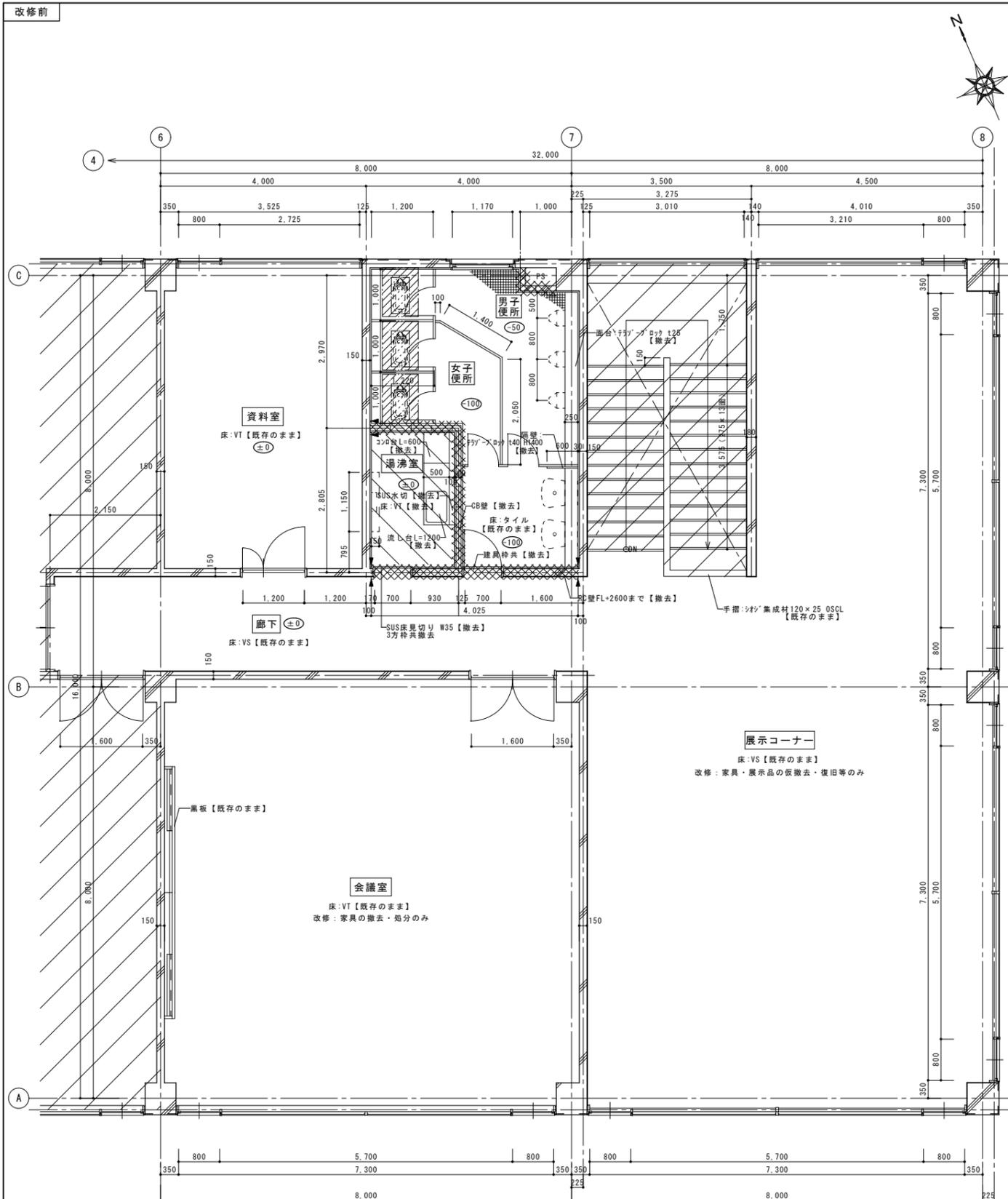
	改修範囲外を示す
	壁撤去部分を示す
	カッター切位置を示す
	FLを示す。(特記無き限りFL±0)



凡例 (改修後)

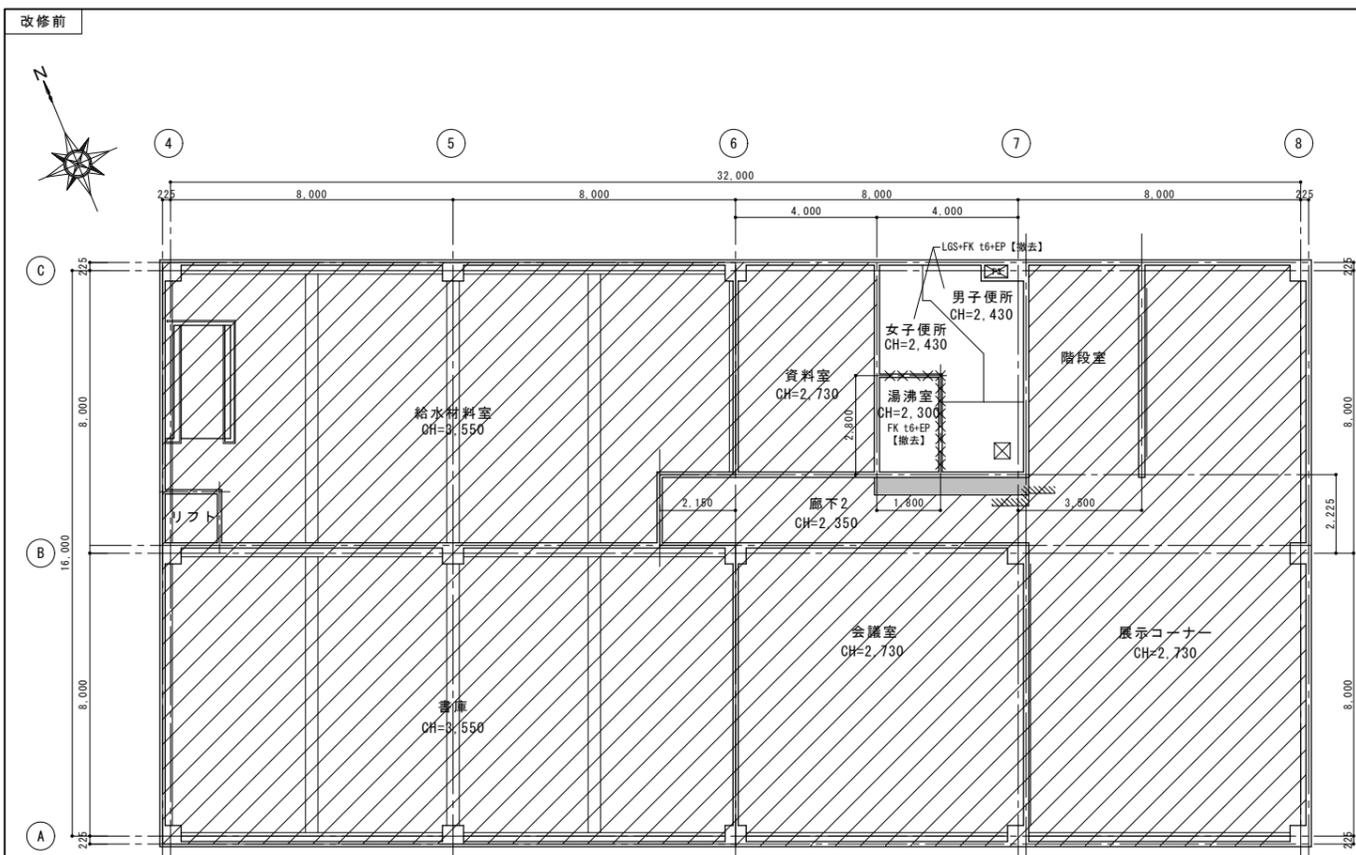
	改修範囲外を示す
	壁撤去部分を示す
	カッター切位置を示す
	FLを示す。(特記無き限りFL±0)



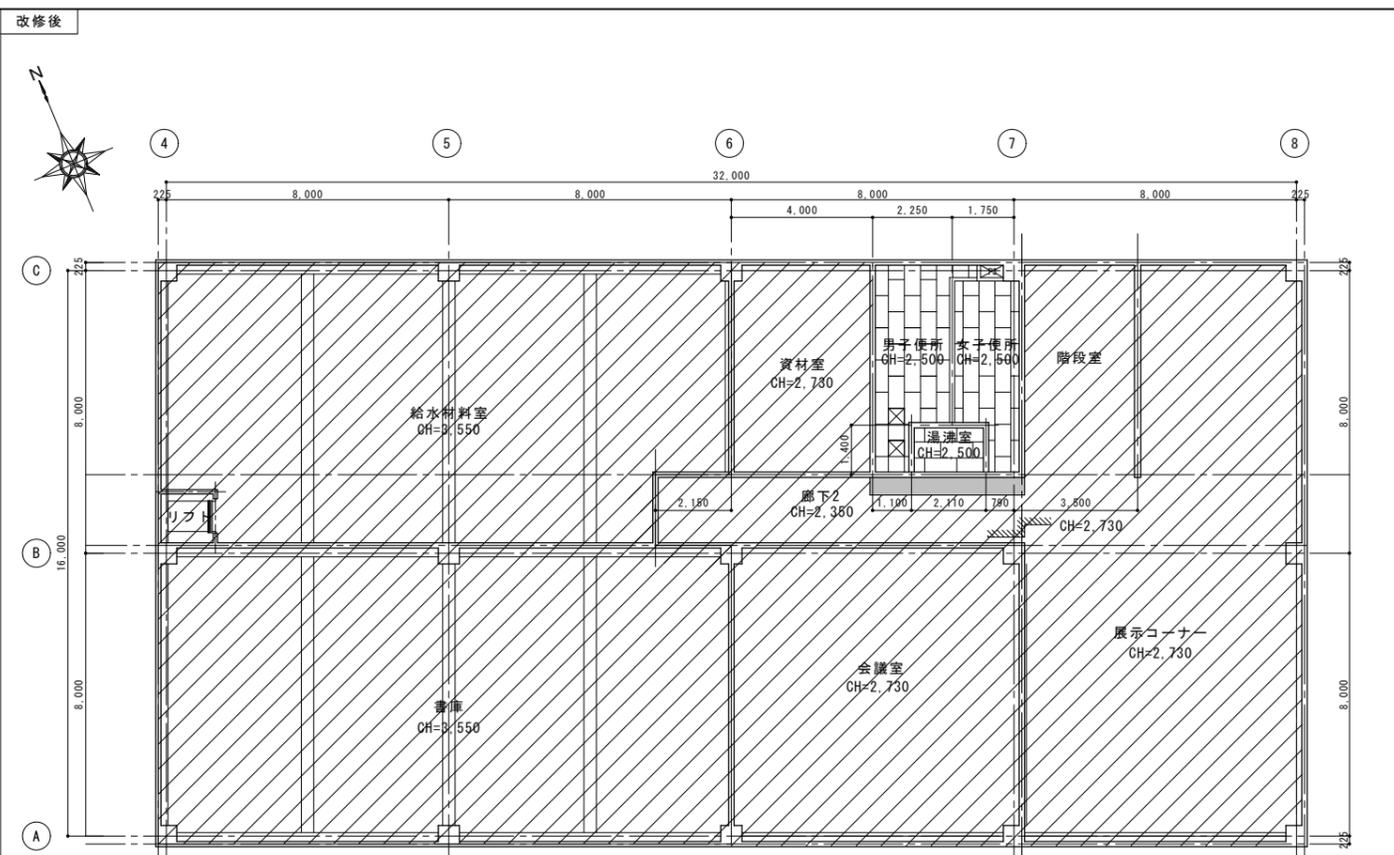


工事区分	工事内容 (※特記無き限り撤去)	凡例 (改修前)	
建築工事	コンロ台、流し台、面台スラブ (和便器廃り) 【一部撤去】 トイレブース、RC壁、CB壁 タイル (床、壁) 【既存のまま】 和便器、小便器、洗面、鏡	改修範囲外を示す	FLを示す。(特記無き限りFL±0)
機械設備工事		RC t100、ワイヤーメッシュφ150×150撤去範囲を示す X線検査により埋設配管の位置を確認すること。	和便器撤去に伴う改修範囲を示す。 (詳細は部分詳細図参照)
		壁撤去部分を示す	
		カッター切位置を示す	

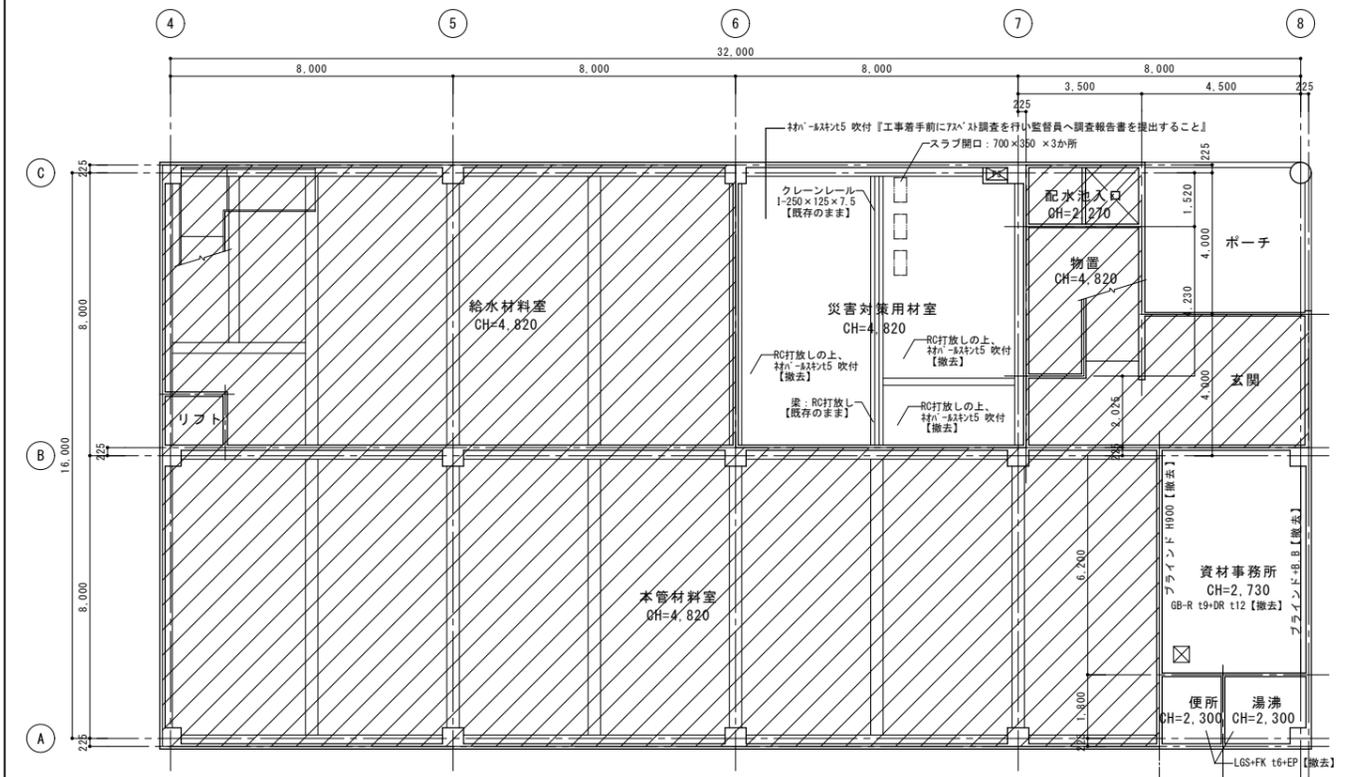
工事区分	工事内容 (※特記無き限り新設)	凡例 (改修後)	
建築工事	ミニキッチン、汚濁タイル、面台 トイレブース、床間放閉塞 置床	改修範囲外を示す	
機械設備工事	大便器、小便器、洗面、鏡 SK、洗濯機パン 洗濯機、乾燥機、乾燥機スタンド	軽鉄壁 (遮音壁)	
		FLを示す。(特記無き限りFL±0)	



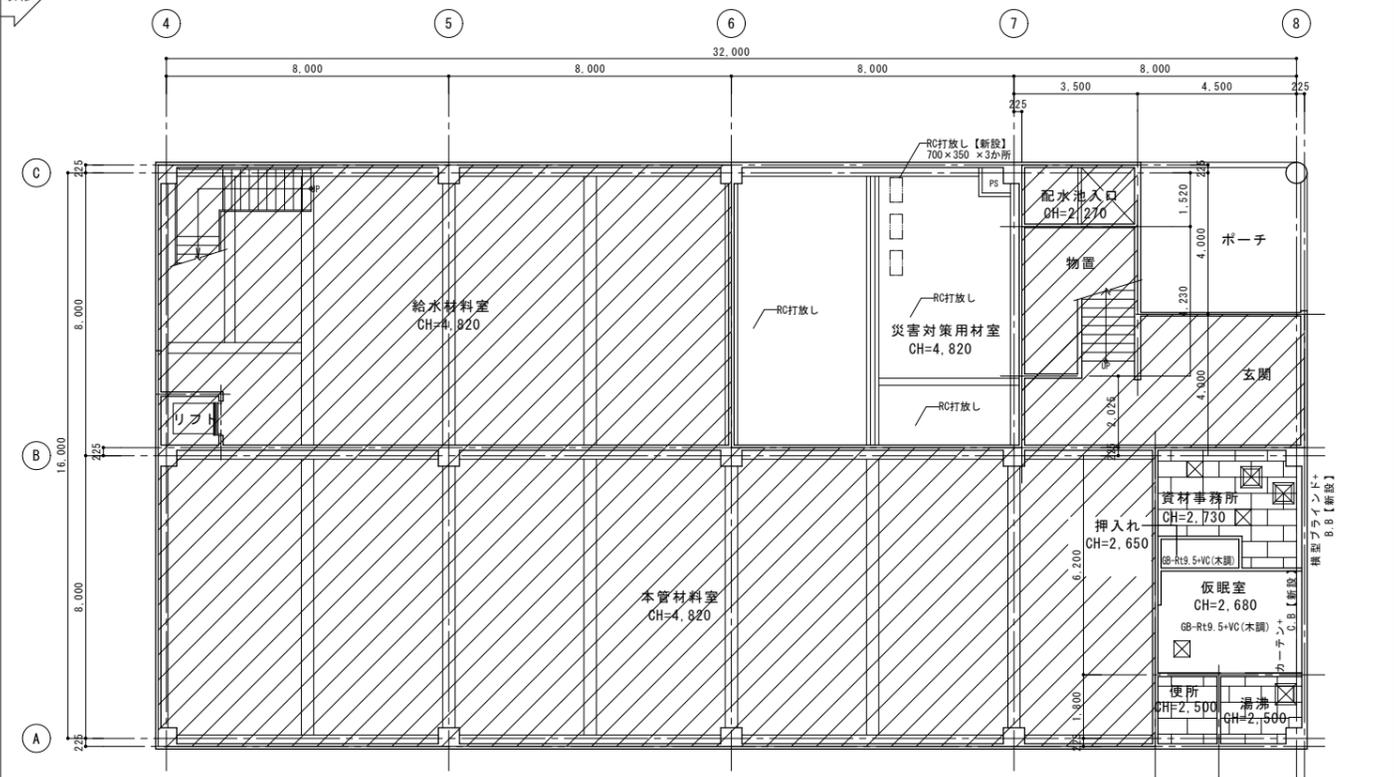
2階天井伏図 (改修前) 1/100



2階天井伏図 (改修後) 1/100



1階天井伏図 (改修前) 1/100

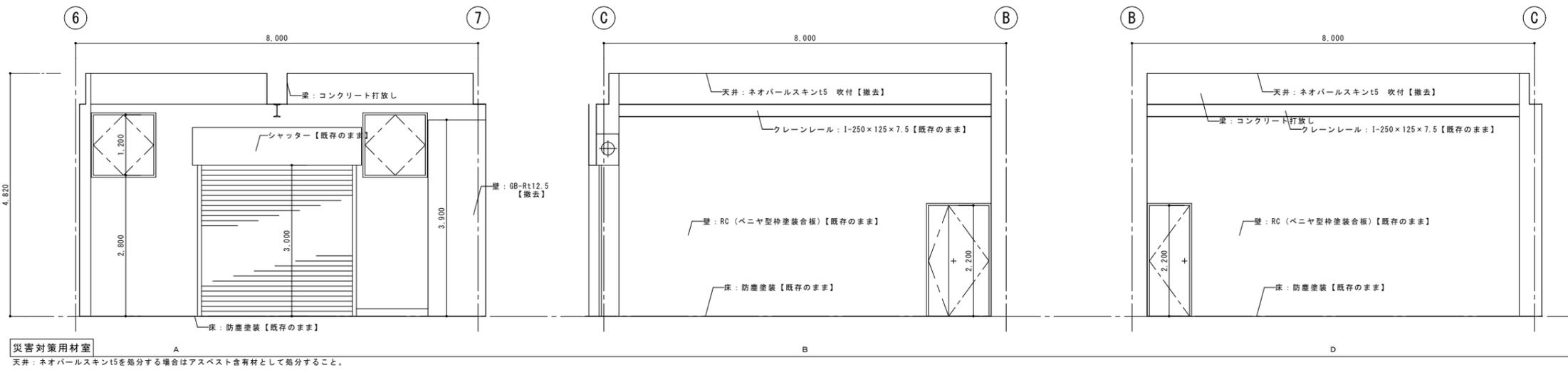
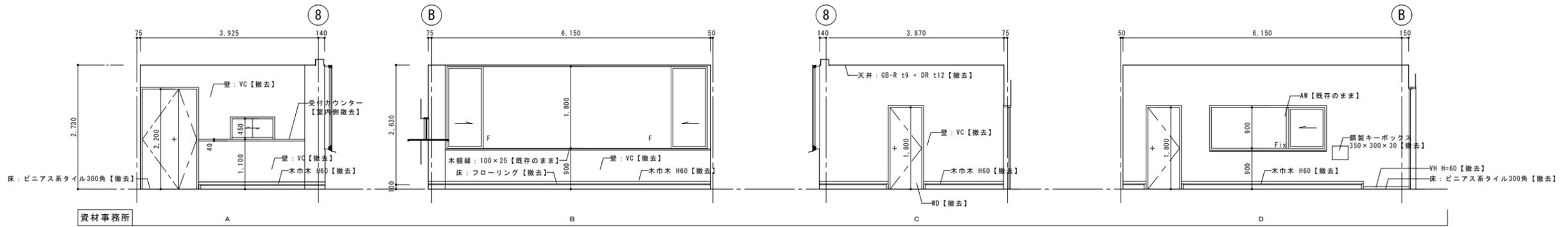


1階天井伏図 (改修後) 1/100

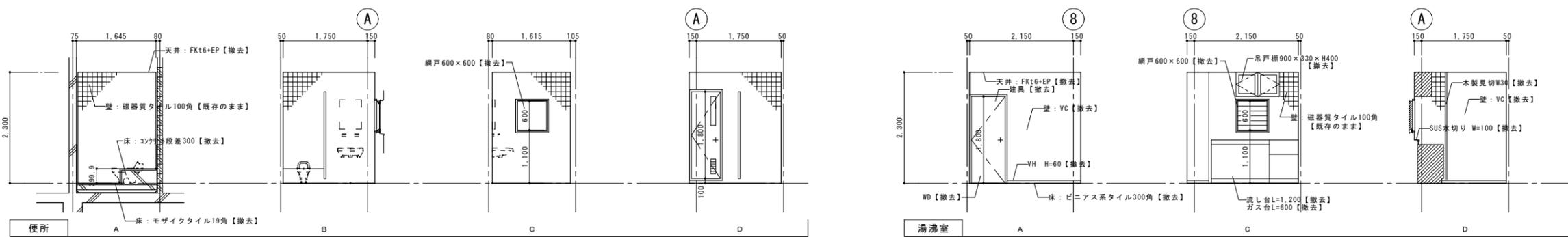
凡例 (改修前) (特記無き限り、天井仕上げはLGS共撤去)	P.L	アルミ製ビュッセルを示す (※はフック数を示す)
改修範囲外を示す	B.B	ブラインドボックスを示す
天井点検口 (450×450) を示す		ブラインドは特記無き限りH1930とする。
一時撤去・復旧範囲を示す		

凡例 (改修後) (特記無き限り、LGS・GB-D 19.5 【新設】)	B.B	フラインドボックスを示す	天井点検口 450×450 (縦線タイプ) 計5か所	ブラインド、カーテン仕様
改修範囲外を示す	C.B	カーテンボックスを示す	天井点検口 600×600 (縦線タイプ) 計3か所	縦型ブラインド H2860
一時撤去・復旧範囲を示す	P.L	アルミ製ビュッセルを示す (※はフック数を示す)	GB-R・VC、GB-D新設部には塩ビ張り縁を設置すること	横型ブラインド H1930
				カーテン、透光カーテン H1930

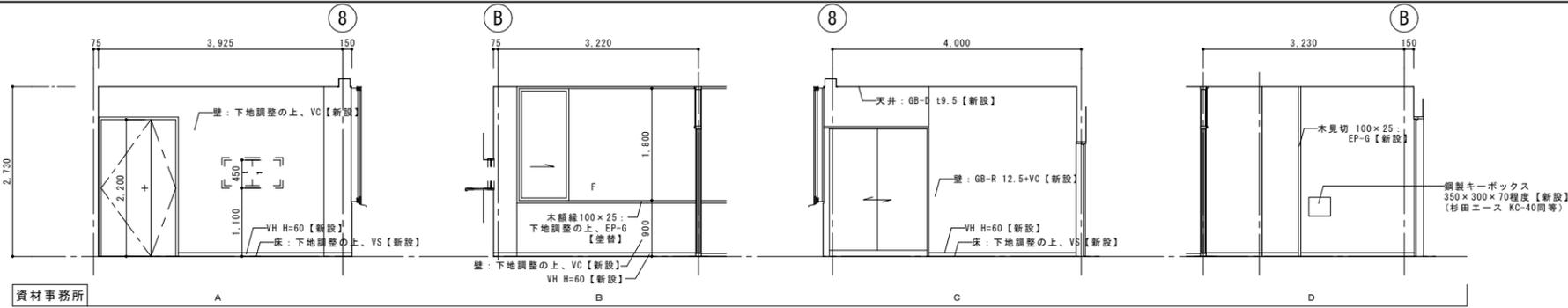
<p>建具符号 型式 AN1 片引き窓、嵌め殺し窓付</p> <p>箇所数 取付箇所 1 2階 会議室</p> <p>工事内容 シール打ち替え、一部改修(方立・無目、ガラス撤去・新設)</p> <p>寸法 改修前 改修後</p> <p>建具材質 特見込 70 アルミ B-2</p> <p>特材質 特形状 特仕上 アルミ B-2</p> <p>容積形状 容積仕上</p> <p>支持金物等 付属金物一式</p> <p>ガラス種類 ガラス厚さ FL 既存: 8/新設: 5</p> <p>錠前種類 施錠機構</p> <p>ガラリ形状 ガラリ寸法</p> <p>召し合せ</p> <p>備考</p>	<p>建具符号 型式 AN2 片引き窓、嵌め殺し窓付</p> <p>箇所数 取付箇所 1 2階 展示コーナー(会議・休憩室)</p> <p>工事内容 シール打ち替え、一部改修(方立新設、開閉防止金具、ガラス撤去・新設)</p> <p>寸法 改修前 改修後</p> <p>建具材質 特見込 70 アルミ B-2</p> <p>特材質 特形状 特仕上 アルミ B-2</p> <p>容積形状 容積仕上</p> <p>支持金物等 付属金物一式</p> <p>ガラス種類 ガラス厚さ FL 既存: 8/新設: 5</p> <p>錠前種類 施錠機構</p> <p>ガラリ形状 ガラリ寸法</p> <p>召し合せ</p> <p>備考</p>	<p>建具符号 型式 SS1 鋼製重量電動シャッター</p> <p>箇所数 取付箇所 1 2階 女子便所</p> <p>工事内容 撤去・新設</p> <p>寸法</p> <p>建具材質 特見込 4,000 OP</p> <p>特材質 特形状 特仕上 S F DP</p> <p>容積形状 容積仕上</p> <p>支持金物等 スラット: スチールt1.6 レール: ステンレス</p> <p>ガラス種類 ガラス厚さ</p> <p>錠前種類 施錠機構</p> <p>ガラリ形状 ガラリ寸法</p> <p>召し合せ</p> <p>備考 送水口、押紐スイッチ シャッターBOX、電動装置、水圧開放装置、危険防止装置</p>						
<p>建具符号 型式 WD1 戸換</p> <p>箇所数 取付箇所 1 1階 仮眠室</p> <p>工事内容 新設</p> <p>寸法</p> <p>建具材質 特見込 33 事務室側: 木製 仮眠室側: L-1紙</p> <p>特材質 特形状 特仕上 木製 UC(事務室側1面 EP-G)</p> <p>容積形状 容積仕上</p> <p>支持金物等 戸車、7&amp;3製770tレール、引手</p> <p>ガラス種類 ガラス厚さ</p> <p>錠前種類 施錠機構</p> <p>ガラリ形状 ガラリ寸法</p> <p>召し合せ</p> <p>備考</p>	<p>建具符号 型式 WD4 片開きフラッシュ扉</p> <p>箇所数 取付箇所 1 1階 仮眠室</p> <p>工事内容 新設</p> <p>寸法</p> <p>建具材質 特見込 180 給湯室側: 木製 仮眠室側: L-1紙</p> <p>特材質 特形状 特仕上 木製 湯沸室側: EP-G 仮眠室側: UC</p> <p>容積形状 容積仕上</p> <p>支持金物等 H、LH、DC、付属金物一式</p> <p>ガラス種類 ガラス厚さ</p> <p>錠前種類 施錠機構</p> <p>ガラリ形状 ガラリ寸法</p> <p>召し合せ</p> <p>備考 縦枠、上枠180x40: UC塗装</p>	<p>建具符号 型式 F1 換</p> <p>箇所数 取付箇所 1 1階 仮眠室挿入</p> <p>工事内容 新設</p> <p>寸法</p> <p>建具材質 特見込 18 表: L-1紙 裏: 裏化粧紙</p> <p>特材質 特形状 特仕上 木製 桑目はしき</p> <p>容積形状 容積仕上</p> <p>支持金物等 引手、樹脂錠器</p> <p>ガラス種類 ガラス厚さ</p> <p>錠前種類 施錠機構</p> <p>ガラリ形状 ガラリ寸法</p> <p>召し合せ</p> <p>備考</p>	<p>建具符号 型式 LSD1 片開きフラッシュ扉</p> <p>箇所数 取付箇所 2 2階 男子・女子便所</p> <p>工事内容 新設</p> <p>寸法</p> <p>建具材質 特見込 125 焼付塗装</p> <p>特材質 特形状 特仕上 LS D 焼付塗装</p> <p>容積形状 容積仕上 A SUS HL</p> <p>支持金物等 H、LH、DC、付属金物一式</p> <p>ガラス種類 ガラス厚さ FG 4</p> <p>錠前種類 施錠機構</p> <p>ガラリ形状 ガラリ寸法</p> <p>召し合せ</p> <p>備考</p>	<p>建具符号 型式 STF1 三方枠</p> <p>箇所数 取付箇所 1 2階 湯沸</p> <p>工事内容 新設</p> <p>寸法</p> <p>建具材質 特見込 125 焼付塗装</p> <p>特材質 特形状 特仕上 SUS F 焼付塗装</p> <p>容積形状 容積仕上 SUS HL</p> <p>支持金物等</p> <p>ガラス種類 ガラス厚さ</p> <p>錠前種類 施錠機構</p> <p>ガラリ形状 ガラリ寸法</p> <p>召し合せ</p> <p>備考</p>	<p>建具符号 型式 TB1 トイレブース</p> <p>箇所数 取付箇所 1 2階 女子便所</p> <p>工事内容 新設</p> <p>寸法</p> <p>建具材質 特見込 40 メラミン樹脂化粧板</p> <p>特材質 特形状 特仕上 AL SUS HL</p> <p>容積形状 容積仕上 AL</p> <p>支持金物等 床レール、壁面レール、ヒンジ、ロック、付属金物一式</p> <p>ガラス種類 ガラス厚さ</p> <p>錠前種類 施錠機構</p> <p>ガラリ形状 ガラリ寸法</p> <p>召し合せ</p> <p>備考 SUS中木、AL笠木 非常時外開き仕様</p>	<p>建具符号 型式 TB2 トイレブース</p> <p>箇所数 取付箇所 1 2階 男子便所</p> <p>工事内容 新設</p> <p>寸法</p> <p>建具材質 特見込 40 メラミン樹脂化粧板</p> <p>特材質 特形状 特仕上 AL SUS HL</p> <p>容積形状 容積仕上 AL</p> <p>支持金物等 床レール、壁面レール、ヒンジ、ロック、付属金物一式</p> <p>ガラス種類 ガラス厚さ</p> <p>錠前種類 施錠機構</p> <p>ガラリ形状 ガラリ寸法</p> <p>召し合せ</p> <p>備考 SUS中木、AL笠木 非常時外開き仕様</p>	<p>建具符号 型式 TB3 トイレブース</p> <p>箇所数 取付箇所 1 2階 男子便所</p> <p>工事内容 新設</p> <p>寸法</p> <p>建具材質 特見込 40 メラミン樹脂化粧板</p> <p>特材質 特形状 特仕上 AL SUS HL</p> <p>容積形状 容積仕上 AL</p> <p>支持金物等 床レール、壁面レール、ヒンジ、ロック、付属金物一式</p> <p>ガラス種類 ガラス厚さ</p> <p>錠前種類 施錠機構</p> <p>ガラリ形状 ガラリ寸法</p> <p>召し合せ</p> <p>備考 SUS中木、AL笠木</p>	<p>建具符号 型式 SP1 スチールパーティション</p> <p>箇所数 取付箇所 1 2階 小会議室</p> <p>工事内容 新設</p> <p>寸法</p> <p>建具材質 特見込 70 焼付塗装</p> <p>特材質 特形状 特仕上 S SUS HL</p> <p>容積形状 容積仕上 A SUS HL</p> <p>支持金物等 H、DC、DS、LH、付属金物一式</p> <p>ガラス種類 ガラス厚さ FG 4</p> <p>錠前種類 施錠機構</p> <p>ガラリ形状 ガラリ寸法</p> <p>召し合せ</p> <p>備考</p>
<p>建具符号 型式 AN3 片引き窓、嵌め殺し窓付</p> <p>箇所数 取付箇所 1 1階 資料事務所</p> <p>工事内容 室内側シール打ち替え</p> <p>寸法</p> <p>建具符号 型式 AN4 片引き窓、嵌め殺し窓付</p> <p>箇所数 取付箇所 1 1階 資料事務所</p> <p>工事内容 窓閉塞(本管材料室側) アルミパネルt3(2500x900)の上、化粧シート ※ガラス清掃不要</p> <p>寸法</p> <p>建具符号 型式 AN5 ジャロジー窓</p> <p>箇所数 取付箇所 2 1階 湯沸室、便所</p> <p>工事内容 室内側シール打ち替え</p> <p>寸法</p> <p>建具符号 型式 AN6 縦軸回転窓</p> <p>箇所数 取付箇所 2 1階 災害対策用材室</p> <p>工事内容 室内側シール打ち替え</p> <p>寸法</p> <p>建具符号 型式 AN7 片引き窓、嵌め殺し窓付</p> <p>箇所数 取付箇所 2 2階 展示コーナー(会議・休憩室、小会議室)</p> <p>工事内容 室内側シール打ち替え、開閉防止金具新設</p> <p>寸法</p> <p>建具符号 型式 AN8 片引き窓、嵌め殺し窓付</p> <p>箇所数 取付箇所 1 2階 展示コーナー(小会議室)</p> <p>工事内容 室内側シール打ち替え、開閉防止金具新設</p> <p>寸法</p> <p>建具符号 型式 AN9 嵌め殺し窓</p> <p>箇所数 取付箇所 1 2階 便所</p> <p>工事内容 室内側シール打ち替え</p> <p>寸法</p> <p>建具符号 型式 AN10 縦軸回転窓</p> <p>箇所数 取付箇所 1 2階 便所</p> <p>工事内容 室内側シール打ち替え</p> <p>寸法</p> <p>建具符号 型式 AN11 片引き窓、嵌め殺し窓付</p> <p>箇所数 取付箇所 1 2階 資料室(資料室)</p> <p>工事内容 室内側シール打ち替え</p> <p>寸法</p>								
<p>建具符号 型式 SD1 両開き窓、嵌め殺し窓ランマ付き付</p> <p>箇所数 取付箇所 1 1階 玄関</p> <p>工事内容 室内側シール打ち替え サイン撤去(カッティングシート 60x60 25文字) サイン【撤去】</p> <p>寸法</p> <p>建具符号 型式 SD2 嵌め殺し窓</p> <p>箇所数 取付箇所 1 1階 玄関</p> <p>工事内容 室内側シール打ち替え</p> <p>寸法</p> <p>建具符号 型式 SD3 鋼製片開き開きフラッシュ扉</p> <p>箇所数 取付箇所 1 1階 便所</p> <p>工事内容 SOP塗替え(枠とも)</p> <p>寸法</p> <p>建具符号 型式 SD4 鋼製片開き開きフラッシュ扉、ガラリ付</p> <p>箇所数 取付箇所 1 1階 廊下</p> <p>工事内容 SOP塗替え(枠とも)</p> <p>寸法</p> <p>建具符号 型式 SD5 鋼製片開き開きフラッシュ扉、ガラリ付</p> <p>箇所数 取付箇所 1 1階 本管材料室</p> <p>工事内容 SOP塗替え(枠とも)</p> <p>寸法</p> <p>建具符号 型式 SD6 鋼製片開き開きフラッシュ扉</p> <p>箇所数 取付箇所 1 1階 資料事務所</p> <p>工事内容 SOP塗替え(枠とも)</p> <p>寸法</p> <p>建具符号 型式 SD7 両開きフラッシュ扉</p> <p>箇所数 取付箇所 2 2階 廊下</p> <p>工事内容 SOP塗替え(枠とも)</p> <p>寸法</p> <p>建具符号 型式 SD8 縦子開きフラッシュ扉</p> <p>箇所数 取付箇所 1 1階 資料事務所</p> <p>工事内容 EP-G塗替え(枠はSOP塗替え)</p> <p>寸法</p> <p>建具符号 型式 SD9 両開きフラッシュ扉</p> <p>箇所数 取付箇所 1 2階 会議室</p> <p>工事内容 EP-G塗替え(枠はSOP塗替え)</p> <p>寸法</p>								
<p>建具符号 型式 SD10 片開きフラッシュ扉、ガラリ付</p> <p>箇所数 取付箇所 1 2階 便所</p> <p>工事内容 撤去</p> <p>寸法</p> <p>建具符号 型式 SD11 片開きフラッシュ扉</p> <p>箇所数 取付箇所 1 1階 湯沸室</p> <p>工事内容 撤去</p> <p>寸法</p> <p>建具符号 型式 SD12 三方枠</p> <p>箇所数 取付箇所 1 2階 湯沸室</p> <p>工事内容 撤去</p> <p>寸法</p> <p>建具符号 型式 SD13 トイレブース</p> <p>箇所数 取付箇所 1 2階 男子・女子便所</p> <p>工事内容 撤去</p> <p>寸法</p> <p>建具符号 型式 SD14 トイレブース</p> <p>箇所数 取付箇所 1 2階 男子・女子便所</p> <p>工事内容 撤去</p> <p>寸法</p> <p>建具符号 型式 SD15 トイレブース</p> <p>箇所数 取付箇所 1 2階 男子・女子便所</p> <p>工事内容 撤去</p> <p>寸法</p> <p>建具符号 型式 SD16 トイレブース</p> <p>箇所数 取付箇所 1 1階 便所</p> <p>工事内容 撤去</p> <p>寸法</p>								
<p>特記事項・建具共通事項は新庁舎の図面を参照のこと</p> <p>・特記無き限り、塗装は下地調整の上、塗装のこと。</p> <p>・特記無き限り、改修建具は全て室内側ガラス清掃を行うこと。</p>	<p>株式会社 株式会社 株式会社</p> <p>一級建築士事務所 広島県知事登録 25(1)第3394号</p> <p>管理建築士 一級建築士(大臣) 第335100号 山本 一</p> <p>〒730-0192 広島県広島市南区 本町1丁目1番1号</p> <p>TEL: 082-251-1111 FAX: 082-251-1112</p> <p>www.kaneko.co.jp</p>	<p>製作年月日 2025年 8月</p> <p>工事名称 (仮称)上下水道庁舎建設工事</p> <p>図面名称 資料管理棟 建具表</p> <p>縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200</p> <p>図番 RA-12</p>	<p>当切・変更・完成</p>					



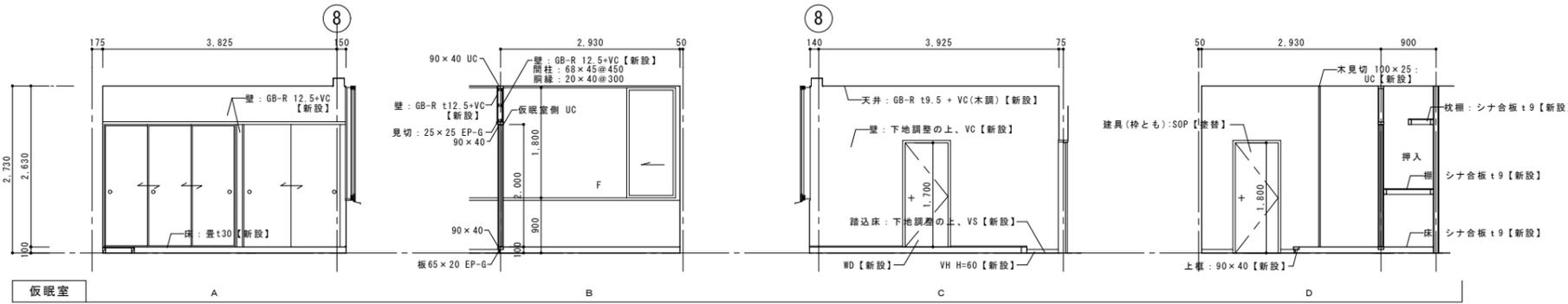
天井: ネオパルススキンt5を処分する場合はアスベスト含有材として処分すること。



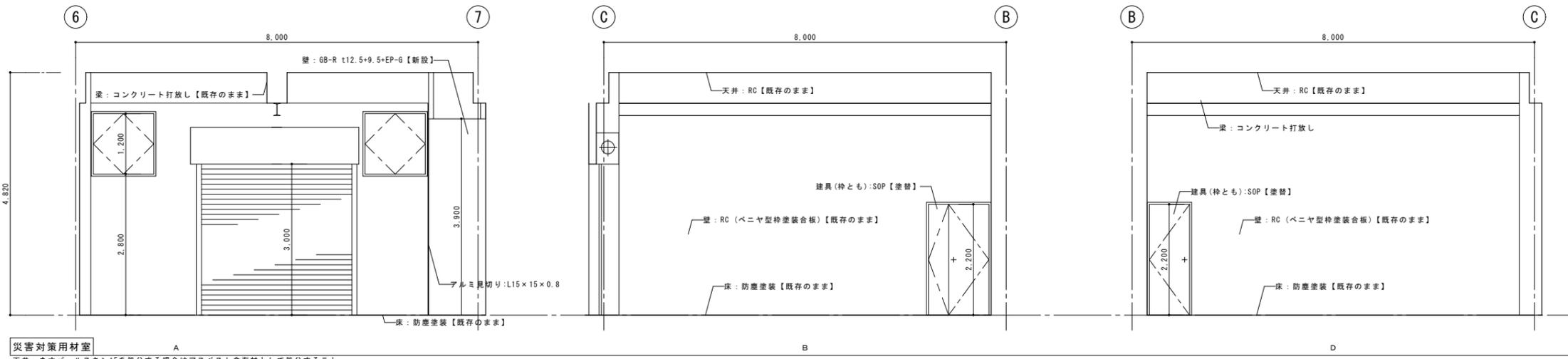
※ F: 嵌め殺し窓を示す。  
 ※ 特記無き限りSD, WDは既存のまま、AWは内部側のシーリング撤去



資材事務所

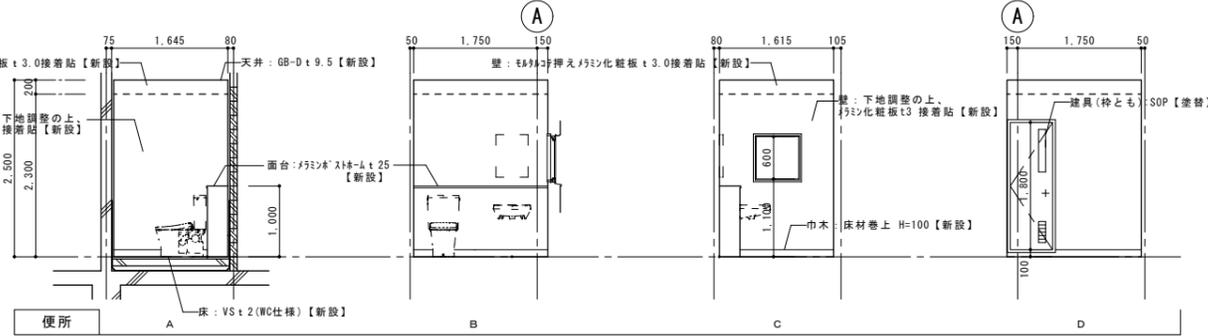


仮眠室

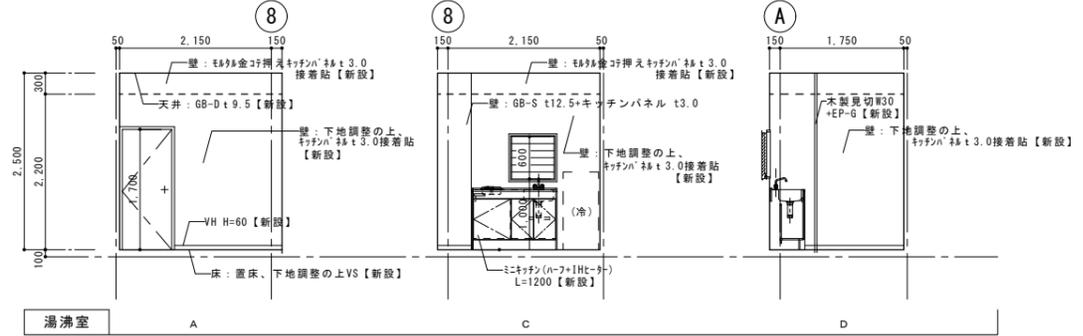


災害対策用材室

天井: ネオバールスキンt5を貼付する場合はアスベスト含有材として処分すること。

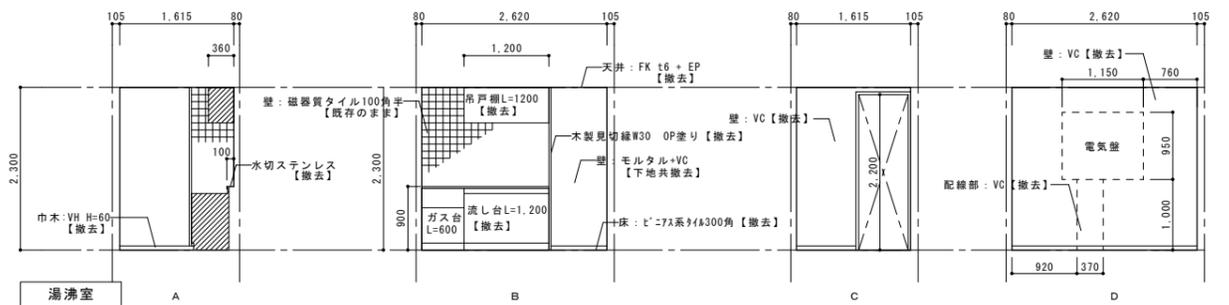
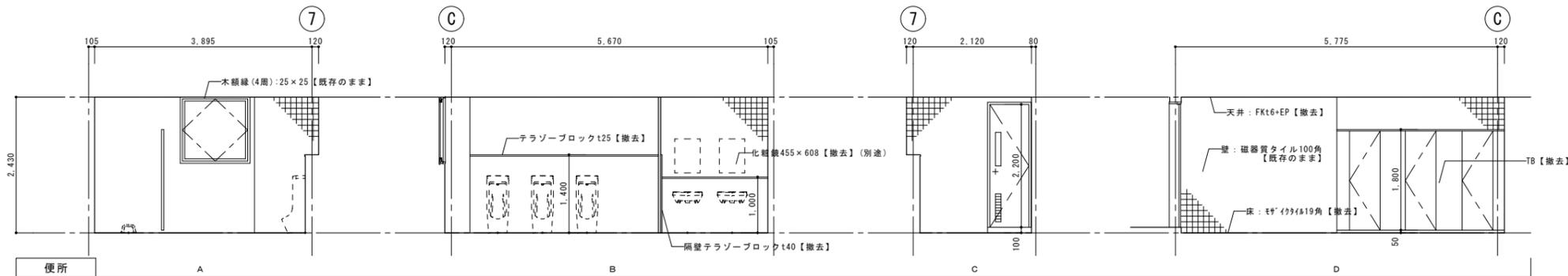
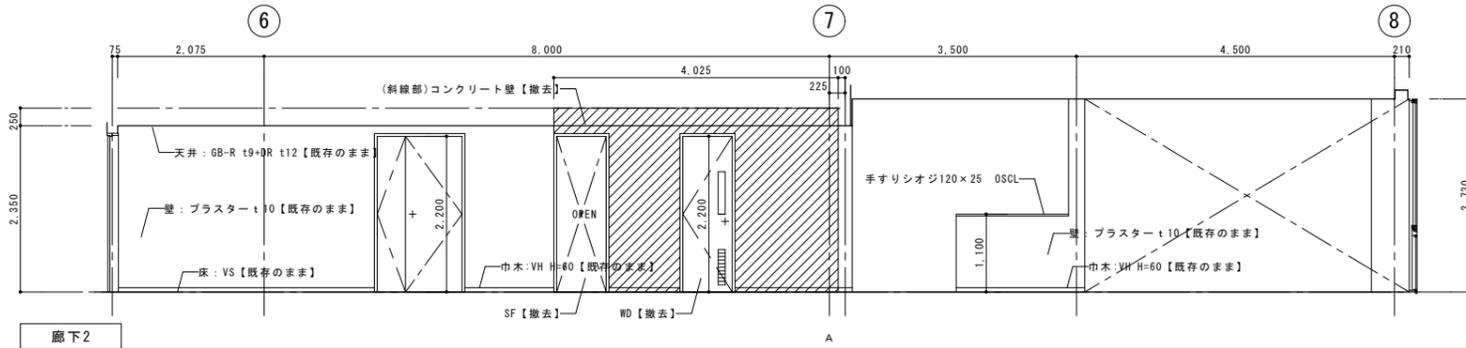
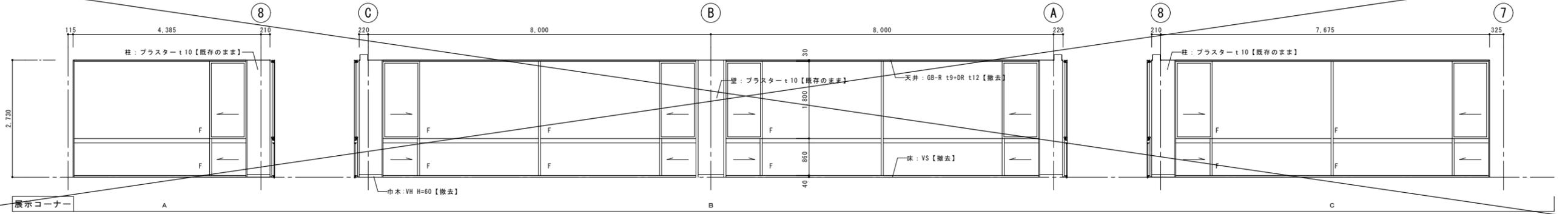


便所

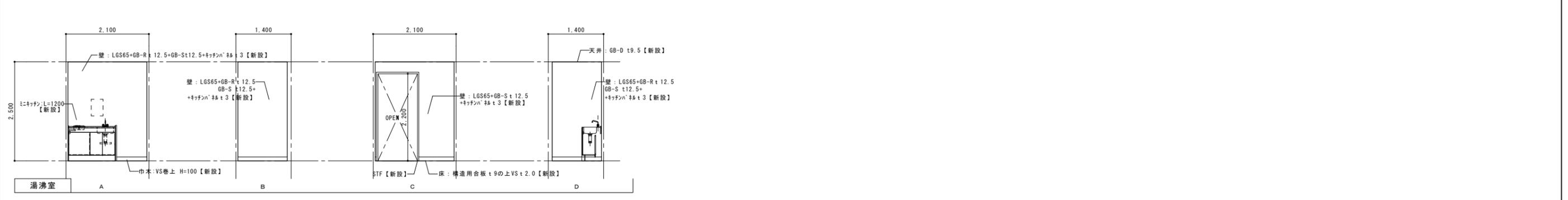
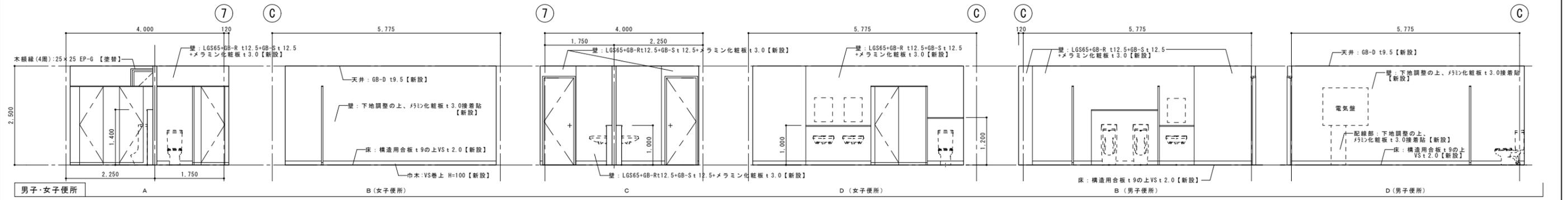
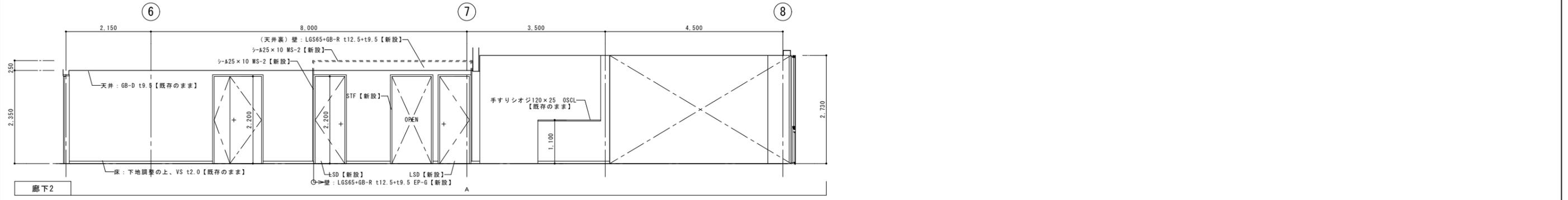
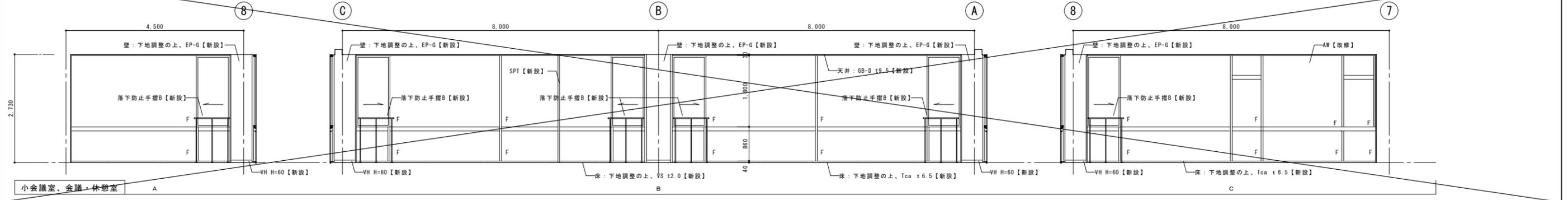


湯沸室

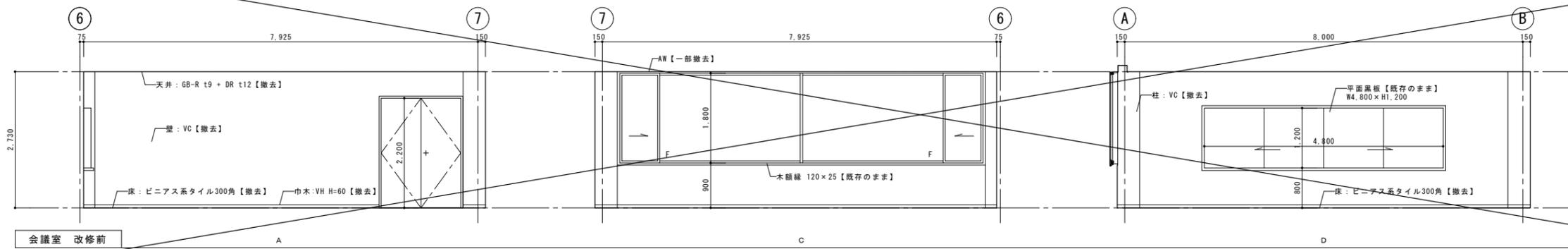
※ F: 嵌め殺し窓を示す。  
 ※ 特記無き限りSD, WDは差替え、AWは内部側をシーリング新設、クリーニングのこと



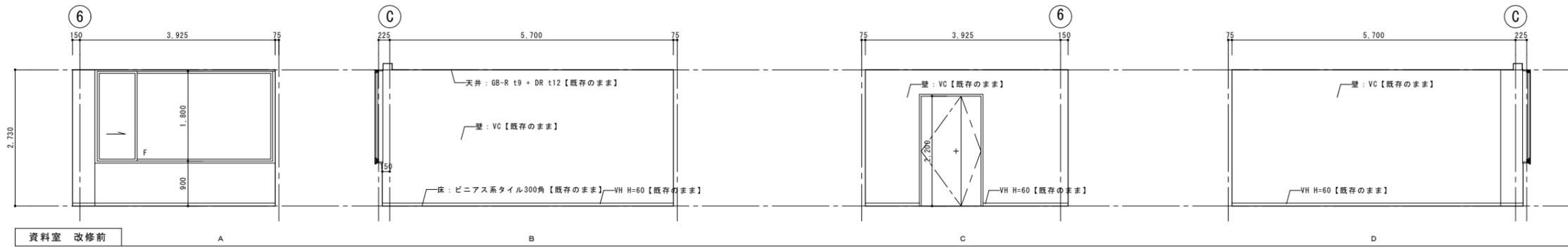
※ F: 嵌め殺し窓を示す。  
 ※ 特記無き限りSD, WDは既存のまま、AWは内部側のシーリング撤去



※ F: 仮め殺し窓を示す。  
 ※ 特記無き限りSD, WDは兼替え、AWは内部側をシーリング新設、クリーニングのこと

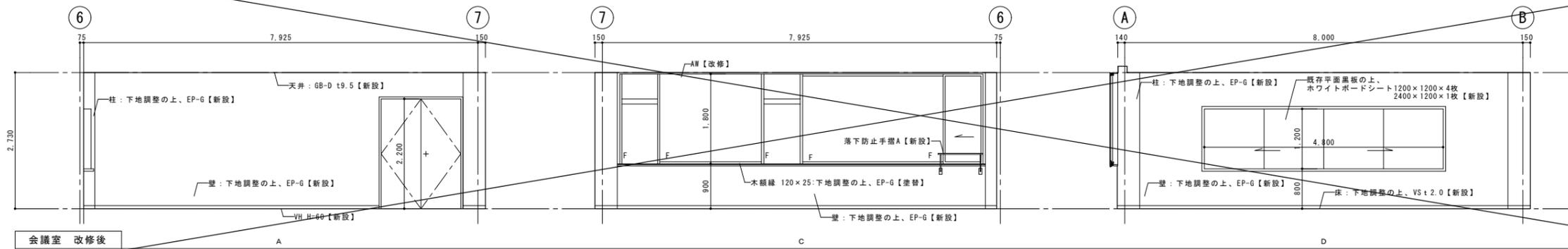


会議室 改修前

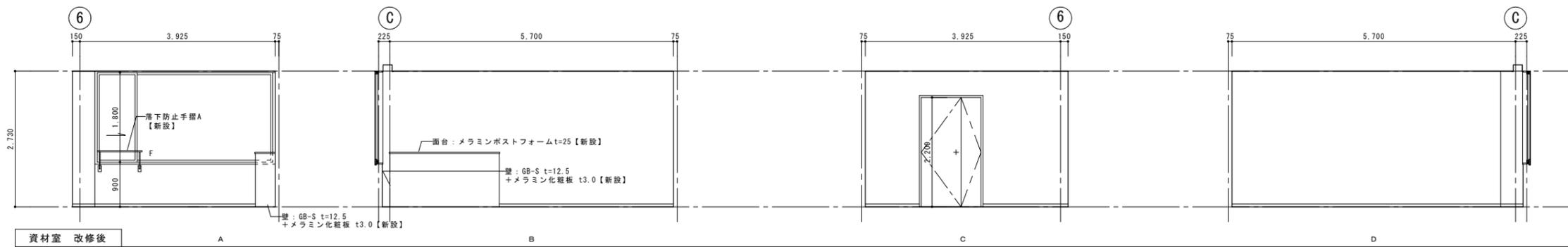


資料室 改修前

※ F: 嵌め殺し窓を示す。

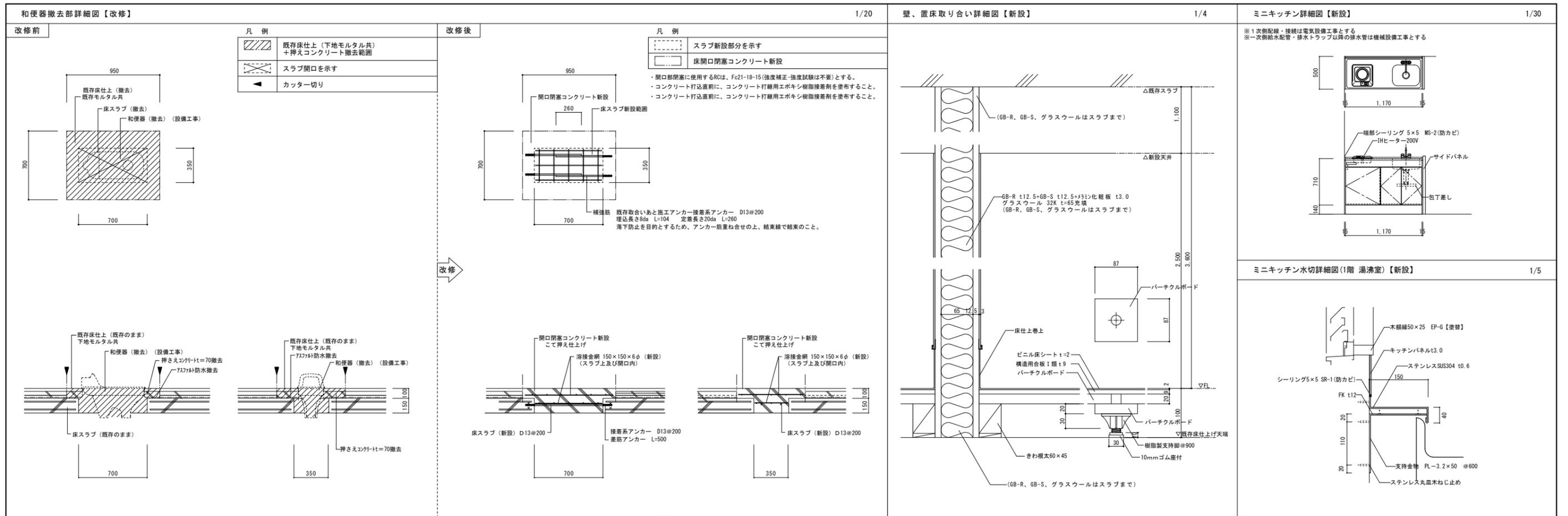


会議室 改修後



資料室 改修後

※ F: 嵌め殺し窓を示す。

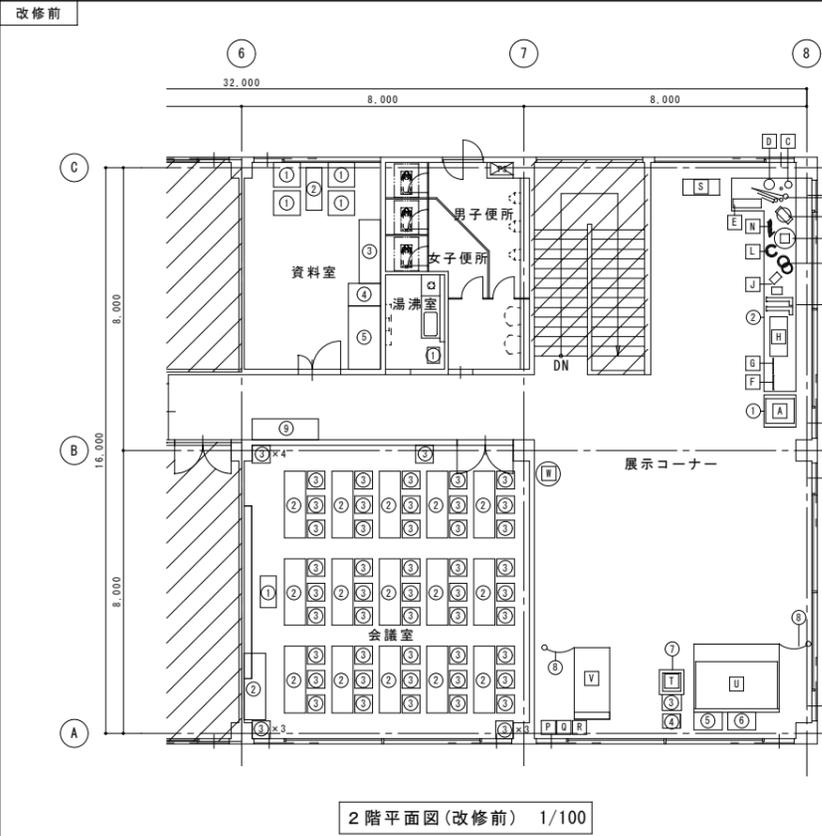




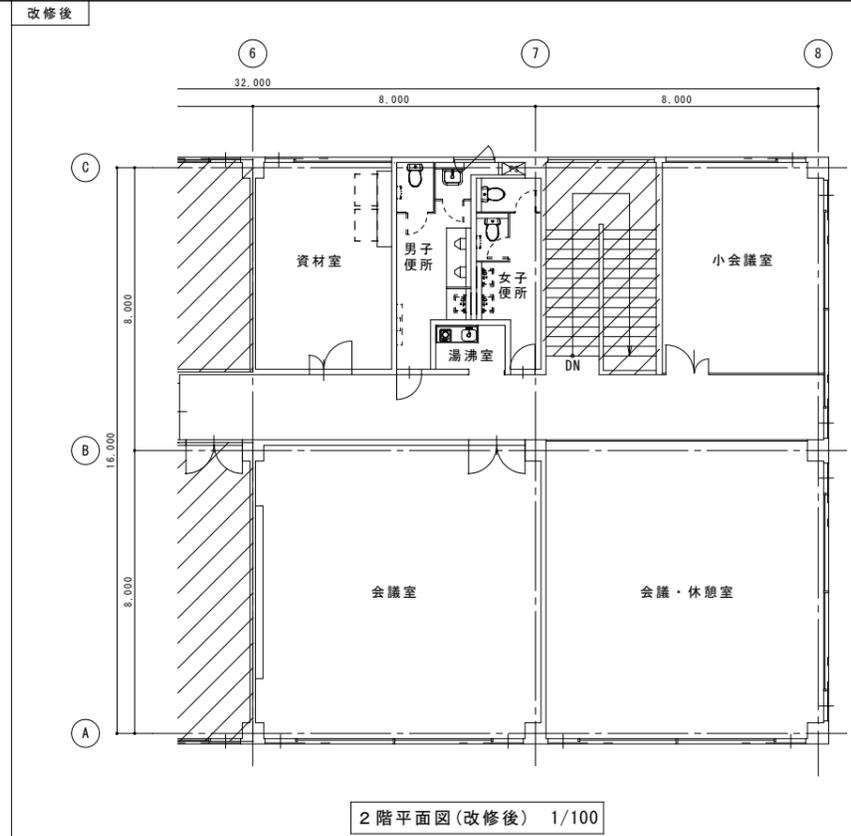
※家具、展示品の撤去・処分については、監督員に最終確認を行うこと。

家具リスト (特記無き限り撤去・処分)										
階	室名	No.	品名	材質	サイズ			数	重量 (kg)	備考
					W	D	H			
1	資料事務所	①	棚	鋼製	880	430	880	3	20	
		②	棚	鋼製	390	620	1,340	1	30	
		③	椅子	鉄製	570	570	870	1	15	
		④	机	鋼製	900	640	740	1	25	
		⑤	棚	木製	340	300	700	1		
		⑥	棚	木製	400	300	500	1		
		⑦	机	木製	1,100	550	520	1		
		⑧	ソファ	布製	1,700	900	900	1		
		⑨	ソファ	布製	900	800	900	1		
		⑩	ソファ	布製	750	700	750	2		
		⑪	ロッカー	鋼製	900	530	900	1	40	
		⑫	棚	鋼製	450	400	450	1	15	
湯沸室	①	食器棚	木製	880	330	1,800	1		仮撤去・復旧	
	②	棚	鋼製	1,260	450	900	1	30		
物置	①	棚	鋼製	1,050	650	1,050	1	30		
	②	棚	鋼製	600	300	650	1	15		
災害対策用材室	①	棚	鋼製	2,850	1,100	2,370	4	70		
	②	棚	木製	2,600	1,100	1,800	1			
	③	ロッカー	鋼製	880	380	1,800	1	40		
玄関	①	机	木製	1,800	600	700	1			
	②	机	鋼製	1,800	450	750	1	20		
2 展示室	①	台	木製	910	910	110	1		1階 玄関へ移設	
	②	台	木製	910	910	600	1			
	③	机	鋼製	540	450	680	1	15		
	④	椅子	布製	500	400	730	1			
	⑤	棚	木製	800	500	1,000	1			
	⑥	棚	木製	800	500	1,100	1			
	⑦	台	木製	700	700	760	1			
	⑧	ポール	鋼製	360φ	H150	35φ	H900	2	5	
	⑨	机	木製	1,880	600	700	1			
会議室	①	教台	木製	900	450	1,050	1			
	②	机	木製	1,880	600	700	16			
	③	椅子	木製	500	500	750	56			
湯沸室	①	食器棚	木製	450	335	700	1			
	②	ソファ	布製	1,200	450	430	1			
資料室	①	机	鋼製	750	700	750	4	15		
	②	机	鋼製	1,800	600	700	1	30		
	③	机	布製	900	630	700	1	25		
1 災害対策用材室	①	棚	鋼製	1,450	570	2,100	1		(水道サービスセンター)メーター置場から移設	
	②	棚	鋼製	3,050	570	2,100	1			

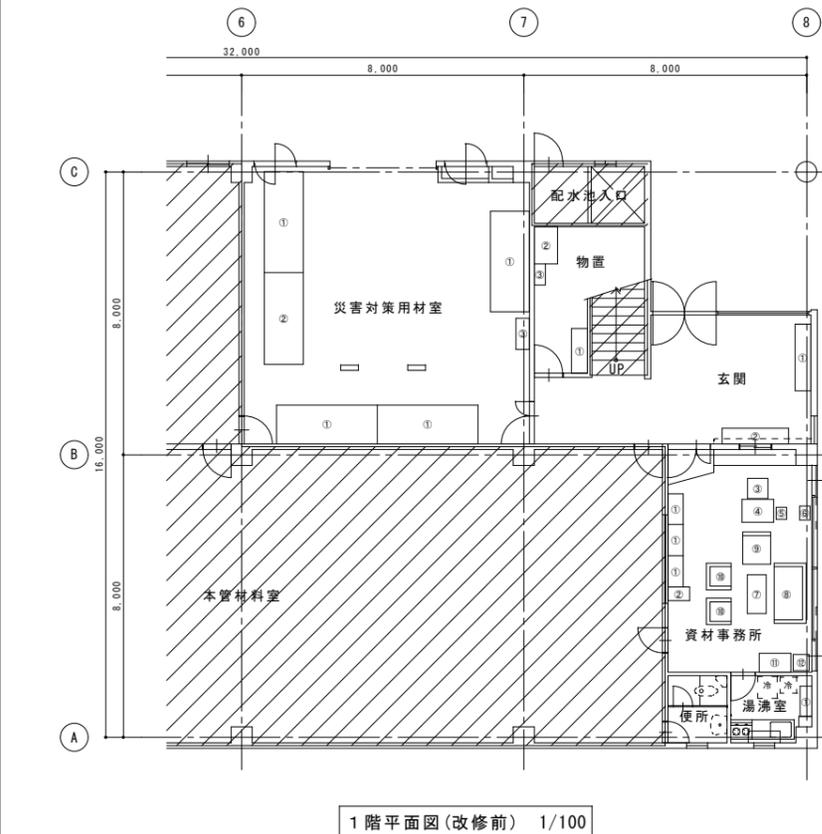
展示品リスト (特記無き限り撤去・処分)										
階	室名	No.	品名	材質	サイズ			数	重量 (kg)	備考
					W	D	H			
2	展示室	A	ベンチュリーメーター	鉄製	800	700	2,120	1		1階 玄関へ移設
		B	展示品	鉛製	1,000	100	10	4		仮撤去・復旧
		C	展示品	鉄製	270φ		160	1		仮撤去・復旧
		D	展示品	鉄製	300φ		370	1		仮撤去・復旧
		E	インゴット	鉛製	800	250	90	1		仮撤去・復旧
		F	展示品	木製	388	20	388	1		仮撤去・復旧
		G	展示品	真鍮製	450	20	370	1		仮撤去・復旧
		H	石碑	石製	1,120	490	100	1		仮撤去・復旧
		I	展示品	真鍮製	100	750	100	2		仮撤去・復旧
		J	消火栓	鉄製	200	300	450	2		仮撤去・復旧
		K	展示品	布製	L=1,000		50φ	1		仮撤去・復旧
		L	展示品	布製	L=1,000		50φ	1		仮撤去・復旧
		M	展示品	鉛製	250	300	250	1		仮撤去・復旧
		N	展示品	鉄製	25	150	25	9		仮撤去・復旧
		O	展示品	鉄製	400	500	200	1		仮撤去・復旧
		P	ポスター	樹脂製	600	850	10	13		
		Q	ポスター	樹脂製	900	600	10	1		
R	ポスター	樹脂製	1,200	900	10	1				
S	模型	鉄製	1,040	450	1,300	1	30			
T	展示品	木製	510	510	910	1				
U	展示品	木製	1,000	2,030	750	1				
V	展示品	木製	1,000	200	1,800	1				
V	展示品	木製	2,410	1,830	910	1				
V	展示品	木製	2,410	100	1,800	1				
W	サイン	木製	350φ		1,900	1				



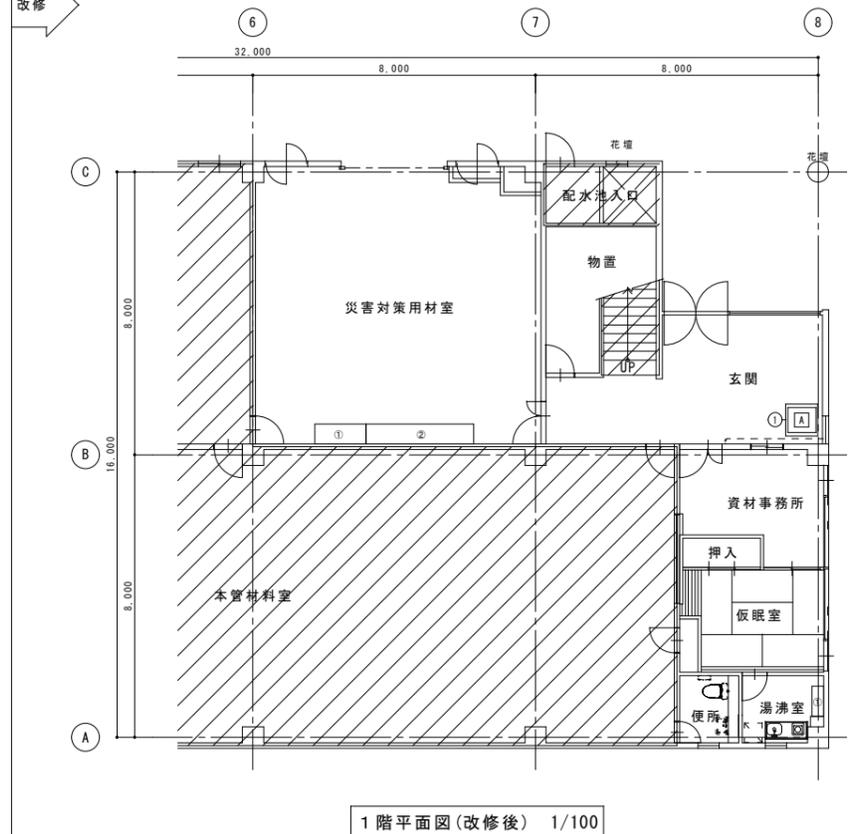
2階平面図(改修前) 1/100



2階平面図(改修後) 1/100



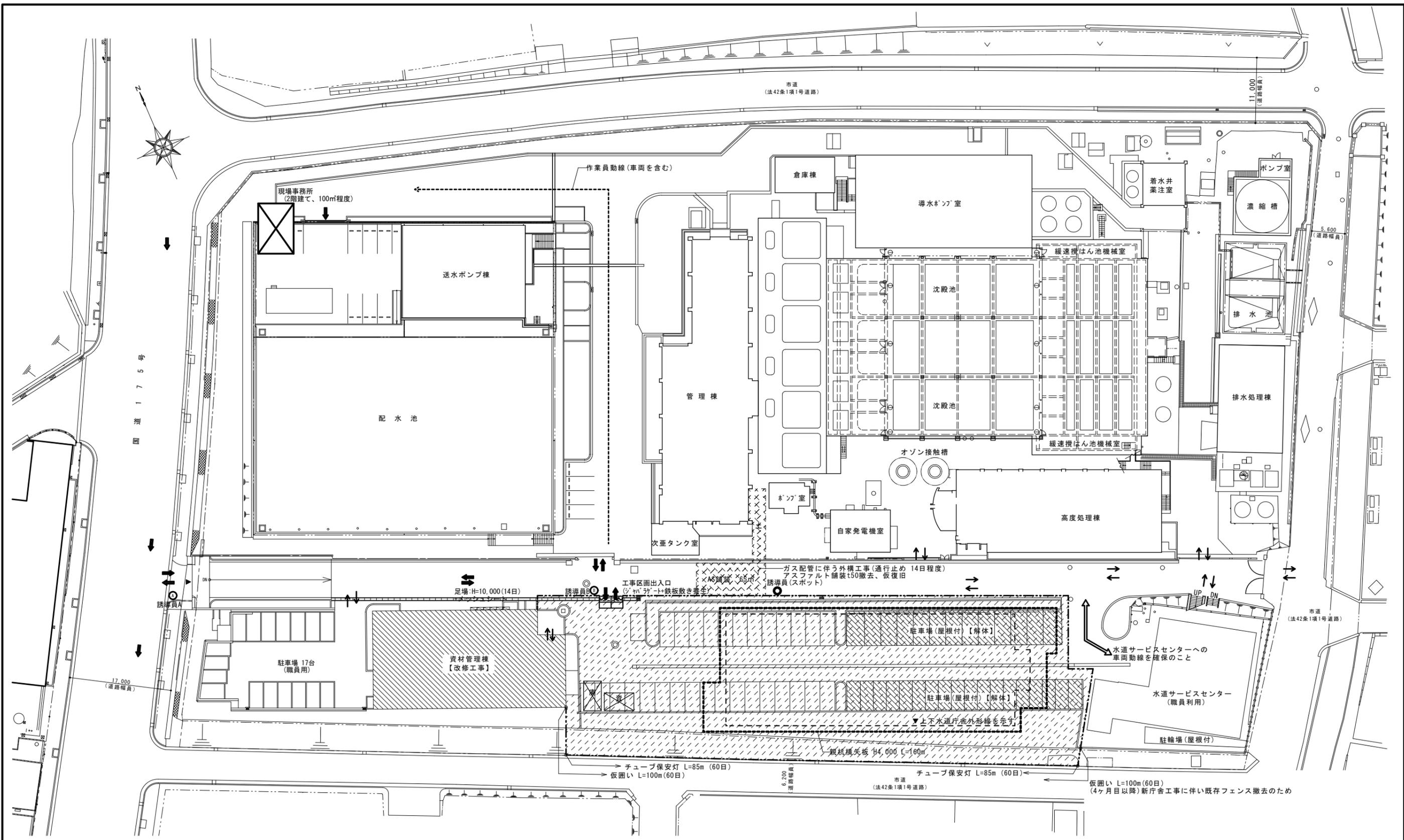
1階平面図(改修前) 1/100



1階平面図(改修後) 1/100

凡例 (改修前)  
 ○ 備品を示す。(備品リスト参照)  
 □ 展示品を示す。(展示品リスト参照)  
 ▨ 改修範囲外を示す

凡例 (改修後)  
 ○ 備品を示す。(備品リスト参照)  
 □ 展示品を示す。(展示品リスト参照)  
 ▨ 改修範囲外を示す



**注記**

- ・本図記載の仮設計画は参考とし、事前に詳細な調査・検討を十分に行い安全な施工計画とすること。
- ・図示しないもの等、その他足場は適宜設置のこと。
- ・工事期間中も市職員等による施設の使用及び点検車等の入退場を想定している。
- ・各門と各通路の通行制限期間及び通行止め期間については、必要最小限の期間とし、工事エリアと職員等使用エリアの分離等安全面に配慮した仮設計画を核とし、監督員及び各関係者の承諾を得ること。
- ・掘削機としてラフタークレーンの総使用日数を25t車を85日、16t車を14日間見込むこと。
- ・工事車両駐車スペースは監督員との協議による。
- ・必要に応じて出入口前に鉄板を敷いて養生をすること。
- ・特記無き限り、足場には防音シートを設置のこと。
- ・解体、はつり等の音が出る場合は監督員と協議の上、時間帯の調整を行うこと。
- ・特定建設作業（杭打機など）は敷地境界線において騒音85dB以下、振動75dB以下（騒音・振動規制法）とすること。
- ・解体工事時は散水を十分に行い、粉塵等が飛散しないように十分注意すること。
- ・工事開始前後に近隣建物の写真撮影を行い、報告書を作成すること。範囲は監督員と協議すること。（損害発生時の負担：請負者）
- ・工事中の既設破損等は工事終了後責任を持って現状復帰すること。
- ・工事完了後、周囲・道路部分の清掃を含む現状復帰や周囲 側溝・会所併の清掃を行うこと。
- ・雨水等の排水用水中ポンプ（口径50mm、揚程10m、ホース5m）4台を90日間見込むこと。

**凡例**

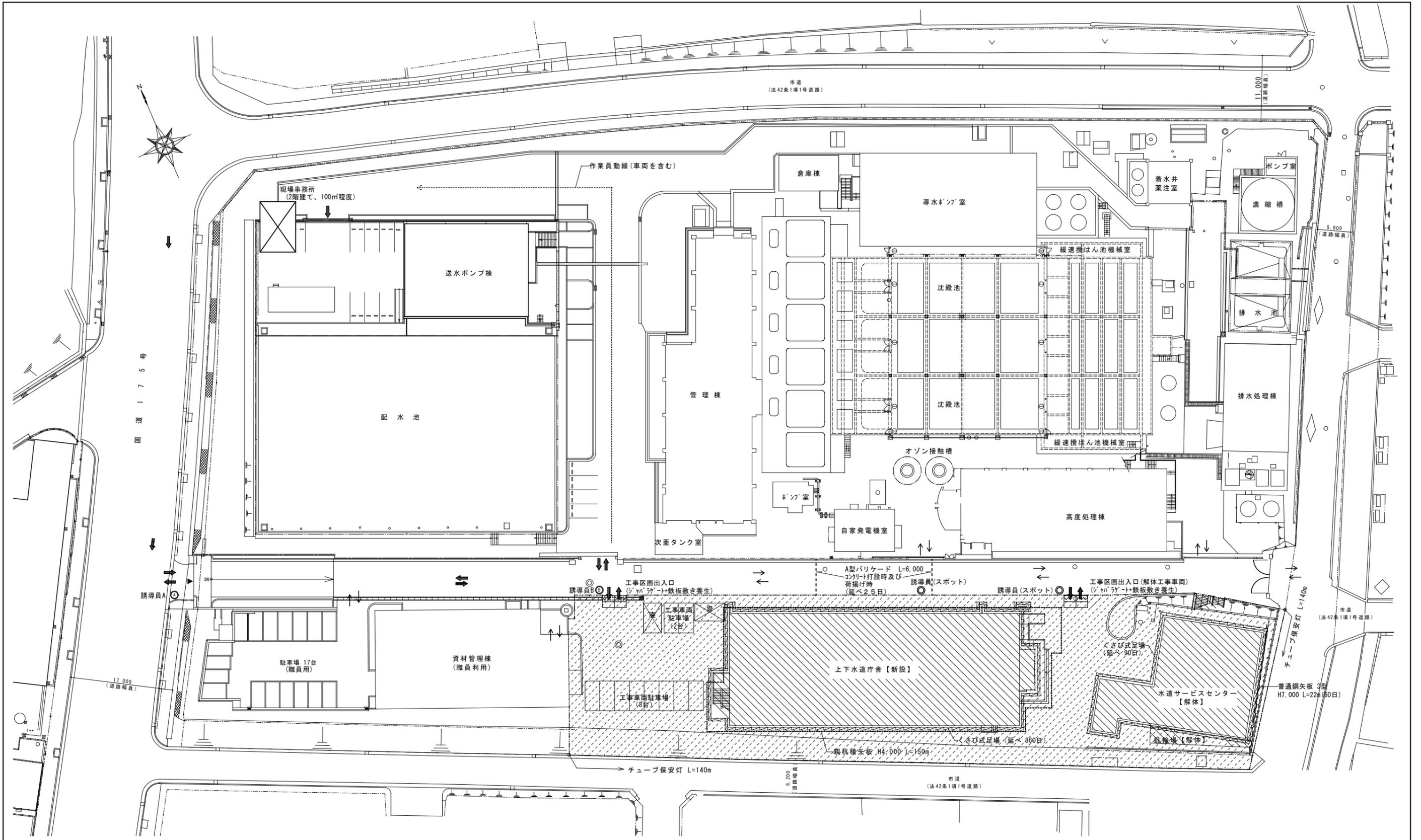
	工事対象建築物を示す。		ジャバラシートゲート W4,000・H4,500		交通誘導員A（常駐）
	外構工事範囲を示す。		仮囲い：成形鋼板 H3,000		交通誘導員B（常駐）
	外構工事範囲（スポット）を示す。		仮囲い出入口：通用口W=800（STEP4）		交通誘導員（スポット）（延べ60日）
	職員動線（車両を含む）		A型バリケード		廃材置場 15㎡程度
	作業員動線（車両を含む）		鉄板敷き養生 8㎡/か所		資材置場 15㎡程度
			くさび式足場 W=900		親杭橋矢板位置 H4,000（延べ150日）（STEP1.2）
					普通鋼矢板 3型 H7,000 L=22m（STEP2）

**STEP 1**

【工期】 1か月目～ 5ヶ月目（計 5ヶ月）

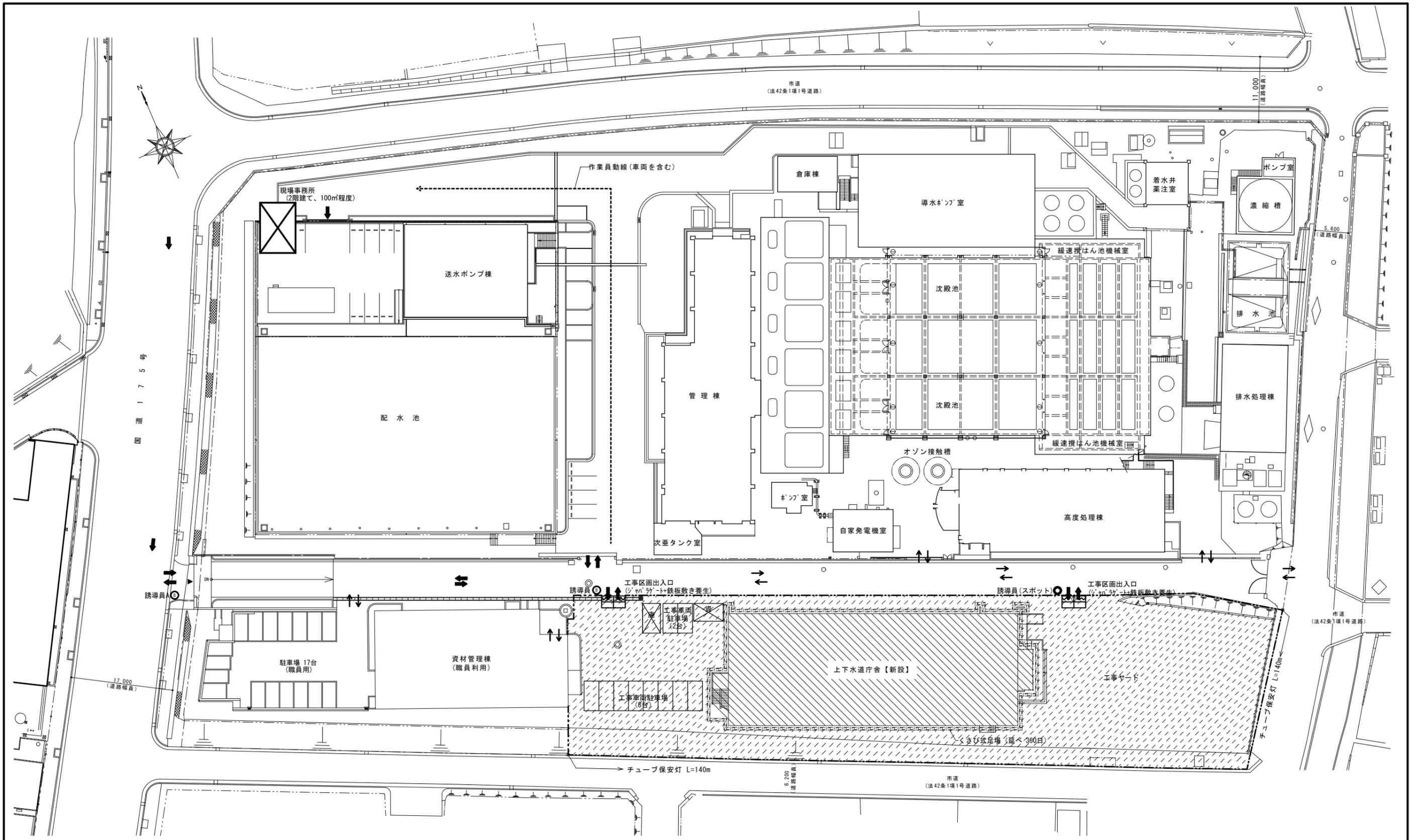
【主な工事】

- ・説明会、準備工事他（1ヶ月）
- ・駐車場：解体（2ヶ月）
- ・上下水道庁舎：新設（2ヶ月）
- ・資材管理棟：改修工事
- ・外構工事（撤去）
- ・仮設工事



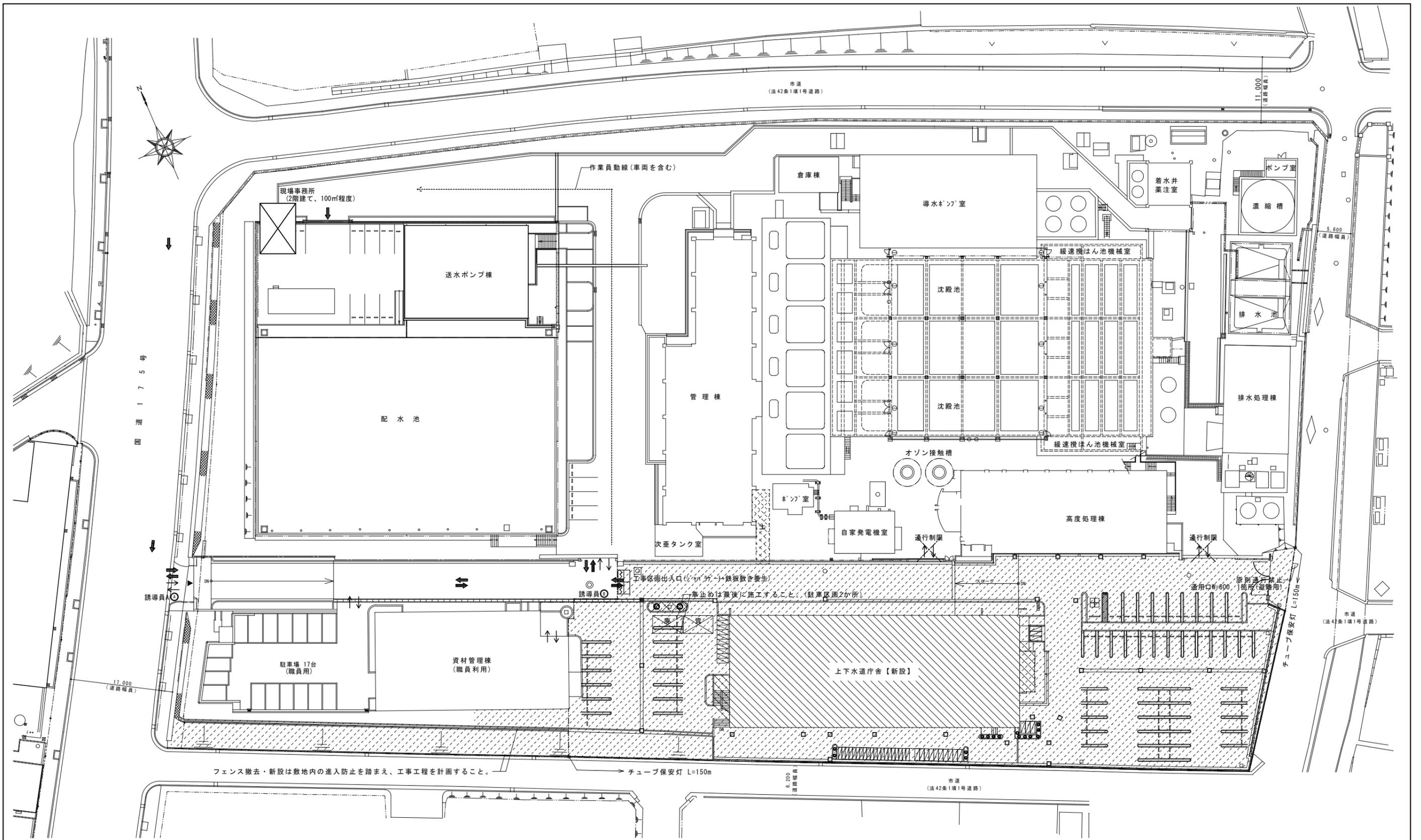
凡例		
	工事対象建物を示す。	ジャバラシートゲート W4,000・H4,500
	外構工事範囲を示す。	仮囲い：成形鋼板 H3,000
	外構工事範囲(スポット)を示す。	仮囲い出入口：通用口W=800 (STEP4)
	職員動線(車両を含む)	A型バリケード
	作業員動線(車両を含む)	鉄板敷き養生 8㎡/か所
		くさび式足場 W=900
		交通誘導員A(常駐)
		交通誘導員B(常駐)
		交通誘導員(スポット) (延べ60日)
		廃材置場 15㎡程度
		資材置場 15㎡程度
		親杭横矢板位置 H4,000 (延べ150日) (STEP1,2)
		普通鋼矢板 3型 H7,000 L=22m (STEP2)

**STEP 2**  
 【工期】 6か月目～12ヶ月目 (計 7ヶ月)  
 【主な工事】  
 ・上下水道庁舎：新設(累計9ヶ月)  
 ・水道サービスセンター：解体(6ヶ月)  
 ・仮設工事  
 ・外構工事(撤去)

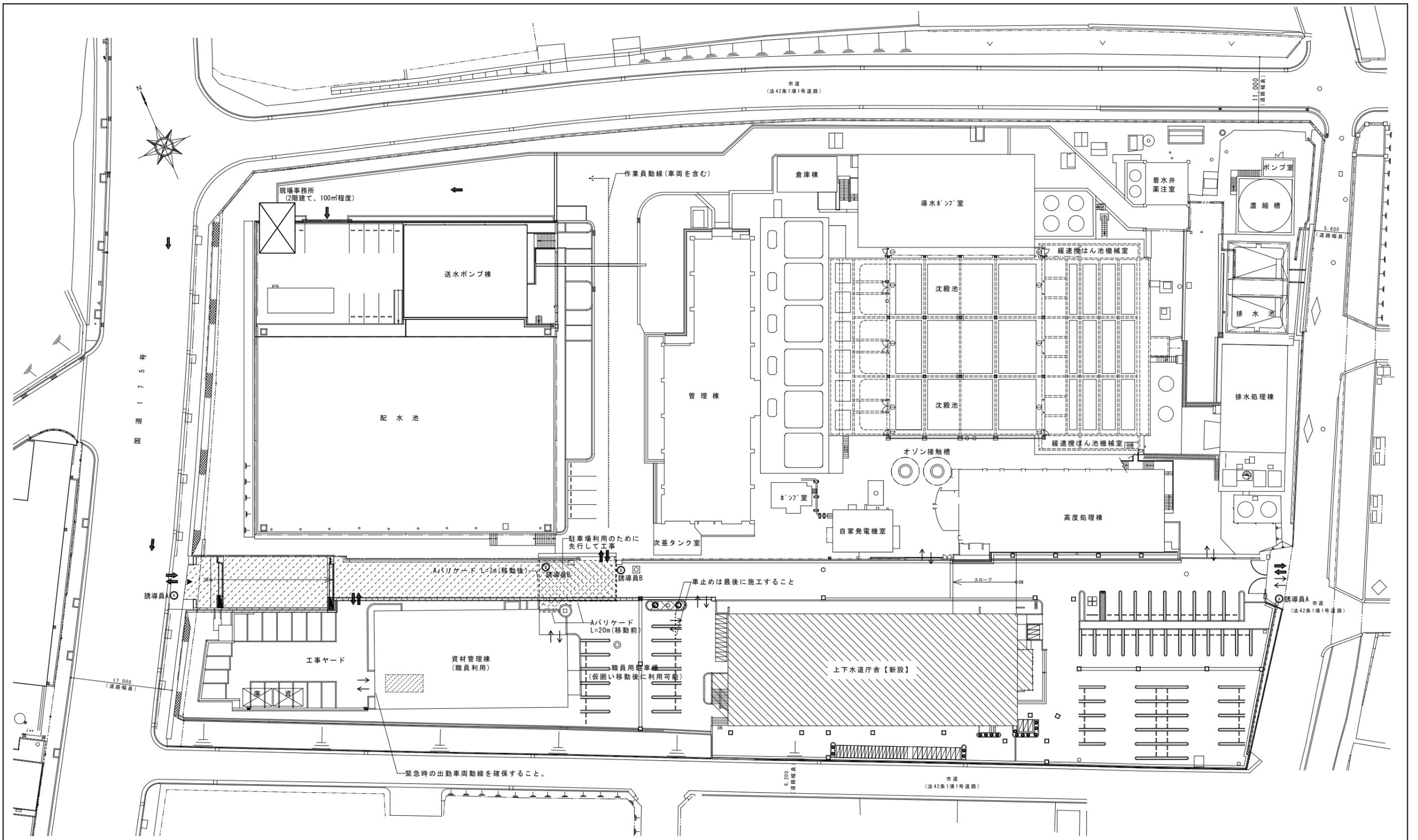


凡例			
	工事対象建物を示す。		ジャバラシートゲート W4,000・H4,500
	外構工事範囲を示す。		仮囲い：成形鋼板 H3,000
	外構工事範囲(スポット)を示す。		仮囲い出入口：通用口W=800 (STEP4)
	職員動線(車両を含む)		A型バリケード
	作業員動線(車両を含む)		鉄板敷き養生 8㎡/か所
			くさび式足場 W=900
			交通誘導員A(常駐)
			交通誘導員B(常駐)
			交通誘導員(スポット) (延べ60日)
			廃材置場 15㎡程度
			資材置場 15㎡程度
			親杭横矢板位置 H4,000 (延べ150日) (STEP1.2)
			普通鋼矢板 3型 H7,000 L=22m (STEP2)

**STEP 3**  
 【工期】13か月目～15か月目(計 3ヶ月)  
 【主な工事】  
 ・上下水道庁舎：新設(累計12ヶ月)  
 ・仮設工事(足場撤去)



凡例		STEP 4	
<ul style="list-style-type: none"> <li>工事対象建物を示す。</li> <li>外構工事範囲を示す。</li> <li>外構工事範囲(スポット)を示す。</li> <li>職員動線(車両を含む)</li> <li>作業員動線(車両を含む)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ジャバラシートゲート W4,000・H4,500</li> <li>仮囲い:成形鋼板 H3,000</li> <li>仮囲い出入口:通用口W=800 (STEP4)</li> <li>A型バリケード</li> <li>鉄板敷き養生 8㎡/か所</li> <li>くさび式足場 W=900</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通誘導員A(常駐)</li> <li>交通誘導員B(常駐)</li> <li>交通誘導員(スポット) (延べ60日)</li> <li>廃材置場 15㎡程度</li> <li>資材置場 15㎡程度</li> <li>親杭横矢板位置 H4,000(延べ150日)(STEP1,2)</li> <li>普通鋼矢板 3型 H7,000 L=22m (STEP2)</li> </ul>	<p><b>STEP 4</b></p> <p>【工期】16か月目～21か月目(計6ヶ月)</p> <p>【主な工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上下水道庁舎:工事完了(累計16ヶ月)</li> <li>→什器搬入(2ヶ月)</li> <li>・外構工事(新設)(6ヶ月)</li> </ul>
特記事項	<p>株式会社 総合設計</p> <p>一級建築士事務所 広島県知事登録 第3394号 管理建築士 一級建築士(大臣) 第335100号 山本 裕一</p> <p>明石市都市局住宅・建築室管轄課</p>		<p>製作年月日 2025年 8月</p> <p>工事名称 (仮称) 上下水道庁舎建設工事</p> <p>図面名称 上下水道庁舎 仮設計画図(ステップ4)(参考)</p> <p>縮尺 A1:1/300 A3:1/600</p> <p>図番 T-04</p> <p>当初・変更・完成</p>



凡例		STEP 5	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>工事対象建物を示す。</p> <p>外構工事範囲を示す。</p> <p>外構工事範囲(スポット)を示す。</p> <p>職員動線(車両を含む)</p> <p>作業員動線(車両を含む)</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>ジャバラシートゲート W4,000・H4,500</p> <p>仮囲い: 成形鋼板 H3,000</p> <p>仮囲い出入口: 通用口W=800 (STEP4)</p> <p>A型バリケード</p> <p>鉄板敷き養生 8㎡/か所</p> <p>くさび式足場 W=900</p> </div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>交通誘導員A(常駐)</p> <p>交通誘導員B(常駐)</p> <p>交通誘導員(スポット) (延べ60日)</p> <p>廃材置場 15㎡程度</p> <p>資材置場 15㎡程度</p> <p>親杭横矢板位置 H4,000 (延べ150日) (STEP1,2)</p> <p>普通鋼矢板 3型 H7,000 L=22m (STEP2)</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p><b>【工期】</b> 22か月目～24か月目 (計 3ヶ月)</p> <p><b>【主な工事】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外構工事(新設) (2ヶ月)</li> <li>・検査、手直し(2ヶ月)</li> </ul> </div> </div>		
<p>特記事項</p>	<p>株式会社 総合設計</p> <p>一級建築士事務所 広島県知事登録 25(1)第3394号 管理建築士(大臣) 第335100号 山本 博一</p> <p>明石市都市局住宅・建築室管轄課</p>	<p>製作年月日</p> <p>2025年 8月</p>	<p>工事名称</p> <p>(仮称) 上下水道庁舎建設工事</p> <p>図面名称</p> <p>上下水道庁舎 仮設計画図(ステップ5)(参考)</p> <p>縮尺 A1:1/300 A3:1/600</p> <p>図番 T-05</p>